

H28生涯学習関連事業 所管課評価シート

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地 域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
1		1-①	子どもの生きる力を育む の学びと体験の充実	ジュニアランニング教室	小中高生を対象に陸上競技界の元トップアスリートで現在大学チームの指導者から直接指導を受ける機会の提供をする。	主に短距離走のレベルアップを目指しストレッチ・体幹・筋力アップなどのトレーニング方法を学んだ。	不特定	子ども	60	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者60人	A	参加者目標を超える79人が参加し法政大学苅部監督と学生アスリートから指導を受けデモンストレーションを見ることができた。	由木	80	継続		80	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
2		1-①	子どもの生きる力を育む の学びと体験の充実	ジョギングスクール	子ども達の走る体力や筋力アップ、健全な精神育成を目標に年間でスクールを開催する	年間で集団行動の基本を学び走り跳ねる体幹やバランスをつくっていく長期講座を行った。	不特定	子ども	40	指定管理者	参加者の満足度	個々の参加者や保護者へのサポートに努め向上する意欲を持続させること	A	年間24回の目標を越え31回実施し延べ900人の参加があり年間を通じて子どもたちの体力の向上と走る楽しさを教えることができた。	由木	36	継続		36	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
3		1-①	子ども体験の力を育む の学びと体験の充実	はちおうじダッシュ！	小学生の体力増進と陸上競技の普及ならびに強化を目的とし各学年ごとに競い合い、走る楽しさを味わう。	各学年男女別50m競争にランニングクリニック・競技デモンストレーションを体感し各々が自己ベストを目指した。	市内	子ども	400 (30,000部)	指定管理者	参加者の満足度	よりスムーズな企画運営を構築し参加者の充実感を高める。	A	参加料の事前徴集で当日キャンセルが減り560人が参加し充実した大会となった。	由木	660	継続		562	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
4		1-①	子ども体験の力を育む の学びと体験の充実	親子でラグビー体験教室	体験教室を開催しラグビー人口の拡大を図る。	楕円形のラグビーボールを持ち、走り、投げて、蹴る楽しさを体験した。	不特定	子ども	100	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者100人以上	B	ラグビーにふれる機会を提供し関心を高めることができた一方参加者数が伸び悩んだ。	由木	40	継続		40	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
5		1-①	子どもの生きる力を育む の学びと体験の充実	八王子エンジョイベースボールスクール(高学年)	野球への取組む姿勢や技術を学びスクールとして7回通いつける楽しさや仲間とのふれあいも経験する。	練習や試合の中で常に真剣に取り組む、何ができるのかを考える習慣を身に着けることを学んだ。	不特定	子ども	40	指定管理者	参加者の満足度	各参加者が最後まで続けて参加すること	B	大リーグやプロ野球経験者により技術面のほか子どもたちの動きや声、周りへの配慮などを積極的に褒めていく方法で全体がポジティブに練習できた。	由木	554	廃止・終了	年々参加者が減り収入が支出に見合わないため形を変えて検討	564	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
6		1-①	子どもの生きる力を育む の学びと体験の充実	八王子エンジョイベースボールスクール(中低学年)	野球への取組む姿勢や技術を学びスクールとして7回通いつける楽しさや仲間とのふれあいも経験する。	ボールを投げる・打つ・走るの基本動作を学んだ。	不特定	子ども	20	指定管理者	参加者の満足度	各参加者が最後まで続けて参加すること	B	投げる・捕る・打つ・走るの基本動作を身に着け野球の楽しさを伝えた。	由木	上記に含む	廃止・終了	年々参加者が減り収入が支出に見合わないため形を変えて検討	上記に含む	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
7		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	子ども映画会	長期の休みに、親子で優良映画を鑑賞する機会を提供する。	計3回実施。 延べ121名の参加。 【参考】27年度 11回上映341名の参加	不特定	子ども	90	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	C	事業数、参加者数ともに減少したため。 【参考】 24年度730名 25年度425名 26年度392名 27年度341名 28年度121名	全市域	0	廃止・終了	様々なテレビ放送や映像メディア等が普及し、家庭で容易にアニメを視聴できるようになってきたため、年々参加者が減少していると考えられる。また、映画を放映する16ミリフィルム映写機は、修繕部品の生産が終了しており、また、新規映写機の生産も行っていない。よって、現在残っている映写機が故障した時点でフィルムの放映はできなくなるため、29年度以降は廃止とする。	0	学習支援課
8		1-①	子どもが生きる力を学びと体験の充実を育む	青少年講座	学校教育では体験できない学習機会を提供する。	31講座を実施。延べ869名の参加。 【参考】27年度 24講座延べ820名の参加。	不特定	子ども	600	市単独	事業の拡大	前年度より事業数を1割増。	A	前年度より事業数が3割増加したため。	全市域	463	継続		444	学習支援課
9		1-①	も生きる力を体験の充実	自然観察、クラフト教室	戸吹地区の自然を観察(植物、野鳥、昆虫等)し、自然環境の観察学習をしながら、自の材料を使ったクラフトを織り交ぜるイベント	天候不良除く11回開催330名募集305応募(キャンセル待含) 254名参加	市内	どなたでも	15名/回	指定管理者	応募者・参加者の人数	予定定員を満たす申込数を得られること	A	参加申し込み者数が当初予定を上回った。	元八王子	▲675	継続		759	公園課(スポーツコミュニティ戸吹)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
10		1-①	子どもの生きる力を育む 学びと体験の充実	こども科学教室	株式会社アジレント テクノロジーによる実験、ものづくりイベントとして、小学生の科学教育を推進する。	・がいこつモーター ・どろうぼうを捕まえる ・カタパルト ・ふくろうのペリット 以上のキットを使用し、年4回の実験教室を開催した。 参加者計109名	不特定	親子・保護者	128	共催	応募者・参加者の人数	予定定員を満たす 申込数を 得られること	A	キャンセルが多かったため実際の参加者は予定数を下回ったが、参加申し込みは定員を上回った。	由木	11	継続		10	公園課 (フュージョン長池公園)
11		1-①	生きる力を育む子どもの 学びと体験の充実	ネイチャーイベント	長池公園のアウトドアプログラムの骨格的なイベントとして、親子を中心に自然を観察・体験してもらう。	・初夏の自然を満喫！自然観察会” ・SAVE THE 水辺環境 外来魚を釣ろう！” ・ナイトハイク ・冬鳥観察入門編 以上4回のアウトドアプログラムを実施した。 参加者計69名	不特定	親子・保護者	125	指定管理者	参加者の満足度	予定定員を満たす 申込数を 得られること	A	実施後にアンケートを取った結果、ほぼ全員の参加者の方より、満足度の高い評価を得られた。キャンセルが多かったため実際の参加者は予定数を下回ったが、参加申し込みは定員を上回った。	由木	14	継続		8	公園課 (フュージョン長池公園)
12		1-①	子どもの生きる力を育む 学びと体験の充実	ひとり親家庭生活力向上事業「なんでもチャレンジ」	ひとり親家庭の児童が、体験活動や学習支援を通じて、心身ともに健やかに成長すること。	7月から3月まで合計5回、午前に体験事業、午後に学習支援を実施。参加者は25名。満足度は86.2%。	市内	親子・保護者	20人	市単独	参加者の満足度	参加者アンケートのうち、満足したものが90%以上とする。	B	目標としていた数値をほぼ達成することができた。	北野	209	継続		441	子育て支援課
13		1-①	生きる力を育む子どもと 実体験の充実	星空観望会	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	プラネタリウムでの事前学習後に天体望遠鏡で月や惑星など、その日に見える天体を観望する。 28年度は、4回開催し、大人180名、子ども158名、計338名が参加。	不特定	どなたでも	300	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	天体の観望などを通じ、多くの参加者に天文や宇宙に関する知識の普及・啓発が出来たため。	本庁		継続			こども科学館
14		1-①	生きる力を育む子どもと 実体験の充実	科学講演会	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	こども科学館とクリエイトホールで各1回講演会を開催。 大人211名、子ども5名、計216名が参加。	不特定	どなたでも	400	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	太陽系や八王子隕石の講演で惑星に関する科学を普及することが出来たため。	本庁		継続			こども科学館
15		1-①	生きる力を育む子どもと 実体験の充実	科学工作教室	物を作ることを実際に体験して、科学の楽しさを知る。	偏光板で作るトリックケースなどを製作 平成28年度は、5回開催し大人61名、子ども73名、計134名が参加。	不特定	子ども	150	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	多くの参加者に、物を作る・触れるなどを体験する場が提供でき、科学の楽しさを伝えることが出来たため。	本庁		継続			こども科学館

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
16		1-①	子ども体験の力を育む	科学実験ショー	身近な科学的事象の体験を通じ、科学への興味を深める場を提供する。	身のまわりに見られる様々な科学的事象について実験。 平成28年度は、7日開催し、大人266名、子ども306名、計572名が参加。	不特定	どなたでも	1150	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	こどもから大人まで、多くの方々に科学的事象の実験を通じ、科学への興味を深める場が提供出来たため。	本庁		継続			こども科学館
17		1-①	子ども体験の力を育む	かんたん工作室	物を作る、触れるなど実際に体験して科学の楽しさを知る。	身近な材料で自由に工作 平成28年度は、20日開催し、大人465名、子ども601名、計1066名が参加。	不特定	どなたでも	500	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	多くの参加者に、物を作る・触れるなどを体験する場が提供でき、科学の楽しさを伝えることが出来たため。	本庁		継続			こども科学館
18		1-①	子ども体験の力を育む	コズミックカレッジ	実験や工作を行うことを通じて、宇宙に関する知識の普及、啓発を行う。	宇宙航空研究開発機構(JAXA)の協力を得て行う講座 28年度は、2回開催し、大人38名、子ども47名、計85名が参加。	不特定	どなたでも	100	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	参加者に、実験や工作を通じて、宇宙に関する科学知識の普及・啓発が出来たため。	本庁 由木		継続			こども科学館
19		1-①	生きる力を体験する子ども	天気予報入門、浅川化石観察会などの科学講座	八王子の気象・地質などを知り、自然への興味を深める場を提供する。	北浅川河川敷のハチオウジゾウの化石が発掘された場所でメタセコイア化石などの見学を行い、これらに関連する事項を学ぶ 28年度は、1回開催し、大人34名、子ども32名、計66名が参加。	不特定	どなたでも	150	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	参加者に八王子の気象・地質に関する知識の提供・自然への興味を深める場の提供が出来たため。	元八王子	4	継続		4	こども科学館
20		1-①	子どもの学びと体験の充実	電子顕微鏡を活用した講座	電子顕微鏡により、様々なものを拡大して、その表面や構造を見ることで、物の形成や成り立ちを学ぶ。	電子顕微鏡という科学技術を用い、身の回りにある生物や材料を活用した講座 平成28年度は、1日開催し、大人13名、子ども16名、計29名が参加。	不特定	どなたでも	20	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	こどもたちに対して、電子顕微鏡と光学顕微鏡を用い、昆虫などの作りや形を理解させることが出来たため。	本庁		継続			こども科学館
21		1-①	子ども体験の力を育む	天文講座	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	プラネタリウムで星座や天文現象などを解説 28年度は1回開催し、大人28名、子ども21名、計49名が参加。	不特定	どなたでも	300	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	プラネタリウムで星座などの解説を通じ、参加者に天文や宇宙に関する知識の普及・啓発が出来たため。	本庁		継続			こども科学館
22		1-①	子どもの学びと体験の充実	夏休み天文講座	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	プラネタリウムで夏の星座や天文現象など夏休みにできる星の観察について解説 28年度は、2回開催し、大人71名、子ども78名、計149名が参加。	不特定	どなたでも	300	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	天体の観望などを通じ、多くの参加者に天文や宇宙に関する知識の普及・啓発が出来たため。	本庁		継続			こども科学館

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
23		1-①	子ども生きる力の充実に努む	屋間の天体観望会	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発	太陽黒点・プロミネンスや屋間でも観望可能な天体の観測 平成28年度は、1日開催し、大人77名、子ども69名、計146名が参加。	不特定	どなたでも	150	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	太陽などの天体を観望することを通じ、多くの参加者に天文や宇宙に関する知識の普及・啓発が出来たため。	本庁		継続			こども科学館
24		1-①	子ども生きる力の充実に努む	プラネタリウム番組の投影	天文や宇宙に関する知識の普及および啓発(年4回番組入替有)	今夜の星空(生解説)とプラネタリウム番組の投影 平成28年度は、718回投影し、大人14974人、子ども26029人、計41003名が観覧。	不特定	どなたでも	26000	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	A	こどもから大人まで、多くの方々に天文や宇宙に関する知識の普及・啓発が出来たため。	本庁		継続			こども科学館
25		1-①	子ども生きる力の充実に努む	フリー工作広場	物を作る、触れるなど実際に体験して科学の楽しさを知る。	身近な材料で自由に工作。 平成28年度は、20日開催し、大人369名、子ども471名、計840名が参加。	不特定	どなたでも	500	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	A	多くの参加者に、物を作る・触れるなどを体験する場が提供でき、科学の楽しさを伝えることが出来たため。	本庁		継続			こども科学館
26		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	みんなEnjoyわくわくステージ	バンド活動や特技の向上のために自主的に練習している中高生年齢の子どもたちにその成果を披露する機会をつくる。	中学生・高校生が実行委員となり、事業の企画・準備、当日の運営を担うことで、自主性や社会性を育む。また、出演者とともにステージを作り上げることで達成感を得る。	市内	子ども	120人	市単独	参加者の満足度	アンケート集計における「イベントに参加してよかった」という項目で全ての参加者が満足できるように継続して取り組む。	A	実行委員及び出演者アンケートで事業参加の満足度が100%であった。	本庁	50	継続		69	児童青少年課
27		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	子ども意見発表会	八王子市子どもすこやか宣言における「子どもの意見表明権」の機会を設け、子どもの参画を促す。	小中学生・高校生が企画委員となり、「子どもたちが考える未来の八王子～八王子の自然を活かした遊び」をテーマに意見交換を重ね、市長・教育長に発言をする「子ども意見発表会」を開催した。	市内	子ども	未定	市単独	協働事業の推進	学生ボランティアの活動の充実	B	小学5年～高校2年生まで9名の子どもたちが市長・教育長に意見を発表した。その後、子どものしあわせ課とともに子どもたちと担当所管との意見交換を実施し、子どもと大人が相互理解をするきっかけの場を創出した。	本庁	196	継続		256	児童青少年課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	担当課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
28		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	児童館まつり・児童館こどもシティ	子どもたちに遊びを通したミニ社会体験の場を提供し、協調性を学んでもらう機会とする。	食べ物、ゲーム、工作などの模擬店でお客さんとして遊んだり、模擬店で自分のやりたい仕事を探して体験をしたり、ミニ社会を体験できる。実際の商店街で模擬アルバイトをする企画事業もある。 地域住民、学生等と協力し、「児童館まつり」及び「こどもシティ」を15回開催。8,661名の参加があった。	市内	子ども	8300人	実行委員会	協働事業の推進	子育て関連団体との連携強化	B	子どもたちに社会性を身につける機会を提供できた。また、地域住民や学生等に協力してもらうことにより、地域住民と子どもたちが交流する機会を提供できた。	全市域	770	継続		808	児童青少年課
29		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	青少年海外交流事業	海外の青少年と交流することで、国際理解と異文化を体験する機会を与え、スポーツや文化を通じて国際的視野を持った青少年を育成する。	台湾高雄市に15名の中学生を派遣。高雄市内2校の中学生とバドミントンを介した交流を行い、また歴史博物館なども訪れ、台湾の歴史や文化について学習した。	市内	子ども	16人	市単独	参加者の満足度	スポーツ等の交流を通し、青少年の国際的感覚を養う。	B	海外友好交流都市である台湾高雄市の中学生との混成チームによるバドミントン交流や台湾の施設見学などにより、参加者の高雄市への知見が深まった。	市外	3,299	継続		5,164	生涯学習政策課
30		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	北海道白糠町小学生交流事業	本市とゆかりのある北海道白糠町の小学生と交流し友情を育み親善を深める。	北海道白糠町へ本市の小学生15人を派遣し、大自然の中で交流を行った。アイヌ文化交流、やちまなこ体験等、北海道ならではの体験を通じ、小学生同士が絆を深め、相互理解や思いやりの心を育んだ。	市内	子ども	15名	市単独	参加者の満足度	アンケートにて参加者全員が参加して良かったと回答する、交流を目指す。	B	アンケートの結果、参加者全員から交流事業に「参加して良かった」との回答を得た。様々なプログラムを通じて、子ども達の絆を深めることができた。	市外	1,333	継続		1,511	生涯学習政策課
31		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	親子料理教室	小学校を会場に、夏休みに親子で地元産の野菜等を使用し、調理を体験するとともに、健康な身体づくりに大切な栄養バランス等を学ぶ。	児童(保護者)を対象に、学齢期から「生きる力」を育むため主体的な健康づくりができるように支援を図る。料理や食育に関する活動を体験することをとおして、健康的な食生活への実践力を育てる。	市内	親子・保護者	900人 (複数校で実施)	市単独	応募者・参加者の人数	900人	B	平成28年度の実績は、料理教室開催校32校、参加者893名だった。各校で「食事作りを楽しみながら体験することで、食への関心を高め、興味をもつ児童を育む」ことを目的に料理教室を開催し、家庭へ向けた食育推進の啓発にもつながった。	全市域	0	継続		0	保健給食課 (各小学校)
32		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	浅川ガサガサ探検隊	こどもたちに浅川の自然と川遊びの楽しさを知ってもらうことで身近な環境を大切に思う気持ちを醸成する。	参加者95名	市内	子ども	100人	実行委員会	応募者・参加者の人数	参加人数を多くする。	C	目標に達しなかったため。	本庁	31	継続		46	水再生課 (八王子浅川水辺の楽校運営協議会)
33		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	バックステージツアー	施設を開放し特徴やポテンシャルを活用する利用や認知度向上に資する。	八王子音楽祭の中で、施設を紹介する企画として実施。 参加者数14名	不特定	どなたでも	50	指定管理者	応募者・参加者の人数	事業の認知と来場者数の増	C	PRが行き渡らず、参加人数も少なかった。	本庁	195	廃止・終了	今後方法を含め検討していく。		学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
34		1-①	生きる力を育む子どもの体験の充実	南大沢文化会館バックステージツアー	劇場の楽しさを知ってもらうことにより、南大沢地区の文化を担う文化びとを育成し、来館者及び利用者の増加を図る。	普段見れない舞台裏の見学や、実際に機材を操作する体験をした。 参加者 児童 30名 保護者 22名	市内	親子・保護者	50	指定管理者	参加者の満足度	アンケート満足度90%	A	参加者アンケートでは満足度が100%になり、目標以上の成果があった。	由木	167	継続		284	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
35		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	青竹でご飯炊き	竹の有効活用の方法を学ぶとともに、災害時にも役立つ野外調理の方法を体験する。	公園の青竹を使って食器を作り、ご飯を炊いてみんなで楽しく食べた。 参加者計18名	不特定	親子・保護者	20	共催	協働事業の推進	市民の防災の意識向上と環境教育の推進	A	実施後にアンケートを取った結果、ほぼ全員の参加者の方より、満足度の高い評価を得られた。キャンセルが多かったため実際の参加者は予定数を下回ったが、参加申し込みは定員を上回った。	由木	6	廃止・終了	指定管理者が変更したため	0	公園課 (スマートパークス由木)
36		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	竹のイベント	公園の竹を使って工作を体験し、自然に親しんでもらい、環境教育にも繋げる。	公園の竹でおもちゃを作って遊びましょうというテーマで、公園の竹を切って、竹水鉄砲と竹けん玉を作り、蓮生寺オリンピックを開催した。 参加計16名	不特定	子ども	20	指定管理者	参加者の満足度	予定定員数を満たす申込数を得られること	A	実施後にアンケートを取った結果、ほぼ全員の参加者の方より、満足度の高い評価を得られた。キャンセルが多かったため実際の参加者は予定数を下回ったが、参加申し込みは定員を上回った。	由木	3	廃止・終了	指定管理者が変更したため	0	公園課 (スマートパークス由木)
37		1-①	生きる力を育む子どもの体験の充実	オーケストラ・ワンダーランド	身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞し、子どもたちに感動体験を提供する。	東京交響楽団パートナーシップ事業。指揮者・山下一史氏と交響楽団によるクラシックコンサート。バックステージツアー、楽器紹介教室、指揮者体験コーナー等のプログラム実施。	市内	親子・保護者	1600	実行委員会	質の向上	演目の工夫やアウトリーチの充実	A	子どもへのアウトリーチ活動(現地指導)や子ども向け音楽体験プログラムをはじめ、身近な名曲を演奏することで、質・参加者数ともに充実した事業を実施できた。	本庁	0	継続		0	子どものしあわせ課 (学園都市文化ふれあい財団)
38		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	中学生ボランティア体験	社会奉仕としてのボランティアを体験することで社会の一員としての自覚と働くこと助け合うことの大切さを学習する。	研修を受け、本の配架・整架など様々な図書館業務の体験をする。4館で1回実施、計20名が参加。	市内	子ども	各10人	市単独	中学生ボランティアを受け入れ社会奉仕体験機会を提供する。	多くの中学生に社会奉仕の機会をもってもら	B	図書館業務はカウンターだけでなく、多くの内部での仕事があることを知ってもらえた。	全市域		継続		0	図書館4館
39		1-①	生きる力を育む子どもの学びと体験の充実	夏休み体験ボランティア	ボランティア活動体験を通じて、人が互いに助け合うことの大切さを学ぶ	中学生から概ね30歳までの青年を対象に実施した。 参加者 195名 協力施設 168ヶ所	市内	子ども	250人	補助	応募者・参加者の人数	参加者前年度比10%増	B	学生等を対象に実施している事業ですが、活動者数が伸びない点と、学校での授業として取り組んでいる学生が多い点が課題となります。	全市域	181	継続		229	福祉政策課 (社会福祉協議会)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
40		1-①	子どもの生きる力を育む体験の充実	中学生の職場体験	中学生に仕事等の体験をさせることにより、社会の一員としての自覚を促すとともに、望ましい社会性や勤労観・職業観を育成する。	主に市立中学2年生を対象に、総合的な学習の時間等を活用して、2～5日間の職場体験活動を実施した。【協力企業数】724事業所	市内	中学生	4,600人程度	共催	参加者の満足度	生徒一人一人の勤労観・職業観の育成	A	全市立中学校が職場体験を実施し、社会の一員としての自覚を促すとともに、望ましい社会性や勤労観・職業観を育成した。	全市域	なし	継続		なし	指導課
41		1-②	家庭教育の支援	こども歯科教室	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促し、心身の健康増進を啓発する。また、むし歯になりにくい環境を整えることにより、生活習慣病の一つであるう蝕予防を図る。	歯科衛生士によるう蝕予防の講話、歯みがき実習、唾液テスト、保健指導、相談。年12回79組160人	市内	親子・保護者	180組	市単独	参加者の満足度	アンケート回答にて、内容を理解できた者の割合80%以上	B	おおむね予定通り実施できたため。	本庁	264	廃止・終了	3歳児のう蝕を減らすために対象年齢と名称を変更する。	246	大横保健福祉センター
42		1-②	家庭教育の支援	パパママクラス(平日・休日)	妊娠・出産・育児について講話・実習・グループワークを実施し、母親・父親の役割について夫婦で考える機会となり、不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	平日開催5回172人、休日開催4回159人参加。妊婦体験や沐浴実習等。	市内	成人	480	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	実習等が好評で参加してよかったと9割以上の参加者がアンケートに記入あり。	本庁	246	継続		249	大横保健福祉センター
43		1-②	家庭教育の支援	プレママ(パパ)料理教室	妊産婦の食事、離乳食の理解、家族の食事の見直しの機会とする。交流を図り、子育ての仲間づくりの促進を図る。	年2回実施。参加者数33人。平日は母のみ、休日は父も調理に参加しルーからカレーを作る。	市内	成人	48	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	離乳食のデモが好評であり、おおむね予定通り実施できたため。	本庁	67	継続		86	大横保健福祉センター
44		1-②	家庭教育の支援	むし歯予防教室	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促し、心身の健康増進を啓発する。また、むし歯になりにくい環境を整えることにより、生活習慣病の一つであるう蝕予防を図る。	歯科衛生士によるう蝕予防の講話、歯みがき実習、唾液テスト、保健指導、相談。年5回17組30人	市内	親子・保護者	90組	市単独	参加者の満足度	アンケート回答にて、内容を理解できた者の割合80%以上	B	おおむね予定通り実施できたため。	本庁	18	継続		20	大横保健福祉センター
45		1-②	家庭支援教育の支援	モグモグ学習会	離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。知識の普及を図り不安や悩みの軽減の支援をする。	年8回142組参加。離乳食初期から後期にかけての講話。母同士の交流。	市内	親子・保護者	160組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	9割の方がアンケートにて満足と回答。	本庁	114	継続		127	大横保健福祉センター

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
46		1-②	家庭教育の支援	リトミック	障害児の発達支援と保護者への子育て支援を図る。	計 11回実施 参加者数84人	市内	親子・保護者	200	市単独	参加者の満足度	参加率の増加	C	参加者の定着率はかなりよいが、参加者数自体は前年度を下回ったため。	本庁	119	継続		132	大横保健福祉センター
47		1-②	家庭教育の支援	初めてのほみがきレッスン	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促し、心身の健康増進を啓発する。また、むし歯になりにくい環境を整えることにより、生活習慣病の一つであるう蝕予防を図る。	歯科衛生士によるう蝕予防の講話、歯みがき実習、唾液テスト、保健指導、相談。年12回169組359人	市内	親子・保護者	180組	市単独	参加者の満足度	アンケート回答にて、内容を理解できた者の割合80%以上	B	おおむね予定通り実施できたため。	本庁	144	継続		102	大横保健福祉センター
48		1-②	家庭教育の支援	妊婦歯科健診	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促すとともに妊婦自身の歯科保健意識や健康観の向上を図り、あわせて家族の健康観の確立に努める。	妊婦の歯科検診。参加者数88人	市内	成人	216人	市単独	応募者・参加者の人数	申し込み者数の増加	B	おおむね予定通り実施できたため。	本庁	530	継続		1609 (1268+341)	大横保健福祉センター
49		1-②	家庭教育の支援	幼児食講習会	幼児期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。知識の普及を図り不安や悩みの軽減の支援をする。	年2回39組参加。幼児食の調理の工夫や心理的発達に着目した講話。母同士の交流。	市内	成人	36組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	9割の方がアンケートにて満足と回答。おおむね予定通り実施できたため。	本庁	39	継続		60	大横保健福祉センター
50		1-②	家庭教育の支援	家庭教育講座	学習の中で親子のふれあいを持つ。	27講座を実施。延べ592名の参加。 【参考】27年度27講座を実施。延べ600名の参加。	不特定	親子・保護者	700	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	B	概ね前年度水準の参加者数があったため。	全市域	221	継続		215	学習支援課
51		1-②	家庭教育の支援	家庭教育自主グループ支援	子育てについて自主的に学んでいるグループへの活動支援。	4グループに支援を行うとともに、市民向け公開講座を2講座開催。延べ36名の参加。 【参考】27年度4グループに支援	市内	親子・保護者	50	市単独	協働事業の推進	共催講座での自主グループの運営参加。	B	前年水準で支援することができたため。	全市域	30	継続		30	学習支援課
52		1-②	家庭教育の支援	子育て応援ひろば	子育ての中で生じる悩みを解消する。	2講座を実施。延べ132名の参加。 【参考】27年度17講座を実施。延べ359名の参加	不特定	どなたでも	150	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	C	事業数、参加者数ともに減少したため。	全市域	71	継続		105	学習支援課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
53		1-②	家庭教育の支援	八王子「宇宙の学校」	こども科学教室と日常の家庭学習を組み合わせ、宇宙や科学と家庭・地域を結び付けることで探究心の強いこども達の育成を図る	平成28年度は12回開催し、総計で大人732名、子ども732名、計1464名が参加。	市内	親子・保護者	340	実行委員会	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度90%以上	A	多くの参加者に、家庭学習の機会の提供や、工作体験などを通じて、天文や宇宙に関する知識の普及・啓発が出来たため。満足度約96%。	本庁元八王子北野	695	継続		700	こども科学館（八王子「宇宙の学校」実行委員会）
54		1-②	家庭教育の支援	のびのび子育て講座	地域の人材活用や子育て機関の協力により、子育ての不安や負担を軽減し、子育てを楽しむ時間を提供する。	「のびのび子育て講座」実施数 1061回	市内	親子・保護者	20,602	委託	参加者の満足度	市民からの要望を講座の内容に生かす	B	子育て広場においてアンケートを実施し、利用者の9割以上から良い評価を受けた。	各地域子ども家庭支援センター	260	継続		305	子ども家庭支援センター
55		1-②	家庭教育の支援	子育て講座	子育てに係る各分野の専門家による講演や遊びのプログラムの提供により、保護者が楽しく子育てできるように支援していく。	156回の子育て講座を開催、4,100名の参加があった。	市内	親子・保護者	3600人	市単独	事業の拡大	各館年間4回程度の実施から12回以上へと拡大する。	B	親の学びの支援として、156回の事業を実施し、4,100名の参加があった。	全市域	344	継続		372	児童青少年課
56		1-②	家庭教育の支援	児童館幼児クラブ	乳幼児とその保護者に遊びと交流の機会を提供する。	おもちゃや遊具等で自由に遊び、親同士の交流の場を設定したり、体操、手遊び、紙芝居、工作などの活動をする。いもほり、クリスマス会などの季節の行事も行う。 2,590回の乳幼児活動を行い名の38,703名の参加があった。	市内	親子・保護者	53600人	市単独	事業の拡大	利用者のニーズに応え、内容の充実を図る。	B	平成27年度と比較し、事業実施回数参加者数がともに増加した。	全市域	765	継続		735	児童青少年課
57		1-②	家庭教育の支援	パパママ支援ワークショップ 星とおひさまフィーカキャラバン	茶話会形式のワークショップにより、保護者の心理的負担を軽減し、家庭の教育力の向上を図る。	生涯学習センター（南大沢分館を含む）にて計3回、星とおひさまフィーカキャラバンのチームと共催で事業を実施した。	市内	親子・保護者	100人 (20人/回)	実行委員会	参加者の満足度	受講した保護者が子育てに関する悩みや心理的負担を軽減する	B	アンケートの結果、参加者全員から「参加して良かった」との回答を得た。茶話会形式のリラックスした雰囲気が高評価であった。	本庁由木	111	継続		198	生涯学習政策課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
58		1-②	家庭教育の支援	リーフレット「八王子の家庭教育8か条」の配布	リーフレットを配布し、家庭内において社会のマナーや基本的な生活習慣等を見守る・生徒に身につけさせる。	市立小中学校の新入生及び保育園・幼稚園(私立含む)の5歳児・年長クラスを対象にリーフレットを配布し、家庭教育の啓発に努めた。	市内	親子・保護者	50,000枚 (配布世帯)	市単独	事業の拡大	リーフレットを配布するとともに、関係所管と連携し、家庭教育の重要性について更なる周知を図る。	B	市内小・中学校の児童生徒及び市内幼稚園、保育園に通う4歳児をもつ家庭にリーフレットを配布するとともに、8か条を家庭で実践する具体例を市広報で紹介した。	本庁	91	継続		135	生涯学習政策課
59		1-②	家庭教育の支援	パパとママの仕上げ磨き教室	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	歯科衛生士によるう蝕予防の講話、歯みがき実習、唾液テスト、保健指導、相談。13回87組192人	市内	親子・保護者	120組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果で内容を理解できた者の割合80%	B	みがき方を実際に指導することでみがき方が分かったとの感想が多いため。	浅川	0	廃止・終了	3歳児のう蝕を減らすために対象年齢と名称を変更する。	0	東浅川保健福祉センター
60		1-②	家庭教育の支援	パパママクラス(平日・休日)	不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	平日10回182人。休日5回164人。妊婦体験や沐浴実習等。	市内	成人	480	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	実習等が好評で参加してよかったと9割以上の参加者がアンケートに記入あり。	浅川	187	継続		247	東浅川保健福祉センター
61		1-②	家庭教育の支援	パパママ栄養・歯科教室	妊娠期から子どもの歯と栄養に関する情報提供、出産後のむし歯予防、望ましい食習慣の意識づけを図る。	6回99人	市内	成人	80	市単独	応募者・参加者の人数	申込者数の増加	A	予定を上回る参加者数だったため。	浅川	0	継続		0	東浅川保健福祉センター
62		1-②	家庭教育の支援	モグモグ学習会	・離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。・知識の普及を図り不安や悩みの軽減を支援する。	8回146組。離乳食初期から後期にかけての講話。母通しの交流。	市内	親子・保護者	160組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	9割の方がアンケートにて満足と回答し、おおむね予定通り実施できたため。	浅川	16	継続		21	東浅川保健福祉センター
63		1-②	家庭教育の支援	リトミック	障害児の発達支援と保護者への子育て支援を図る。	18回×2コース(A・B) 12回×1コース(C) 計30回 参加者数486人	市内	親子・保護者	30	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	アンケートの結果、8割程度の満足の回答を得た。	浅川	283	継続		273	東浅川保健福祉センター
64		1-②	家庭教育の支援	初めての歯みがきレッスン	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促す。また、むし歯予防のための正しい知識の普及啓発を図る。	歯科衛生士によるう蝕予防の講話、歯みがき実習、唾液テスト、保健指導、相談。20回167組358人	市内	親子・保護者	120組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果で内容を理解できた者の割合80%	A	参加者が多く、むし歯予防についての知識を知ることができて良かったとの感想が多いため。	浅川	0	継続		0	東浅川保健福祉センター

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
65		1-②	家庭教育の支援	妊婦歯科健診	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促し、妊婦とその家族の歯科保健に対する意識向上を図る。	参加者数82人(うち妊婦65人)	市内	成人	108	市単独	応募者・参加者の人数	申込者数の増加	B	健診や歯みがき指導は丁寧に行っているが、参加人数が少ない。	浅川	202	継続		215	東浅川保健福祉センター
66		1-②	家庭教育の支援	幼児食講習会	望ましい食生活形成の推進し、適切な食習慣の基礎作りをする。子育ての中での不安の軽減を支援をする。	2回29組参加。幼児食の調理の工夫や心理的発達に着目した講話。母同士の交流。	市内	成人	36組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	9割の方がアンケートにて満足と回答。おおむね予定通り実施できたため。	浅川元八王子	10	継続		11	東浅川保健福祉センター
67		1-②	家庭教育の支援	ブックスタート	子育てに役立つ情報を伝え、親と子のふれあいのひと時を応援することにより乳児が健やかに育ち、その保護者が安心して子育てのできる環境づくりに寄与する。	南大沢保健福祉センターが実施する乳幼児健康診査の会場で、乳児に絵本、わらべ歌DVD、子育てに役立つ情報冊子等の入ったブックスタートパックを贈る。24回実施、配布数は1,287個。	市内	親子・保護者	1200	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	年間24回の実施で、1,200以上を配布し、各機関、ボランティアと協力して、赤ちゃんと保護者が絵本を聞く楽しい体験をすることで、心触れ合うひと時を持つきっかけ作りができた。	全市域	0	継続		0	南大沢図書館
68		1-②	読書のまち八王子の推進	三歳児健診読み聞かせ	ブックスタートに続き三歳児健診時に読み聞かせを行い、継続的に親子で読書に親しむ機会を提供する。	図書館職員・ボランティアで絵本等の読み聞かせを行う。24回実施し、1,496名参加。	市内	親子・保護者	1200	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	年間24回の実施で、1,200名以上の参加により、継続的に親子で読書に親しむ機会を、ブックスタートのフォローとして効果的なタイミングで提供することができた。	全市域	0	継続		0	南大沢図書館
69		1-②	家庭教育の支援	三歳児健診読み聞かせ	ブックスタートのフォローとして三歳児健診時にも読み聞かせを行い、継続的に親子で読書に親しむ機会を提供する。	図書館職員・ボランティアで絵本等の読み聞かせを行う。24回実施 1,158人が参加	市内	親子・保護者	960	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	ブックスタートのフォローとして、効果的なタイミングでボランティアの読み聞かせや、親子で本を読む場を提供できている。	全市域	0	継続		0	生涯学習センター図書館
70		1-②	家庭教育の支援	ブックスタート	子育てに役立つ情報を伝え、親と子のふれあいのひと時を応援することにより乳児が健やかに育ち、その保護者が安心して子育てのできる環境づくりに寄与する。	保健福祉センターで行う乳幼児健康診査会場で、乳児に絵本を読みきかせ、絵本、わらべうたDVD等の入ったブックスタートバッグを贈る。24回実施 1,148人が参加	市内	親子・保護者	1,200	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	B	各機関、ボランティアと協力して、赤ちゃんと保護者が絵本を聞く楽しい体験をすることで、心のふれ合うひと時を持つきっかけ作りができた。	全市域	0	継続		0	生涯学習センター図書館

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
71		1-②	家庭教育の支援	ブックスタート	子育てに役立つ情報を伝え、親と子のふれあいのひと時を応援することにより乳児が健やかに育ち、その保護者が安心して子育てのできる環境づくりに寄与する。	保健福祉センターで行う乳幼児健康診査会場で、乳児に絵本を読みきかせ、絵本、わらべうたDVD等の入ったブックスタートバッグを贈った。 全館合計24回、参加者1099人(川口図書館分含む)。	市内	親子・保護者	4000	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	B	各機関、ボランティアと協力して、赤ちゃんと保護者が絵本を聞く楽しい体験をすることで、心触れ合うひと時を持つきっかけ作りができた。	全市域		継続		4,873	中央図書館
72		1-②	家庭教育の支援	三歳児健診読み聞かせ	ブックスタートに続き三歳児健診時に読み聞かせを行い、継続的に親子で読書に親しむ機会を提供する。	図書館職員・ボランティアで絵本等の読み聞かせを行った。全館合計24回、参加者1200名。	市内	親子・保護者	4000	共催	協働事業の推進	参加予定者数の達成	B	ブックスタートのフォローとして、効果的なタイミングであり、親子で本を読む場を提供できた。	全市域		継続		24	中央図書館
73		1-②	家庭教育の支援	パパママクラス(平日・休日)	妊娠・出産・育児について講話・実習・グループワークを実施し、母親・父親の役割について夫婦で考える機会となり、不安なく子育てに取り組めるよう、妊娠・出産・育児に対するイメージづくりができるよう支援する。	平日開催5回177人。休日開催3回157人参加。妊婦体験や沐浴実習等。	市内	成人	300人	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	毎回9割以上の参加者が内容に「満足」と回答したため。	由木	320	継続		320	南大沢保健福祉センター
74		1-②	家庭教育の支援	むし歯予防教室(平日・土曜)	乳幼児の口腔の健全な発達発育を促し、心身の健康増進を啓発する。また、むし歯になりにくい環境を整えることにより、生活習慣病の一つであるう蝕予防を図る。	歯科衛生士によるう蝕予防の講話、歯みがき実習、唾液テスト、保健指導、相談。57回 815人参加	市内	親子・保護者	740組	市単独	応募者・参加者の人数	申し込み者数の増加	B	事業する日程を、土曜日にも設けたことにより、夫婦での参加も見られ参加しやすかったと考える	由木	23	継続		70	南大沢保健福祉センター
75		1-②	家庭教育の支援	モグモグ学習会	離乳食期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。知識の普及を図り不安や悩みの軽減の支援をする。	離乳食初期から後期にかけての講話。母通しの交流。年8回 141組参加。	市内	親子・保護者	160組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	参加者が講座に求めていることと、講座が提供していることの違いがあり、満足度が目標に達しなかったため。	由木	69	継続		69	南大沢保健福祉センター
76		1-②	家庭教育の支援	妊婦歯科健診	妊婦の歯科疾患の早期発見・治療を促すとともに妊婦自身の歯科保健意識や健康観の向上を図り、あわせて家族の健康観の確立に努める。	歯科健診、講話、実習 実施回数:12回 申込者数:77 参加人数:60	市内	成人	216人	市単独	応募者・参加者の人数	申し込み者数の増加	B	参加者の満足度が高く、不安や悩みがグループワークを通して解消されているため。	由木	2,078	継続		2,078	南大沢保健福祉センター

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
77		1-②	家庭教育の支援	幼児食講習会	幼児期から適切な生活リズム、食習慣の形成を図る。知識の普及を図り不安や悩みの軽減の支援をする。	年2回37組参加。幼児食の調理の工夫や心理的発達に着目した講話。母同士の交流。	市内	親子・保護者	36組	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	講義内容、調理実習、離乳食作りとも、アンケートの結果が良好。	由木	102	継続		127	南大沢保健福祉センター
78		1-②	家庭教育の支援	プレママ(パパ)料理教室	妊産婦の食事、離乳食の見直しの機会とする。交流を図り、子育ての仲間づくりの促進を図る。	年2回32人参加	市内	成人	48人	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	講義内容、調理実習、離乳食作りとも、アンケートの結果が良好。	由木	56	継続		56	南大沢保健福祉センター
79		1-③	学校教育活動の支援	職場訪問、職場体験、その他研修の受け入れ	職場訪問者などに、科学館の事業について普及し、訪問者の知識の向上を図る。	中高生の職場体験、職場訪問、大学生の博物館実習、インターンシップ。来館者案内、プラネタリウム操作などの仕事の体験、講座の補助などを行う。	不特定	どなたでも	100	市単独	参加者の満足度	中高生の体験活動や、大学生の実習等の場の提供	B	科学館の実務を体験してもらうことが出来たため。	本庁		継続			こども科学館
80		1-③	学校教育活動の支援	ボランティアの教育人材バンクへの登録促進	学校と地域が一体となり、子どもを育む環境を整備するため、ボランティア希望者を人材バンクに登録する。	新規ボランティアの人材発掘や各学校への情報提供を行い、各学校で活動するボランティアを募った。	市内	どなたでも	3,359人 (平成28年度末)	市単独	登録者数の増加	3278人	A	教育人材バンクボランティア登録者数が平成27年度(3,214人)より増員した。	本庁		継続		2,940	指導課
81		1-③	学校教育活動の支援	学校支援ボランティアを取りまとめる学校支援事務局の全校配置	学校支援ボランティアの派遣を円滑に行うため、各市立小・中学校に学校支援事務局を全校に配置する。	学校支援ボランティアをとりまとめ、教育活動の充実を図るため、学校支援事務局を2校増やし、98校に拡充。	市内	学校	98校 (平成28年度末)	市単独	96校⇒98校配置	98校	A	ボランティアの活動を支援する学校支援事務局を96校から98校に拡充した。	本庁		継続		2,940	指導課
82		1-③	学校教育活動の支援	中学校社会科学習資料「わたしたちの生活と税金」の発行	中学生の税に対する理解を深める。	「わたしたちの生活と税金」発行部数:6,000部 「研究授業」開催回数:1回	市内	子ども	市立中学3年生の生徒数(見込み)4,607人 「わたしたちの生活と税金」発行部数6,000部	実行委員会	中学生の税に対する理解を深める。	中学生の税に対する理解を深める。	A	市内全ての中学3年生を対象に配布している「わたしたちの生活と税金」の大幅な見直しを行うとともに、研究授業を実施することで、中学生の租税教育に係る指導方法の向上に寄与した。	全市域	273	継続		357	税制課 (八王子市中学生租税教育研究委員会)
83		1-③	学校の支援活動	「八王子の川と友だちになるノート」の発行	川での環境調査や生き物調査を行うためのフィールドノートとして活用してもらう。	5,000冊発行し、市内小学4年生を対象に配布した。また、本冊子の利用状況を調べるアンケートを実施した。	市内	子ども	5,000冊	市単独	本冊子を利用して環境学習を行う。	全校での配布。	B	全校に配布したとともに、概ね好評を得た。	全市域	432	継続		518	水再生課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
84		1-③	学校教育活動の支援	中学生職場体験の受け入れ	市内にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供する。	図書館業務についての研修を受け、資料の貸出・返却業務やその他付随する仕事の体験をする。参加校6校、22名が参加。	市内	子ども	1～4人 ／1校	市単独	参加者への満足度及び利用の促進	市内にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供するとともに、今後にわたる図書館利用のきっかけとし、利用の促進を図る。	A	体験を通じて、図書館がより身近な場所となり、また、チームワークの大切さや、働くことの意義を感じてもらうことができた。	全市域	0	継続		0	南大沢図書館
85		1-③	学校教育活動の支援	東京交響楽団PJアウトリーチ事業	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	第2中学校、館小学校、高嶺小学校、上菅分方小学校で実施し、延べ295人が参加。	市内	子ども	未定	補助	応募者・参加者の人数	小中学校のニーズ把握と予定回数着実な実施	B	事業の目的を果たし、多くの児童生徒の高い関心を得た。	本庁	936	継続		800	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
86		1-③	学校教育活動の支援	中学生職場体験の受け入れ	市内にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供する。	図書館業務についての研修を受け、資料の貸出・返却業務やその他付随する仕事の体験をする。参加校9校、24名が参加し、のべ22日間実施した。	市内	子ども	1～4人 ／1校	市単独	参加者への満足度及び利用の促進	市内にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供するとともに、今後にわたる図書館利用のきっかけとし、利用の促進を図る。	A	一回当たりの参加人数は、ほぼ目標に近い人数となり、図書館業務はカウンターだけでなく、多くの内部での仕事があることを知ってもらえ、また、チームワークの大切さや、働くことの意義を感じてもらうことができた。	全市域	0	継続		0	生涯学習センター 図書館

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
87		1-③	学校教育活動の支援	中学生職場体験の受け入れ	市内にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供する。	図書館業務についての研修を受け、資料の貸出・返却業務やその他付随する仕事の体験をする。参加校4校、8名が参加し、のべ12日間実施した。	市内	子ども	1～4人 ／1校	市単独	参加者への満足度及び利用の促進	市内にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供するとともに、今後にわたる図書館利用のきっかけとし、利用の促進を図る。	A	図書館業務はカウンターだけでなく、多くの内部での仕事があることを知ってもらえ、また、チームワークの大切さや、働くことの意義を感じてもらうことができた。	全市域	0	継続		0	川口図書館
88		1-③	学校教育活動の支援	学校図書館サポートセンターとの連携・支援	調べ学習・学級文庫用の資料の貸出を通して学校図書館の充実につなげていく。	学校へ、配送便(一部、直接受け取り)により、団体貸出を行った。(述べ1,307校、34,448冊)	市内	子ども	貸出申込数 延べ 1100校	市単独	貸出申込数の増加	学校図書館の充実	A	担当嘱託員を1名増加し対応した。また、学校司書の意見を聞き、利用しやすくすることで目標を上回った。	全市域		継続		8,335	中央図書館
89		1-③	学校教育活動の支援	中学生職場体験の受け入れ	市内にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供する。	市内にある職場の一つとして中学生の社会体験の場を提供する。 年18校 63人 42日実施	市内	子ども	4名/1校	市単独	参加者への満足度及び利用の促進	市内にある職場の一つとして中学生の社会体験の機会を提供するとともに、今後にわたる図書館利用のきっかけとし、利用の促進を図る。	A	体験を通じて、図書館がより身近な場所となり、また、チームワークの大切さや、働くことの意義を感じてもらうことができた。	全市域	0	継続		0	中央図書館
90		1-③	学校教育活動の支援	あったかホール職場体験	館内施設スタッフの就業体験を通じて、働く事の意義や尊さを学び、社会性、協調性を養う場を提供する。	中学生の就業体験実績 (10校 36人)	市内	子ども	40 (H27実績参考)	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数 40人	B	学校のニーズに基づく事前準備や調整についてほぼ予定通り実施できた。	全市域	0	継続		0	北野清掃工場
91		1-④	地域・教育力	FD・SDフォーラム	大学教職員の教育力向上と、地域社会や全国の教育機関関係者等との交流や相互理解を目的とする。	テーマ:多様な学びを支える高等教育へ～高大接続改革を考える 基調講演:「高大接続改革について」他 参加者229名	不特定	全国大学教職員・大学生・高校教職員	200	補助	応募者・参加者の人数	200人	A	連携する大学等の教職員が共通して直面する問題や課題について情報交換できたほか、目標人数を達成できた。	本庁	1,129	継続		1,630	学園都市文化課 (大学コンソーシアム八王子)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
92		1-④	地域の教育力を活かす・	夏休み子どもいちょう塾	八王子地域の大学等の先生が、その大学・学部等の特色を生かして、夏休みの特別教室を開講する。	夏休みに八王子市内の小学生(4～6年生)を対象とした講座を実施し、分野毎に興味をもたせることで、教科へのモチベーションを高めることができた。 316名参加。	市内	子ども	400人	補助	応募者・参加者の人数	参加者数 400人	B	人気講座のため本年度から2日開催とした。参加者数は目標を下回ったが、多様な教育機会を提供することで、子供の学ぶことへの関心・意欲を高めるとともに、大学に興味を持ってもらうことができた。	本庁	1,427	継続		1,685	学園都市文化課 (大学コンソーシアム八王子)
93		1-④	地域の教育力を活かす・高める	学生企画事業補助金	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生が、八王子地域を舞台に企画・運営・実施するイベント等にその費用の一部を補助する。	学生が八王子地域を舞台に企画・運営・実施するイベント等にアドバイスをを行い、発表の機会を提供し費用の一部を補助した。 応募団体数20件 採択団体数10件	市内	大学コンソーシアム八王子に加盟する大学等に在籍する5名以上の学生で構成する団体	30人(6団体)	補助	応募者・参加者の人数	10団体の応募	B	応募団体数、採択数ともに目標を上回った。	本庁	824	継続		1,033	学園都市文化課 (大学コンソーシアム八王子)
94		1-④	地域の教育力を活かす・高める	学生発表会	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生が日頃の研究成果を市民・企業・市政に向けて発表する。	学生に発表する機会を提供し、企業・大学関係者等から好評を得る機会を提供した。 発表件数:194件	市内	大学コンソーシアム八王子に加盟する大学等の学生	500人 (100件)	補助	応募者・参加者の人数	500人 (100件)	B	目標発表件数を大幅に上回った。	本庁	1,490	継続		1,670	学園都市文化課 (大学コンソーシアム八王子)
95		1-④	地域の教育力を活かす・高める	エコひろばでの環境講座	環境について感心を持つきっかけづくりとして環境教育・環境学習の講座を実施する。	講座数:83回 参加者数:13,780人	市内	どなたでも	6500	委託	応募者・参加者の人数	6500	A	目標を上回ったため	全市域	-	継続	-	-	環境政策課 (特定非営利活動法人環境活動センター八王子)
96		1-④	地域の教育力を活かす・	冒険イベント 里山で遊ぶ	「長池野外活動クラブ」との共催で冒険プログラムを実施し、小学生の野外体験活動を促進する。	・夏休み親子で木工作 ・縄文の火起こしにチャレンジ 以上2回の冒険プログラムを実施した。 参加者計14名	不特定	親子・保護者	45	共催	協働事業の推進	予定定員を満たす申込数を得られること	A	実施後にアンケートを取った結果、ほぼ全員の参加者の方より、満足度の高い評価を得られた。キャンセルが多かったため実際の参加者は予定数を下回ったが、参加申し込みは定員を上回った。	由木	8	継続		4	公園課 (フュージョン長池公園)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
97		1-④	地域すの教育力を活かす	ひとり親家庭の子ども学習支援事業	ひとり親家庭に対し学習支援者を派遣し、児童の基礎学力、学習意欲の向上及び高等学校等への進学を推進を図ること。	7月から2月まで、1人当たり1回2時間、合計30回学習支援者を派遣した。参加者は30名。進学率は100%。	市内	親子・保護者	30人	委託	対象者の高等学校進学率	対象者のうち、高等学校へ進学したものが100%とする。	B	目標としていた数値をほぼ達成することができた。	全市域	7,339	継続		7,856	子育て支援課
98		1-④	地域すの教育力を活かす	親子化学実験教室・理科教室	参加者は、化学反応等を体験し、科学の楽しさを知り、スタッフ(学生)は教える事を通じ、指導方法を学ぶ。	首都大学東京の化学サークルの学生による講座 平成28年度は、1日開催し、大人35名、子ども50名、計85名が参加。	不特定	どなたでも	300	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	白衣を着て本格的な科学実験を体験する機会を提供することが出来たため。	本庁		継続			こども科学館
99		1-④	地域すの教育力を活かす	夏休み科学体験	参加者は、物を作る事を通じて、科学の楽しさを知り、スタッフ(中・高生)は教える事を通じて、指導方法を学ぶ。	児童館の科学体験の事業として共催。児童館利用者の中学生・高校生がスタッフとして参加し、講座を開催 平成28年度は、2日開催し、大人58名、子ども87名、計145名が参加。	不特定	どなたでも	100	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	多くの参加者に、科学の楽しさを伝えられたこと、また学生スタッフも参加者に対する指導方法を学べたため。	本庁		継続			こども科学館
100		1-④	地域の教育力を活かす・高める	放課後子ども教室	平日の放課後や週末、夏休み等に小学校内の施設を活用し、地域の人材、ボランティアの参画を得て子どもたちに安全で安心な居場所を提供する。	地域や学校の協力を得て61校で実施し、子どもたちに安全で安心して過ごせる放課後の居場所を提供できた。	市内	子ども	350,000	委託	事業の拡大	市内小学校69校での実施	B	未実施校のうち2校が新規開設となり、目標の69校には達しなかった。しかし、地域や学校、学童保育所担当所管と連携を図り、実施日数の増加や学習プログラムの拡充をしたことにより、多くの子どもたちに放課後の安全で安心な居場所を提供することができた。	本庁	89,339	継続		148,327	生涯学習政策課
101		1-④	地域すの教育力を活かす	こども囲碁教室	囲碁を通じた世代間の交流を図る。	23回136名	市内	どなたでも	360	市単独	応募者・参加者の人数	利用者数の増加	C	利用者数が昨年度とほぼ横ばいだった。	浅川	0	継続		0	東浅川保健福祉センター
102		1-④	地域すの教育力を活かす	子ども手作り甲冑教室	甲冑づくりを通して八王子城の歴史を学び、ふるさと八王子を愛する心を育てる。	NPO法人八王子城跡三ツ鱗会に甲冑作りの下準備や講座当日の製作指導などを委託し実施した。参加者数32名(32名定員【申込者数55名】)	自由	親子・保護者	36	委託	参加者の満足度	アンケート回答者の7割以上が講座の内容について「良い」と回答	A	参加者の8割以上の方が「良い」と回答。日数についても満足度が高かったため。	元八王子	86	継続		86	文化財課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
103		1-④	地域の教育力を活かす	キッズパトロール隊防犯教室	児童の防犯意識の高揚	日頃大人が行っている地域のパトロールを体験。青色パトロールカーに乗車して行う広報体験や、特殊詐欺被害防止を呼びかけるチラシ等を配布する啓発活動をした。	市内	子ども	10～20	市単独	参加者の満足度	アンケート結果で「また参加したい」が半数以上となる	B	防犯に関する知識を学び、広報体験や、啓発活動等体を動かして、体験することで、児童及び生徒の防犯意識を高めることができたため。	本庁 由木	0	継続		34	防犯課
104		1-④	地域活かす教育力を高める	学生演劇フェスティバル～アートとの交差～	大学等団体による公演・展示・ワークショップを通じて芸術文化の普及を図り、若い担い手を支援する	高校や大学の演劇サークルの発表と、関連ワークショップとコンサートを実施。	自由	どなたでも	300	補助	応募者・参加者の人数	1校でも多くの学校の参加を目指す	B	初めての試みであったが、事業の目的を果たした。	本庁	2,963	継続		8,000	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
105		1-④	地域の教育力を活かす	南大沢文化会館ダンスワークショップ	市内の小中学生を対象にダンスの楽しさや素晴らしさを感じてもらい、将来の文化芸術に携わる層の拡充を図る。	59回実施 参加者 延べ2516名	市内	子ども	54	指定管理者	事業の拡大	小中学生のダンスの技術の向上 将来の文化芸術に携わる層の拡充	B	①ダンス技術の向上 ②発表会での舞台体験(主ホール) ダンスを通じた感動や体感が将来の文化芸術に携わる層の拡充の門戸を開いた。	由木	1,292	継続		1,679	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
106		1-④	地域の教育力を活かす	シニアボランティア子ども将棋教室	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者の生きがいの高揚、また小学生に将棋を教えることにより交流を促進する。	初心者の小中生が、高齢者の将棋サークル会員から将棋を学び、双方の交流と将棋の普及を行う。 開催回数26回 参加者人数396人	市内	高齢者・子ども	35	共催	参加者の満足度	高齢者と子供の交流と将棋の普及。	A	ボランティアで指導している方との生きがいの高揚に効果があった。子どもからの人気も根強く、続けて参加をして上達しようという意欲を持った子どもが多数参加している。	由木	60	継続		0	南大沢保健福祉センター
107		2-①	身近で多様な学習機会の充実	スケッチを楽しもう	公園内の草花や樹木を観察し描き方や構図のポイントを教わりながら自由にスケッチする。	四季を彩る草花や樹木を観察し主に色鉛筆でのスケッチを行った。	不特定	成人	15	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者15人	B	公園に足を運び花や木の美しさを感じる場を提供することができたがやや参加者数が伸び悩んだ。	由木	7	継続		7	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
108		2-①	身近で多様な学習機会の充実	上柚木公園に飛来する冬鳥を楽しもう	初心者にも比較的観察しやすい冬期に観察会を実施する。	周囲の森林から園内に飛来する野鳥を観察し、色形やさえずりなどを学んだ。	不特定	どなたでも	20	指定管理者	参加者の満足度	参加者のレベルに合わせた野鳥観察会を実施できるよう企画内容を構築し充実感を高める。	B	公園の貴重な環境資源である野鳥を観察し楽しむ機会を提供することができた。	由木	5	継続		5	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
109		2-①	身近で多様な学習 機会の充実	歯の健康教室	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を併発する。	歯科衛生士による歯周病教育、保健指導、相談。 年5回10人	市内	成人	60人	市単独	参加者の満足度	アンケート回答にて、内容を理解できた者の割合80%以上	B	おおむね予定通り実施できたため。	本庁	8	継続		10	大横保健福祉センター
110		2-①	身近で多様な学習 機会の充実	歯の健康相談	歯周病予防等、口腔衛生についての総合的な相談に応じ、主体的健康づくりに取り組める様、支援する。	歯科衛生士による口腔に関する個別の相談および保健指導(予約制) 年3回8人	市内	どなたでも	60人	市単独	応募者・参加者の人数	申し込み者数の増加	B	おおむね予定通り実施できたため。	本庁	3	継続		5	大横保健福祉センター
111		2-①	身近で多様な学習 機会の充実	成人健康教室(保健・栄養)	食事・運動などの生活習慣改善について講話や実習を行い、生活習慣病などの疾病の予防・健康づくりに関する正しい知識の普及と健康増進意識を啓発する。	糖尿病予防教室 2日40人、糖尿病フォロー教室1日11人、高血圧予防教室2日43人、親子教室2日22人、女性の健康講座2日37人	市内	成人	400	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	計画通り実施できた。	本庁	15	継続		20	大横保健福祉センター
112		2-①	身近で多様な学習 機会の充実	八王子学園都市大学(一般講座)	市民の生涯学習活動の向上を図る。	八王子市と大学等及び企業や市民との協働により、市民の学びの場の提供を目的とした市民大学の運営。 平成28年度 230講座 受講者数2,270名	不特定	成人	5,000	委託	応募者・参加者の人数	5,000	B	受講者数は、公開講座、会場の規模により変動があるため、目標値は達成できなかったが、質の高い講座を提供し、5,646名に受講いただいた。また、講座を受けた9割の方から満足との評価を得ている。	市内全域	53,271	継続		57,332	学園都市文化課
113		2-①	身近で多様な学習 機会の充実	八王子学園都市大学(公開講座)	市民の生涯学習活動の向上を図る。	八王子市と大学等及び企業や市民との協働により、市民の学びの場の提供を目的とした市民大学の運営。 平成28年度 68講座 受講者数3,376名	不特定	どなたでも	一般講座と合わせて目標設定	委託	応募者・参加者の人数	一般講座と合わせて目標設定	B	一般講座と合わせて評価	市内全域	一般講座と合わせて委託契約	継続		一般講座と合わせて委託契約	学園都市文化課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	担当課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
114		2-①	身近で多様な学習機会の充実	初心者のための煎茶道教室	江戸時代から続いているが一般には浸透していない「煎茶道」の普及を図る。	月2回(隔週)、各午前・午後の部で開催。文化連盟八王子煎茶会に講師を依頼し実施。講師は静雪流、宮内宗里氏。参加者人数は年間延べ254名。	不特定	どなたでも	120	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者 (各回15名)	B	江戸時代より自由な表現形式として文人文化と深く関わりながら伝わってきた煎茶道について紹介することができた。また、募集方法を茶道と分けた事で、定員には達しなかったものの応募者を増やすことができた。(延254名)	本庁	784	継続		290	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
115		2-①	身近で多様な学習機会の充実	初心者のための茶道教室	長い歴史を通して洗練され伝承してきた「茶道」のなお一層の普及を図る。	月2回(隔週)、各午前・午後の部で開催。文化連盟茶道連盟に講師を依頼し実施。講師は江戸千家、加藤宗知氏。参加者人数は年間延べ658名。	不特定	どなたでも	120	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者 (各回15名)	A	本格的な指導が気軽に廉価で受けられることから、各回の応募は活発であり、リピーターも多い人気事業となった。例年、修了した受講生が自主的にサークルをつくり活動を行っている。(延658名)	本庁	853	継続		800	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
116		2-①	身近で多様な学習機会の充実	市民映画館	優れた映像文化を通じて、豊かな心をはぐくみ生活文化の向上を図る。	12回実施。延べ338名の参加。 【参考】27年度32回上映872名の参加	不特定	どなたでも	300	市単独	応募者・参加者の人数	1回あたりの参加者数が前年度と同程度。	B	事業数、参加者数ともに減少したが、1回あたりの参加者数は前年度と同水準だったため。 【参考】 24年度2677名 25年度1029名 26年度984名 27年度872名 28年度320名	全市域	0	廃止・終了	様々なテレビ放送や映像メディア等が普及し、家庭で容易にアニメを視聴できるようになってきたため、年々参加者が減少していると考えられる。また、映画を放映する16ミリフィルム映写機は、修繕部品の生産が終了しており、また、新規映写機の生産も行っていない。よって、現在残っている映写機が故障した時点でフィルムの放映はできなくなるため、29年度以降は廃止とする。	0	学習支援課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
117		2-①	身近で多様な学習機 会の充実	市民自由講座	歴史・文学等、多種多様な分野の講座を開催し、生涯学習のきっかけとする。	122講座実施。延べ10,237名の参加。 【参考】27年度100講座を実施。延べ8,955名の参加	不特定	どなたでも	11000	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	B	前年度は5階ホールのリニューアル工事や視聴覚室の修繕工事を行ったため事業数が減少したが、28年度は事業数、参加者数ともに前々年度までの水準に回復したため。	全市域	2,098	継続		2,681	学習支援課
118		2-①	身近で多様な学習機 会の充実	八王子市地球温暖化防止活動推進センターにおける講座の実施	地球温暖化に関する講座を開催し、市民・事業者の地球温暖化に対する意識向上を図る。	講座数:20回 参加者数:699人	市内	どなたでも	500	委託	応募者・参加者の人数	未定 (平成36年度目標:環境学習室を含む講座の受講者数6,800人)	A	目標を上回ったため	全市域	-	継続	-	-	環境政策課 (特定非営利活動法人環境活動センター八王子)
119		2-①	身近で多様な学習機 会の充実	北野清掃工場施設見学	施設見学者を受入れ実施することで、可燃ごみ処理と余熱利用の方法と現状を理解してもらい、ごみの減量・分別の大切さを理解してもらう。	市内小学校見学者数(30校2,402人) 市内幼稚園見学者数(3園172人) その他 (21団体 395人) 職場訪問・体験(中学校6校23人)	自由	どなたでも	3,000人	市単独	応募者・参加者の人数	見学者数3,000人	B	工場見学の他収集体験や足湯(再生可能エネルギー)についても体験する機会を提供した。	全市域	0	継続		0	北野清掃工場
120		2-①	身近で多様な学習機 会の充実	市民食育講座	食育月間である6月の取り組みとして、「周知」から「実践」へと食育を更に進めるきっかけとする。	食育月間である6月19日に森野熊八氏をお招きし、「もったいないが食育の基本」をテーマに講演会を行い、119名の参加があった。	市内	どなたでも	200人	市単独	参加者の満足度	若年層の増加	B	講師が壇上から降りて直接来場者に質問することがあり、来場者と講師の距離が近くなり、楽しい雰囲気になった。内容は、食事についての雑学が多く、役に立つ情報も多かったが、アンケート結果により意見が多かった「料理の方法が知りたい」の部分は内容として無かったため。	北野	122	継続		240	健康政策課
121		2-①	身近で多様な学習機 会の充実	サクラガイドウォーキング	東部地区公園にあるサクラと中心とした自然を観察・体験してもらう。	南大沢駅からほど近い街中の緑地や公園をたどりながら、そこで見られるサクラを観察した。参加者計21名	不特定	どなたでも	25	指定管理者	参加者の満足度	予定定員数を満たす申込数を得られること	A	実施後にアンケートを取った結果、ほぼ全員の参加者の方より、満足度の高い評価を得られた。キャンセルが多かったため実際の参加者は予定数を下回ったが、参加申し込みは定員を上回った。	由木	2	廃止・終了	指定管理者が変更したため	0	公園課 (スマートパークス由木)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
122		2-①	学習近 実機で多 の様な充 実な	ながいけさん ぽ	年齢にかかわらず気軽に参加できる、申し込み不要のガイド付き園内散策。長池公園の魅力を多くの人に知ってもらう。	公園スタッフがガイドとなり、四季折々の動植物を案内しながら散策を行った。4回開催。参加者計82名	市内	どなたでも	未定	指定管理者	参加者の満足度	定員はないが、毎回一定程度の参加者があること	A	毎回人気の高いイベントで、当日申込みにも関わらず、多くの方が参加された。	由木	8	継続		20	公園課 (フュージョン長池公園)
123		2-①	身近で多様な学習機会の充実	ネイチャークラフト教室	公園の自然から得られるさまざまな素材を集め、草木染や工作を体験し、自然に親しんでもらう。	・ 藍の生葉染めでシルクスカーフと綿バンダナ染め体験 ・ 「クズ(葛)」できれいな色のシルクスカーフをつくろう ・ 長池公園の植物で「オリジナルミニ門松作り」以上3回開催。参加者計60名	不特定	どなたでも	45	指定管理者	参加者の満足度	予定定員を満たす申込み数を得られること	A	実施後にアンケートを取った結果、ほぼ全員の参加者の方より、満足度の高い評価を得られた。参加申し込みは定員を上回った。	由木	81	継続		39	公園課 (フュージョン長池公園)
124		2-①	身近で多様な学習機会の充実	施設見学会	公募市民対象の施設見学会。市民の市政への理解を深めるとともに、市政への意見を聴取する。また、身近な市民参加の機会とする。	市内の公共施設や大学、企業などをバスでめぐり見学する。全5回(7/27・29、12/11、3/19・23)実施し、参加者数は計104名。	市内	どなたでも	1回20名位	共催	参加者の満足度	参加者アンケートのうち、「満足した」が80%以上とする。	A	各回ともに、参加者の満足度が高く(参加者アンケートで「大変満足した」また「満足した」の回答が95.4%)、また参加したい旨の意見が多数あった。	由木 石川 浅川 本庁	0円	継続		管財課 で計上 バス借 り上げ 費	広聴課
125		2-①	身近で多様な学習機会の充実	交通安全教室	交通ルールやマナーの学習を行うことで、交通事故の防止を図る。	保育・幼稚園、小・中学校、高齢者サロン、大学・一般市民対象の交通安全教育に加え、高校での交通安全教室を開催した。	市内	どなたでも	28,255 (26年度実績)	市単独	応募者・参加者の人数	前年度以上の参加者とする。	B	新たに、高校でのスケアード・ストレイト方式による交通安全教室を開催し、幅広い年齢層を対象とした交通安全教育を実施することができた。	全市域	4,569	継続		4,315	交通事業課
126		2-①	身近で多様な学習機会の充実	親子で学ぶ交通安全、自転車教室	親子で交通安全ルールや安全な自転車の乗り方を学ぶことにより、交通事故の防止を図る。	自転車シミュレータを利用した自転車の乗り方教室を、東浅川交通公園や環境フェスタ、消費生活フェスティバルなどの会場で開催した。また、親子あおぞら教室などで交通安全講話を行った。	市内	どなたでも	150	市単独	事業の拡大	親子対象の交通安全教育を年間10回開催	B	自転車シミュレータを利用した交通安全教室の開催、また親子の集まるイベント会場での交通安全講話を行い、親子で楽しく交通ルール・マナーを学ぶ機会を設けることができた。	本庁 浅川	0	継続		0	交通事業課
127		2-①	身近で多様な学習機会の充実	介護の日	介護についての理解と認識を深め、地域社会における支え合いの精神の効用と介護の日の周知を図る。	「介護の日」のイベントで、講演会を開催した。あわせて情報提供・相談ブースを設置した。	不特定	どなたでも	200	市単独	応募者・参加者の人数	170名	C	悪天候だったこともあり、来場者数が少なかつたため(講演会来場者88名)。	本庁	103	継続		192	高齢者いきいき課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
128		2-①	身近で多様な学習機会の充実	母子家庭等就業・自立支援センター事業(パソコン講習会)	母子家庭の母及び父子家庭の父の自立を促進すること。	7月に8回、1月に8回、合計16回就労支援のためのパソコン講習会を実施。参加人数128名。参加者の満足度は87.5%。	市内	親子・保護者	160人	委託	参加者の満足度	参加者アンケートのうち、満足したものが90%以上とする。	B	目標としていた数値をほぼ達成することができた。	本庁由木	5,639 (129と合算)	継続		7,434 (129と合算)	子育て支援課
129		2-①	身近で多様な学習機会の充実	母子家庭等就業・自立支援センター事業(就業支援セミナー)	母子家庭の母及び父子家庭の父の自立を促進すること。	7月に4回、1月に4回、合計8回の就労支援セミナーを実施。参加人数87名。参加者の満足度は79.3%。	市内	親子・保護者	160人	委託	参加者の満足度	参加者アンケートのうち、満足したものが90%以上とする。	C	参加者の満足度が、目標としていた数値を若干下回り、達成することができなかったため。	本庁由木	5,639 (128と合算)	継続		7,434 (128と合算)	子育て支援課
130		2-①	身近で多様な学習機会の充実	はちおうじ出前講座	市民の生涯学習に対する支援と意識の向上を図り、市政に対する理解を深める。	市民で構成するグループ、団体が主催する学習会等に市の職員等を講師として派遣し、担当所管の事業等についての講義を行い、市民の生涯学習活動への支援や市政への理解を深める。	市内	どなたでも	300,000人	共催	応募者・参加者の人数	300,000人	B	市役所編104講座431件32,552人 官公署・企業編39講座3,704件266,364人 受講者数 合計298,916人と目標には届かなかったが、27年度291,914人より受講者数を増やすことができた。	全市域	0	継続		0	生涯学習政策課
131		2-①	身近で多様な学習機会の充実	学習支援委員合同講座	八王子市学習支援委員による講座を開催し、市民の生涯学習の振興を図る。	学習支援委員各人の生涯学習活動と並行して、学習支援委員全体で「しえんねっと講座」の実施、生涯学習フェスティバル・成人式等のイベントの補助などを行った。	市内	どなたでも	196人	共催	事業の拡大	年2回開催	B	しえんねっと講座では7講座132人が参加し、市民の生涯学習活動のきっかけ作りができた。	本庁	2,190	継続		2,400	生涯学習政策課
132		2-①	身近で多様な学習機会の充実	自然体験・自然観察会	旧稲荷山小学校の博物館機能の発展充実のため市民を対象とした自然観察会を行う。	里山の保全活動が行われている雑木林や湿地周辺で、動植物の野外観察を行った。 6月ホテル観察会 12月ムササビ観察会 2月冬の観察会	市内	どなたでも	120人 (6月/60名) (10・2月/各30名)	共催	応募者・参加者の人数	120人	B	ホテル観察会は応募者数が定員に満たなかったが、ムササビ観察会は200人以上の申し込みがあり、冬の観察会は定員を超える応募者を受け入れた。市民の観察会への関心の高いことが窺える。	北野	67	継続		34	生涯学習政策課
133		2-①	身近で多様な学習機会の充実	消費者力アップ講座	専門家による消費生活に関する講座を開催し、消費者の啓発・育成を図る。	消費者力検定に対応した内容の連続講座を開催(1回ごとの参加も可能)5回・26人	市内	どなたでも	各25人	市単独	その他	市民のニーズにあったテーマを用いた講座等を実施する。	C	アンケート結果から講座参加者の満足度は高く、市民のニーズに合った質の良い講座を実施できたが、募集案内期間が短かったため参加者が少なかった。	本庁	239	継続		240	消費生活センター

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
134		2-①	身近で多様な学習機会の充実	消費生活講座	食品、契約、金融学習など日常生活に関する講座や見学会を開催し、消費者の啓発を図る。	①-1講座 3回・54人 ①-2親子講座 1回・10組20人 ②親子見学会 1回・19組38人 ③消費者団体企画提案講座 1回・14人 ④講演会 1回・51人	市内	どなたでも ただし、 ①-2は小学生とその保護者 ②は小学5・6年生とその保護者	①-1各25人 ①-2・10組20人 ②20組40人 ③16人 ④70人	③④は共催	その他	市民のニーズにあったテーマを用いた講座等を実施する。	B	身近な消費生活に関するテーマで実施し、消費者力の向上と自立した消費者の育成を図ることができた。	本庁	31	継続		33	消費生活センター
135		2-①	身近で多様な学習機会の充実	動物の適正飼養講演会	動物の飼育に関する法令、しつけ方、マナー、狂犬病などの人と動物の感染症などについて講演会を実施し、動物の飼い主の意識向上を目指す。	「ペットのための災害対策対」「ペットの健康チェック」と題し、災害時の対応と適正飼養に関して、ヤマザキ学園大学の先生を講師に招き講演会を実施。	市内	どなたでも	70人	市単独	参加者の満足度	アンケートを実施し、満足度を高めるとともに、ニーズを探り次回の講演会のテーマを適切に設定する。	B	近年の発生した震災で動物救護活動に従事した経験がある講師から自身の体験を踏まえて講演していただいたため、震災時の状況や必要な備えなどが容易に理解できた。またペットの健康チェックについても、具体的なポイントを示して説明されてため好評であった。	本庁	36	継続		54	生活衛生課
136		2-①	身近で多様な学習機会の充実	平和展	戦争の悲惨さや平和の尊さを多くの方に伝える。	八王子空襲や広島・長崎の原爆などの戦災資料及び写真パネル、小中学生の描いた平和の絵等を展示した。入場者数は、1,304名(内訳 学園都市センター会場 956名、南大沢会場 348名)。	不特定	どなたでも	1,500	実行委員会	応募者・参加者の人数	平和展(学園都市センター会場)への来場者数を増やす。 H27 1,289人→ H28 1,500人	B	目標としていた来場者数には達しなかったが、当初の計画どおり事業が実施できたため。	本庁	1,506	継続		1,948	総務課
137		2-①	身近で多様な学習機会の充実	歯周病予防教室	歯周病の予防や口腔機能の維持、低下予防のための正しい知識の普及と、健康増進意識を併発する。	参加者79人	市内	成人	30	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果で内容を理解できた者の割合80%	B	アンケートの結果、8割程度が理解できたとの回答を得た。	浅川	0	継続		22	東浅川保健福祉センター
138		2-①	身近で多様な学習機会の充実	巡回健康教育・健康相談会	自分のからだの状態を知り、生活習慣病などの疾病の予防・健康づくりに関する正しい知識の普及と健康増進意識を啓発する。	6回92名	市内	どなたでも	120	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	アンケートの結果、8割程度がほぼ満足の回答を得た。	浅川元八王子	5	廃止・終了	地域での周知が浸透し、依頼を受けての教育・相談対応となったため。	80	東浅川保健福祉センター

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地 域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合は その理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主 体)
							募集 範囲	対 象 者	参加予 定者数 (人) (発行予 定数 /1回あ たり)	事業の 実施形 態	評価指標 項目	目 標								
139		2-①	身近で多様な学習機 会の充実	メサイア公演 に向けた合唱ワーク ショップ	市民に身近な場所で 優れた芸術文化活 動に参加・体験する 機会をつくる。	メサイア公演に参加する市 民合唱の育成。今年度参加 者延べ2195人。	自由	どなた でも	3480	補助	参加者の 満足度	合唱団の 参加者数 140人以上、および 合唱技術 のレベル アップを目標とする。	B	参加者数は137人となり(男声参加者は 過去最高)、プロの 合唱団員の手助け を借りず市民だけで 実施した。	本庁	1,771	継続		800	学園都市 文化課 (学園都市文化ふ れあい財 団)
140		2-①	身近で多様な学習機会 の充実	地球温暖化 防止普及啓 発イベント	地球温暖化問題に ついて市民の意識や 関心を高め、具体的 な行動を起こすきつ かけとする。	12月10日にオリンパスホール 八王子にて気象キャス ターの斉田季実治氏による 環境講演会及び映画「アナ と雪の女王」を上映。参加 者数1,104名。	市内	どなた でも	1,500	委託	地球温暖 化問題に 関心がある人の割合	未定 (平成36 年度目標:地球 温暖化問題に関心 がある人の割合 89%)	B	参加者数は目標を下回ったが、多くの 市民が参加し、地球 温暖化防止の意識 啓発・向上に繋げることができた。	本庁	-	継続	-	-	環境政策 課 (特定非 営利活動 法人環境 活動センター八王 子)
141		2-①	身近で多様な学習機 会の充実	ウォーキング イベント	東部地区公園のある 地域の自然や歴史を 知ってもらうことで、 地域への愛着を感じ、 魅力の再発見をして いただく。	鏈水探検ウォーキングとい うことで、点在する公園緑 地を巡りながら、鏈水の自然 や歴史を見て歩いた。 参加者数6名	不特定	どなた でも	20	指定管理 者	参加者の 満足度	予定定員 数を満た す申込数 を得られること	A	実施後にアンケート を取った結果、ほぼ 全員の参加者の方 より、満足度の高い 評価を得られた。 キャンセルが多かったため実際の参加 者は予定数を下 回ったが、参加申し込みは定員を上 回った。	由木	2	廃止・終了	指定管理 者が変更したため	0	公園課 (スマート パークス 由木)
142		2-①	身近で多様な学 習機会の充実	自然観察会	東部地区公園に住 む動植物を観察し、 地域の自然や生物 多様性の大切さを学 ぶ。	街中にあるさまざまな動物 の痕跡をたどりながら、街 中でもけなげに生きている 動物たちの生活を知るたん けんツアーを開催した。参加 者計24名	不特定	どなた でも	25	指定管理 者	参加者の 満足度	予定定員 数を満た す申込数 を得られること	A	実施後にアンケート を取った結果、ほぼ 全員の参加者の方 より、満足度の高い 評価を得られた。参加 申し込みは定員 を上回った。	由木	6	廃止・終了	指定管理 者が変更したため	0	公園課 (スマート パークス 由木)
143		2-①	身近で多様な学習機会 の充実	成年後見制 度学習会	成年後見制度の普及 啓発を図るために 学習会を開催する	①第1回『遺言書について 知っておこう』 ②第2回『相続の手続き方法』 ③第3回『成年後見制度を 活用しよう！』 家庭裁判所 への申立方法 ④第4回『成年後見制度を 活用しよう！』消費者被害 対策と成年後見制度 ⑤第 5回『成年後見制度、どう活用 する？』(福祉関係者向け) ⑥第6回『はじめての成年 後見 はじめての信託【入門編 】』	市内	どなた でも	1回20 名位	委託	応募者・ 参加者の 人数	成年後見 制度の普及・利用 促進	B	6回開催 参加人数 119名	本庁	146	継続		144	福祉政策 課 (社会福祉協 議会)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
144		2-①	身近で多様な学習機会の充実	成年後見制度講演会	成年後見制度の普及啓発を図るために講演会を開催する	第1回「成年後見制度とは どういう制度か? ～権利 擁護・意思決定支援の観点 を含めて～ 講師 佐久間 水月 弁護士 第2回「成年後見制度とは どういう制度か? ～権利 擁護・意思決定支援の観点 を含めて～ 講師 新井誠 教授 第3回「寸劇でわかる成年 後見制度」～成子と後見 物語～ 東京司法書士会 三多摩支会 後見対策委員会	市内	どなたでも	1回50 名くらい	委託	応募者・ 参加者の 人数	成年後見 制度の普及・利用 促進	B	3回開催 参加人数 115名	本庁	87	継続		144	福祉政策課 (社会福祉協議会)
145		2-①	身近で多様な学習機会の充実	あったかホール社会科見学	隣接する北野清掃工場のごみ焼却余熱を利用し館内設備に活用しているあったかホールの見学を実施することで、余熱利用を体感してもらう。	市内小学校見学者数8校 758人、その他3団体12人	自由	どなたでも	2,000人 (H27実績参考)	指定管理者	応募者・ 参加者の 人数	参加者数 2,000人	B	環境関連施設が協働して社会科見学をすることにより子ども達や市民に施設の重要性について理解を得る。	全市域	0	継続		0	北野清掃工場
146		2-①	学身 習近 機で 会多 の様 充た な	再生可能エネルギー(木質バイオマスボイラー・足湯併設)の普及啓発	木質バイオマスの活用を図り、再生可能エネルギーの普及促進及び環境啓発について市民の意識や関心を高める	足湯稼働日数(210日) 足湯利用者数(9,282人) 足湯営業日 (木・金・土・日曜日及び祝日)	自由	どなたでも	足湯利用者目標 9,000人	市単独	応募者・ 参加者の 人数	足湯利用者 9,000人	B	社会科見学時のツールとしても活用し平成24年度稼働から毎年度利用者数が増加しているため。	全市域	2,227	継続		2,612	北野清掃工場
147		2-①	身近で多様な学習機会の充実	北野環境教育・学習拠点づくり	環境教育・学習への市民参加の推進・環境啓発を目的に環境に関する各種講座・講師派遣、情報発信等市民との連帯を図る。(官民協働事業)	生き物を通じた自然環境の出前講座実施(川・水の循環等)市内小学校でのホテル観察会・講座を開催。近隣町会、小学校との東放射線アイロードへの花植栽。各種イベント(環境フェスタ、あったかホールまつり)での環境啓発活動。	市内	どなたでも	市民協働者 100人	共催	協働事業の推進	市民協働者 100人	B	北野地区に位置する環境関連施設を有効活用し環境教育・学習への市民参加(小中含む)情報提供や市民との連携事業も実施できた。	全市域	542	継続		641	北野清掃工場
148		2-①	身近で多様な学習機会の充実	歯の健康相談	歯周病予防等、口腔衛生についての総合的な相談に応じ、主体的健康づくりに取り組める様、支援する。	開催回数 48回 述べ参加人数 318人	市内	どなたでも	48人	市単独	応募者・ 参加者の 人数	申し込み 者数の増加	B	ひとが多く集まる機会をとらえて、航空歯科保健の相談を展開できた。	由木	33	継続		33	南大沢保健福祉センター

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
149		2-①	身近で多様な学習機 会の充実	成人健康教育	生活習慣の改善について講話・実習を行い疾病の予防・健康づくりに関する正しい知識を普及し、生活習慣病予防に努める。	開催回数 231回 述べ参加人数 5,073人	市内	成人	450	市単独	参加者の満足度	健康の維持・増進のための手立てが見つけられる。	B	食事・運動などの生活習慣改善について講話や実習を行い、生活習慣病などの疾病の予防・健康づくりに関する正しい知識の普及と健康増進意識を啓発できた。	由木	154	継続		165	南大沢保健福祉センター
150	◎	2-①	身近で多様な学習機 会の充実	体験楽習フェスティバル八王子2016	自然、歴史、美術など、多分野の体験プログラムを集めたイベントを開催し、市域の交流人口を増加させる。	実施プログラム 34 参加者数 1,846人	自由	どなたでも	1500	補助	応募者・参加者の人数	参加者数 1,500人	B	目標を超える参加があり、市域のさまざまな魅力を伝えることができた。また、プログラム実施団体の連携も生まれ、次年度の開催につながる結果となった。	全市域	1,890	継続		2,000	観光課 (体験楽習フェスティバル八王子2016実行委員会)
151		2-②	読書のまち八王子 の推進	おはなし会	子どもと保護者を対象に本に親しむ機会を与えるとともに、読書習慣の育成を図る。	子どもと保護者を対象に本に親しむ機会を与えるとともに、読書習慣の育成を図る。 年11回 497名参加	市内	子ども	約30人/回	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	一回当たりの参加人数は、目標を超えており、子どもたちが本に親しむきっかけづくりに、十分に貢献した。	全市域	0	継続		0	川口図書館
152		2-②	読書のまち八王子 の推進	読書感想文コンクール	読書による印象や感動を文章で表現し、感動をさらに深めるとともに、読書習慣を身に付ける。	応募期間8月25日～9月30日 応募作品数 小学校低学年(1～3年)の部1016作品、同高学年(4～6年)の部1721作品、中学生の部1611作品、計4348作品	市内	子ども	4,183点 (平成27年度実績)	共催	応募者・参加者の人数	4,200点	A	応募作品数は、昨年実績の4183点から約4%の増加となり、子どもの本を読むきっかけとなった。	全市域		継続			川口図書館
153		2-②	読書のまち八王子 の推進	地区図書室・読み聞かせ等行事	地区図書室の活性化を図る。	27年度103回延べ3,979名 28年度103回延べ3,318名	市内	子ども	-	補助	応募者・参加者の人数	27年度より参加人数を増やす。	C	目標数値を下回ったため。	全市域	0	継続		地区図書室運営事業補助の中で実施	協働推進課 (各地域住民協議会)
154		2-②	読書のまち八王子の推進	ユニバーサルデザインによる読書環境づくり	大活字本等を有料特別老人ホームに搬入して出張図書サービスを実施する。	訪問延回数 12回 訪問箇所 3か所 貸出冊数 1,788冊 読み聞かせ会参加者 165人	市内	どなたでも	250	共催	参加者の満足度	図書館に直接来ることが難しい老人ホームに図書館が出張し、入所者が読書のできる環境を提供する。	B	各施設3ヶ月に一度訪問し、おはなし会と図書の貸出を行うことで、老人ホーム入所者に多くの本が読める機会の提供が出来るため、今後も継続して来てもらいたいと要望されている。	全市域	0	継続		0	図書館4館

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	担当課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
155		2-②	読書のまち八王子の推進	図書館まつり	図書館の利用促進や「読書のまち八王子」の推進	図書・雑誌のリサイクル、講演会、朗読会、4館共通のテーマ展示を行ったほか、図書館を中心に活動しているボランティア団体の活動成果発表と来場者が体験できるワークショップの実施。 (参加者2,131名)	自由	どなたでも	2000	一部実行委員会	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	読書へのきっかけづくりの役割をはたしており、ボランティアの活動の場にもなった。講演会についても定員を上回る応募があり、好評であった。	全市域	28	継続		52	図書館4館
156		2-②	生きとどる力を育む体験の充実	一日図書館員	小学生に社会体験の一環として、図書館業務を体験してもらう。	一般利用者への図書の貸出・返却、配架・整架などを体験してもらう。 参加者43名(4回実施)	市内	子ども	40人(10人/1回)	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	参加人数が、概ね目標に近い人数となり、また体験を通して図書館の理解を深められた。	全市域	0	継続		0	南大沢図書館
157		2-②	読書のまち八王子の推進	イベントおはなし会	七夕とクリスマスの時期におはなし会と関連する工作体験を行い、読書推進と親子の触れ合う場を提供する。	子どもが関心を持つ年中行事にまつわるお話しと、関連する工作体験を行う。 5回(4・7・10・12・3月)実施し、参加者は152名	市内	子ども	150人(30人/1回×5回)	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	5回実施で、152名の参加があり、読書へのきっかけづくりの役割を果たし、親子のふれあいに役立った。	全市域	0	継続		0	南大沢図書館
158		2-②	読書のまち八王子の推進	おはなし会	子どもを対象に読み聞かせ等のおはなし会を実施することで、おはなしの楽しさを啓発し、子どもの読書活動の推進を図る。	おはなし、本・絵本の読み聞かせ、紙芝居などを行う。 8回(4・5・6・8・9・11・1・2・月)実施し、参加者は112名	市内	子ども	96人(12人/1回×8回)	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	8回実施で、112名の参加があり、親子で本に触れる機会が提供でき、読書へのきっかけづくりの役割が果たせた。	全市域	0	継続		0	南大沢図書館
159		2-②	読書のまち八王子の推進	ぴよぴよ絵本の時間	1～3歳児と保護者を対象に本に親しむ機会を与えとともに、読書習慣の育成を図る。	図書館職員・ボランティアにより、1～3歳児と保護者を対象に絵本等の読み聞かせを行う。 毎月第4水曜日、年間12回実施し、269名の参加者があった。	市内	親子・保護者	180人(15人/1回)	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	年間12回実施し、269名の参加者があり、好評を得ている。	全市域	0	継続		0	南大沢図書館

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
160		2-②	読書のまち八王子の推進	図書のテーマ展示	図書館から様々な種類の図書を紹介し、図書に親しむ機会を提供し、図書館利用の促進を図る。	テーマを決めて、図書を表示・紹介し、いろいろな本の情報を発信する。季節や行事、社会的関心の高いことをテーマにした本を紹介する。児童書:26回実施、一般書:10回実施。	不特定	どなたでも	-	市単独	事業の拡大	年間24回以上	A	児童書:26回、一般書:10回、計36回、市民に関心の高いものや、季節・学校行事などにちなんだ資料を集め、効果的に展示・提供することができた。目標とした展示以外にも、図書館まつり時に全館等一テーマの展示や著名人の計報等トピックスのミニ展示も適宜実施した。	全市域	13	継続		13	南大沢図書館
161		2-②	読書のまち八王子の推進	図書のテーマ展示	図書館から様々な種類の図書を紹介し、図書に親しむ機会を提供し、図書館利用の促進を図る。	テーマを決めて、図書を表示・紹介し、いろいろな本の情報を発信する。季節や行事、社会的関心の高いことをテーマにした本を紹介する。児童書:12回実施、一般書:12回実施	不特定	どなたでも	-	市単独	事業の拡大	図書館から様々な種類の図書を紹介することで、図書に親しむ機会を提供し、図書館利用の促進を図る。	A	市民に関心の高いものや、季節・学校行事などにちなんだ資料を集め、効果的に展示・提供することができた。男女共同参画等の企画事業と連動した取り組みも実施。デジタルフォトフレームで、アイキャッチとテーマ本の案内に活用した。	全市域	0	継続		0	川口図書館
162		2-②	読書のまち八王子の推進	一日図書館員	図書館業務の実体験を通して、図書館への理解を深める。	一般利用者への図書の貸出・返却、配架・整架などを体験してもらう。参加者46名(4回実施)	市内	子ども	40	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	図書館業務はカウンターだけでなく、多くの内部の仕事があることを知ってもらえ、体験を通して図書館をより身近な存在に感じてもらった。	全市域	0	継続		0	生涯学習センター図書館
163		2-②	読書のまち八王子の推進	一日図書館員	図書館業務の実体験を通して、図書館への理解を深める。	一般利用者への図書の貸出・返却、配架・整架などを体験してもらう。参加者19名(4回実施)	市内	子ども	40(10名/1回)	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	C	図書館業務はカウンターだけでなく、多くの内部の仕事があることを知ってもらえ、体験を通して図書館をより身近な存在に感じてもらった。	全市域	0	継続		0	川口図書館
164		2-②	読書のまち八王子の推進	おはなし会	子どもを対象に、読み聞かせ等のおはなし会を実施することで、お話しの楽しさを啓発し、子どもの読書活動の推進を図る。	絵本や紙芝居などの読み聞かせを行った。14回 358名が参加した。	市内	子ども	240	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	読書へのきっかけづくりの役割をはたしており、ボランティアの活動の場にもなった。	全市域	0	継続		0	生涯学習センター図書館

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
165		2-②	読書のまち八王子の推進	クリスマスおはなし会	児童と本・図書館が身近になる機会を設け、児童の読書推進と親子の触れ合う場を提供する。	クリスマスにちなんだ絵本や紙芝居によるおはなし会とクリスマスドームの工作会を行った。 29名が参加した。	市内	子ども	30	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	クリスマスのおはなしや工作を行い、多くの親子が参加し、読書へのきっかけづくりの役割をはたすとともに、親子のふれあいに役立った。	全市域	0	継続		0	生涯学習センター図書館
166		2-②	読書のまち八王子の推進	七夕行事の実施	児童と本・図書館が身近になるように、七夕行事を行う。	子どもたちの願い事を書いた短冊を、七夕飾りとともに笹に飾った。 参加枚数 318枚	自由	子ども	-	市単独	応募者・参加者の人数	多くの児童生徒に、七夕行事を知ってもらう	A	短冊をつるした笹を飾ることにより、昨年を上回る利用者に楽しんでもらえた。年中行事を通して文化を知り、継承されていく一助となった。	全市域	0	継続		0	生涯学習センター図書館
167		2-②	読書のまち八王子の推進	七夕行事の実施	児童と本・図書館が身近になるように、七夕行事を行う。	子どもたちの願い事を書いた短冊を、七夕飾りとともに笹に飾った。 参加枚数 262枚	自由	子ども	-	市単独	応募者・参加者の人数	多くの児童生徒に、七夕行事を知ってもらう	A	短冊をつるした笹を飾ることにより、利用者に楽しんでもらえた。やまゆり館で開催七夕まつり(地域)と連動し、日本の文化を知り、継承されていく一助となった。	全市域	0	継続		0	川口図書館
168		2-②	読書のまち八王子の推進	読書感想画コンクール	本に親しんでもらうために読書感想画を公募し、入賞作品を展示する。海外友好都市の作品も展示する。	小学校の部 780点 中学校の部 631点 合計1411点の応募があった。 (昨年度は1215点)	市内	子ども	900	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	今回で12回目となり応募数は昨年度をうわまわり学校にも周知されてきている。	全市域	0	継続		0	生涯学習センター図書館
169		2-②	読書のまち八王子の推進	としょかんたんけんたい	図書館窓口や内部業務等の幅広い業務の図書館を探検するなど、図書館をより身近な存在に感じてもらい、利用促進に努める。	研修を受け、本の配架・整架・カウンターなど様々な図書館業務の体験をする。 参加者 32名	市内	子ども	40	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	B	参加人数が、目標を達成できなかったが、体験を通して図書館をより身近な存在に感じてもらった。	全市域	0	継続		0	生涯学習センター図書館
170		2-②	読書のまち八王子の推進	図書のテーマ展示(児童・一般)	図書館から様々な種類の図書を紹介し、図書に親しむ機会の提供 年12回	毎月テーマを決め、図書を展示・紹介し、いろいろな本の情報を発信する。季節や行事などのほかに社会的関心の高いテーマなども紹介する。	自由	どなたでも	-	市単独	参加者への満足度及び利用の促進	図書館から様々な種類の図書を紹介することで、図書に親しむ機会を提供し、図書館利用の促進を図る。	B	市民に関心の高いものや季節の行事などにちなんだ資料を展示し提案した。利用は増えているが、さらにテーマの設定や展示の工夫を行い、利用の促進をする必要がある。	全市域	0	継続		40	生涯学習センター図書館

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
171		2-②	読書のまち八王子の推進	「八王子に関する新聞記事索引」の発行	八王子市に関する新聞記事索引を作成し、地域の歴史の一部として記録し、市民の利用に供す。	平成28年1月から12月までの八王子市に関する新聞記事のタイトルを日付項目別に配列した冊子を240部作成し、各図書館の資料として保存し閲覧に供するとともに、関係各所に配布した。	自由	どなたでも	240	市単独	参加者の満足度	八王子市に関する新聞記事索引を作成し、地域の歴史の一部として記録し、市民の利用に供す。	B	地域の歴史の一部として、記事索引を作成・保存し、市民の利用に供することが出来た。	全市域	0	継続		0	中央図書館
172		2-②	読書のまち八王子の推進	おはなし会	読み聞かせ等のおはなし会を実施することで、物語や本の楽しさを啓発し、子どもの読書活動の推進を図る。	絵本や紙芝居などの読み聞かせを行った。 (22回、参加者221名)	自由	子ども	210	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	読書へのきっかけづくりの役割をはたしており、ボランティアの活動の場にもなった。	全市域	0	継続		0	中央図書館
173		2-②	読書のまち八王子の推進	ちいちゃいこのお話会	1～3歳児と保護者を対象に本に親しむ機会を与えるとともに、読書習慣の育成を図る。	絵本や紙芝居の読み聞かせや、わらべうた、手遊びを行った。(12回、参加者167人)	自由	親子・保護者	110	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	親子で図書館に来るきっかけづくりや、子育ての交流の場としての役割を果たしている。	全市域	0	継続		0	中央図書館
174		2-②	読書のまち八王子の推進	夏休み手づくりの絵本	夏休みに、世界に一冊しかない絵本作りを行い、本や読書に親しむ機会の促進を図る。	八王子手づくり絵本の会の製本指導を受け、本を作成し、文章や絵を描き、世界に1つの自分だけの本を作った。 (合計4回、参加者97人。)	市内	子ども	80	共催	参加者の満足度	参加予定者数の達成	A	毎年、多くの子どもたちが参加している。市民団体と協力し、行えている。	全市域		継続		41	中央図書館
175		2-②	読書のまち八王子の推進	高齢者・障害者への図書宅配サービス	寝たきりの高齢者・障害者等で図書館に来館できない利用者に対して、図書を宅配するなど読書環境を整備する。	延べ181回人	市内	高齢者	250	委託	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	C	高齢等で図書館への来館が困難な利用者に対して、自宅へ本を宅配することにより、障害者等の利用促進を図ることができた。	全市域		継続		125	中央図書館
176		2-②	読書のまち八王子の推進	子ども読書の日記念事業	子ども読書の日にちなみ、本に親しむ機会を設けて、子どもの読書活動を推進する。	おはなし会、わらべうた、図書館たんけんたい、切り紙などのイベントを行った。 参加者294名。	自由	子ども	250	共催	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	様々なイベントを行うことで、本に親しむ機会を作るとともに、図書館への興味を持たせることができる。	全市域		継続		15	中央図書館
177		2-②	読書のまち八王子の推進	七夕行事の実施	児童と本・図書館が身近になるように、七夕行事を行う。	子どもたちの願い事を書いた短冊を、七夕飾りとともに笹に飾った。参加者178人	自由	どなたでも	150	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	A	短冊をつるした笹を飾ることにより、利用者に楽しんでもらえた。年中行事を通して文化を知り、継承されていく一助となった。	全市域		継続		0	中央図書館

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
178		2-②	八読王書の 進子のま 推ち	手づくりの本 展	手づくりの本を公募・ 展示し、本に親しみ と愛着を持つ機会と する。	手づくり絵本の会会員と市 民が手作りした本を展示し た。 出品数144点、入場者数 560名。	自由	どなた でも	200	共催	応募者・ 参加者の 人数	参加予定 者数の達 成	B	市民団体と協力しな がら、長期にわたり 継続している。	全市域		継続		0	中央図書 館
179		2-②	読書の まち八王 子の推 進	秋の朗読会	ボランティアが本等 の朗読を行い、高齢 者が読書すること へのきっかけを創出 する。	参加者54名	市内	どなた でも	80人	共催	応募者・ 参加者の 人数	参加予定 者数の達 成	C	広報、図書館ホーム ページ等でPRを 行ったが、今回は図 書館まつり全体の 日程調整により連 休の中日となったた めか、例年に比べ、 入場者数が少な かった。	全市域	0	継続		0	中央図書 館
180		2-②	読書の まち八王 子の推 進	春の朗読会	ボランティアが本等 の朗読を行い、高齢 者が読書すること へのきっかけを創出 する。	参加者78名	市内	どなた でも	80人	共催	応募者・ 参加者の 人数	参加予定 者数の達 成	A	参加者も目標数を 超え、朗読を通じて 読書への親しみや 読書の楽しさを伝え ることで、図書館利 用の促進を促すこと でできた。	全市域	0	継続		0	中央図書 館
181		2-②	読書の まち八王 子の推 進	図書のテー マ展示	図書館から様々な種 類の図書を紹介し、 図書に親しむ機会を 提供し、図書館利用 の促進を図る。	テーマを決めて、図書を展 示・紹介し、いろいろな本の 情報を発信する。 年15回 実施	市内	どなた でも	-	市単独	参加者へ の満足度 及び利用 の促進	図書館から様々な 種類の図書を紹介 することで、図書 に親しむ機会を提 供し、図書館利用 の促進を図る。	A	市民にとって関心の 高いものや、季節・ 学校行事などにち なんだ資料をコー ナーに集めること で、効果的に展示・ 提供することができ 、図書館利用の 促進につなげることが 出来た。	全市域	0	継続		0	中央図書 館
182		2-②	読書の まち八王 子の推 進	対面朗読	視力障害等で読書に 親しむ機会の少ない 市民に対し、図書館 の対面朗読室で図 書の朗読を行うな ど、読書環境を整備 する。	年415回実施	市内	障害者	450	委託	参加者へ の満足度 及び利用 の促進	実施回数 の達成	C	利用者の要望に応 えた資料を用意す ることができ、障害 者の図書館利用促 進につなげることが 出来た。	全市域		継続		450	図書館4 館
183		2-②	八読王書の 進子のま 推ち	地域子ども 文庫育成事 業	地域での読書環境 の充実を図るため、 地域文庫との連携を 強化する。	希望図書を図書館で購入 し、団体貸出を行った。3回 (5月、9月、1月)	市内	どなた でも	6	補助	協働事業 の推進	実施回数 の達成	C	希望図書について、 購入・貸出をすること ができた。	全市域		継続		48	中央図書 館

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
184		2-②	読書のまち八王子の推進	八王子千人塾	高齢者の興味・関心に対する図書館資料を活用した調べ学習支援	参加者12名 内修了者9名	市内	高齢者	30人	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数の達成	C	調べ学習を通じて、図書館のレファレンスサービスの提供により、参加者の知的満足感を高めた。	全市域	0	継続		0	中央図書館
185		2-③	化を八芸活か子のの振った特興文色	公園散策を楽しもう～スライドで学ぶ樹木	公園散策の楽しさを感じていただき上柚木公園の魅力を伝えることを目的に開催する。	季節に合わせ園内の多岐にわたる樹木を観察し生き延びるための特徴などを学んだ。	不特定	どなたでも	20	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者20人	B	樹木の不思議な生命力をスライドで参加者に伝えることができた。	由木	33	継続		33	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
186		2-③	化を八芸活か子のの振った特興文色	松竹梅の花あそび教室	園内の環境資源である竹や花を活用した花器づくりや生け花をすることで上柚木公園の魅力を伝える。	地域の華道師範の指導のもと太いモウソウチクを使った花器づくりとウメの開花時期に合わせた生け花を楽しんだ。	不特定	どなたでも	15	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者40人	B	竹で花器を作り園内のマツ・ウメを中心とした生け花を楽しむ機会を提供することができた。	由木	10	継続		10	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
187		2-③	化を八芸活か子のの振った特興文色	上柚木公園の紅葉と木の実を楽しもう	紅葉や木の実の美しさやその生態を知り上柚木公園の魅力を伝える。	季節に合わせ園内の多岐にわたる樹木を観察し生き延びるための特徴などを学んだ。	不特定	どなたでも	30	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者30人	B	ドングリや紅葉など秋に魅せる樹木の特徴を伝えることができた。	由木	30	継続		30	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
188		2-③	た色八の文を王振化活子興芸かの術し特	上柚木公園の樹木の冬芽を楽しもう	春の訪れを待つ個性ある樹木たちの「冬芽」を観察し上柚木公園の魅力を伝える。	季節に合わせ園内の多岐にわたる樹木を観察し生き延びるための特徴などを学んだ	不特定	どなたでも	30	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者30人	B	春に備え芽吹きを待つ冬芽の特徴を観察する機会を提供した。	由木	30	継続		30	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
189		2-③	八王子の特色を活かした文化芸術の振興	響き渡るワ・タ・シ～私のためのコンサート～	大舞台で世界的な銘器に親しんで頂く機会を通してオーリンパスホールに親しみを感じて頂く。	八王子市内のピアノ演奏愛好者や今後の活躍が期待される若手ピアノ演奏者に対し、オーリンパスホール八王子のステージで世界最高峰と言われるSteinway & Sonsのフルコンサートグランドピアノを演奏、発表する機会を提供する。	不特定	どなたでも	500	指定管理者	参加者の満足度	八王子の若い演奏者に響きの良さで定評のあるオーリンパスホールでSteinway & Sonsのフルコンサートグランドピアノを演奏する機会を設けて弾く側、聴く側ともに楽しめる催事を開催する。	B	来館者数174名に増加。演奏者からのアンケートでも高い評価を頂いた。	本庁	254千円	継続		260千円	学園都市文化課(共立・NTTファシリティーズ共同事業体)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
190		2-③	八王子文化の芸術特色を 活かし	避難訓練コンサート(仮称)	楽しい音楽鑑賞の途中で地震が起きたら!? 楽しく身の安全を守る方法を学ぶコンサートの実施を目指す。	オリンパスホール八王子で公演中に地震による火災が発生したことを想定し、ホール、主催者(利用者)、出演者、サザンスカイワー八王子防災センターと共同防災訓練を行う。	不特定	どなたでも	600	指定管理者	参加者の満足度	催事の真ただ中にあっても安全に催事運営及び来館者対応を行えるようにする。	B	578名の方に参加して頂いた。また、避難訓練コンサートが多摩地区の様々なホールで開催されるようになってきている。さらに、大学とも連携し実施している。	本庁	525千円	継続		530千円	学園都市文化課(共立・NTTファシリティーズ共同事業体)
191		2-③	八王子の文化芸術の振興	アースイベント	NPOアート多摩による土器野焼きワークショップで、火を使うことのできる環境を活かした特徴あるイベントとして実施する。	・1回目野焼き・土器についてのレクチャーと土器製作 ・2回目土器野焼き制作以上2回開催。 参加者計18名	不特定	子ども	10	共催	参加者の満足度	予定定員を満たす申込数を得られること	A	実施後にアンケートを取った結果、ほぼ全員の参加者の方より、満足度の高い評価を得られた。参加申し込みは定員を上回った。	由木	18	継続		4	公園課(フュージョン長池公園)
192		2-③	八王子の文化芸術の振興	星空コンサート	市民に音楽に触れる機会、天体学習の機会を提供する。	プラネタリウムの星空の下で行う生演奏によるコンサート 平成28年度は、4回開催し、大人440名、子ども94名、計534名が参加。	不特定	どなたでも	600	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者数を上回る参加実績	B	多くの市民の方々に、音楽に触れる機会・天体学習の機会を提供出来たため。	本庁		継続		120	こども科学館
193		2-③	八王子文化の振興	議場コンサート	議会に対する関心を高める。	各市議会定例会初日に公募の出演者によるコンサートを開催。(市内在住・在勤・在学の個人及び団体対象) 傍聴者数 H27年度 176人 H28年度 144人	市内	どなたでも	平均40人/回	市単独	事業を継続していくことを評価の指標としている。	市民の発表の場の提供 ※具体的な目標値は設定できない。	B	計画どおり発表の場を提供できたほか、参加者の公募を継続した。また、定例会初日に開催することで、議会に対する関心を高めることができた。	本庁	0	継続		0	庶務調査課
194		2-③	八王子文化の振興	第14回八王子車人形と民俗芸能の公演	伝統芸能の普及と保存伝承に対する市民の理解を深めてもらう。	28年度は「八王子車人形」「説経節」「四谷龍頭の舞」「石川町龍頭の舞」の公演を行った。(入場者数940人前年度855人)	自由	どなたでも	1,200	委託	応募者・参加者の人数	参加者1,200人	B	参加者の伝統芸能に対する親しみと理解を深めることができたとともに、出演者のやりがいや達成感につながったため。	本庁	1,650	継続		1,650	文化財課
195		2-③	八王子文化の振興	伝統文化ふれあい事業「説経節体験・発表講座～三味線・語り～」	後継者の発掘及び育成支援を行う。	10名の参加者が、12月11日～2月18日の期間で練習を重ね、2月19日に学園都市センターでその発表を行った。2月19日は190人の入場があった。	自由	成人	10	実行委員会	参加者の満足度	アンケート回答者の7割以上が「満足」と回答	A	参加者全員から「良い」と回答を頂いたため。	本庁	0	継続		0	文化財課
196		2-③	八王子文化の振興	伝統文化ふれあい事業「民俗芸能講座」	文化財の保護及び普及を図る。	「木遣」「狭間の獅子舞」「氷川の獅子舞」の3講座を開催し、82人が参加した。	自由	どなたでも	-	実行委員会	参加者の満足度	アンケート回答者の7割以上が「満足」と回答	B	保存会の協力により、獅子頭などの衣装の着付けや万灯の花の作成など普段行えないことができ、参加者の高い満足を得られたため。	本庁	0	継続		0	文化財課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
197		2-③	かハ した 王子 振文 興化 特 芸 色 術 を の 活	東京文化財 ウィーク	東京都が主催し、都 内の指定文化財を一 斉に公開する。	10月29日から11月6日の期 間中、国や都の指定文化 財を公開した。	自由	どなた でも	-	市単独	東京都が 人数の集 計等を行 うため、設 定なし	一	B	普段は一般公開さ れていない都の指 定文化財をはじめ、 様々な文化財を公 開し、多くの方々に 文化財に触れる機 会を提供できたた め。	本庁	0	継続		0	文化財課
198		2-③	した 王子 文子 化の 芸特 術色 を振 活興 か	文化財見て 歩き	市内の文化財等を市 民に紹介し、八王子 の歴史等の普及を行 う。	文化財見て歩き「松姫ゆか りの地を歩く」「親子で体 験！八王子城跡」「八王子 名勝志を歩く」「柚木地区の 歴史を歩く」を実施し、歴史 や文化に触れ、理解を深め た。(4回 参加者107人、前 年度 4回 106人)	自由	どなた でも	120～ 240	市単独	応募者・ 参加者の 人数	参加者 120～240 人	B	どの回も参加者か ら好評で「継続して ほしい」との声もあ り、当選者の参加率 も高かったため。	本庁 由木 元八王 子	8	継続		5	文化財課
199		2-③	化を八 芸活王 術か子 のしの 振の特 興文色	文化財年報	文化財の調査及び 研究活動を発表する ことで、八王子の文 化財に対する市民の 理解を深めてもらう。	八王子市文化財年報第10 号を発行した。	自由	どなた でも	250	市単独	発行時期	12月まで	B	12月の発行には間 に合わなかったが、 今年度内に発行で きたため。	本庁	132	継続		187	文化財課
200		2-③	化を八 芸活王 術か子 のしの 振の特 興文色	クリスマス ジャズ	市民に身近な場所で 優れた文化や芸術を 鑑賞する機会を提供 する。	飲食のできるホールで、飲 食をしながら気軽にジャズ を鑑賞。入場者数は96人。	自由	どなた でも	140	指定管 理者	応募者・ 参加者の 人数	チケットの 完売を目 標とする	B	チケットは完売し、 アンケートにも満 足の声を多くいた いだいた。	由木	346	継続		400	学園都市 文化課 (学園都 市文化ふ れあい財 団)
201		2-③	化を八 芸活王 術か子 のしの 振の特 興文色	フォレスト コンサート	市民に身近な場所で 優れた文化や芸術を 鑑賞する機会を提供 する。	市民に親しまれてきた唱歌 や歌謡曲などを、クラシック の歌手により公演。入場者 数は1回目750人、2回目 715人。	自由	どなた でも	1500	指定管 理者	応募者・ 参加者の 人数	チケットの 完売を目 標とする	B	チケットの売り上げ も良く、アンケートに も満足の声を多く いただいた。	本庁	4,320	廃止・終 了	今後は共 催公演と して実施		学園都市 文化課 (学園都 市文化ふ れあい財 団)
202		2-③	た色八 の文を 王振化 活子興 芸かの 術し特	真夏の夜の ジャズ	市民に身近な場所で 優れた文化や芸術を 鑑賞する機会を提供 する。	飲食のできるホールで、飲 食をしながら気軽にジャズ を鑑賞。入場者数98人。	自由	どなた でも	140	指定管 理者	応募者・ 参加者の 人数	チケットの 完売を目 標とする	B	チケットは完売し (？の売り上げも良 く？)、アンケートに も満足の声を多く いただいた。	由木	347	継続		400	学園都市 文化課 (学園都 市文化ふ れあい財 団)
203		2-③	した 王子 文子 化の 芸特 術色 を振 活興 か	八王子音楽 祭2016	音楽の鑑賞・参加・ 体験を通じて、芸術 文化の普及を図ると ともに人と人のふれ あい・つながりを深 め、また八王子への 関心・愛・誇りを育 み、芸術の薫る街づ くりに寄与する。	ホールでの公演以外にも、 演奏家(プロもアマも)が街 中で演奏し、街の賑わいを 創出した。期間中に入場者 数18277人、参加者数3199 人。	自由	どなた でも	20000	指定管 理者	事業の拡 大	事業の認 知度向上 と参加者 や来場者 数の増	A	事業数も増え、認知 度も上がった。特に 参加者数が昨年を 大幅に上回った。	本庁	20,545	継続		64,530	学園都市 文化課 (学園都 市文化ふ れあい財 団)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
204		2-③	した王子化の芸術色の活興か	SUN☆KANラリー	市内美術館が共同し市民に芸術文化に触れる機会を提供	市内にある夢美術館、東京富士美術館、村内美術館の3館が共同し、夏休み期間中に主に子ども向け(大人の参加も可)に実施するスタンプラリー事業。平成28年度は中止となった。	不特定	どなたでも	850	指定管理者	応募者・参加者の人数	目標参加予定数の達成	D	空調更新工事休館のため夏期の実施が困難となり、各館と別の時期を検討したが調整がつかず本年は中止となった。	本庁	0	継続		536	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
205		2-③	化を八芸活かしのしの特興文色	アフタヌーンコンサートVol.10	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	平日の昼間に、東京交響楽団のメンバーによる約1時間のトーク付きコンサート。入場者数355人。	自由	どなたでも	800	補助	応募者・参加者の人数	チケット販売6割を目指す	C	気軽に質の高い音楽を楽しめる企画により芸術の普及を図ったが目標集客数に到達できなかった。	本庁	612	継続		420	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
206		2-③	した王子化の芸術色の活興か	ギャラリートーク	市民に身近な場所で優れた美術作品を鑑賞する機会を充実させる。	特別展と常設展(収蔵品展示)にあわせて外部講師(美術家や研究者)や夢美術館学芸員によるギャラリートークを開催。平成28年度は計10回を実施した。	不特定	どなたでも	未定	指定管理者	実施回数	実施回数の達成	A	本表での実施の回数は未定となっているが、平成28年度の目標値は5回で目標を2倍上回り達成している。増加の要因は特別展の実施回数が増えたため。	本庁	45	継続		235	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
207		2-③	化を八芸活かしのしの特興文色	松竹大歌舞伎	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	市川染五郎他が出演する歌舞伎公演を昼夜2回実施。入場者数は昼521人、夜539人。	不特定	どなたでも	700	指定管理者	応募者・参加者の人数	集客70%以上を目指す	C	地元で質の高い伝統文化の鑑賞機会を提供できたが目標集客数に到達できなかった。	本庁	9,280	休止			学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
208		2-③	化を八芸活かしのしの特興文色	すぎやまこういち×東京交響楽団ドラゴンクエストコンサート	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	すぎやまこういち氏自らが指揮をする人気公演。入場者数1602人、	自由	どなたでも	1,600	補助	応募者・参加者の人数	チケットの完売を目指す	B	チケットも早くに完売になり、満足度の高いコンサートとなった。	本庁	7,792	継続		8,020	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
209		2-③	化を八芸活かしのしの特興文色	東京交響楽団PJ事業アフタヌーンコンサートVol.8	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	平日の昼間に、東京交響楽団のメンバーによる約1時間のトーク付きコンサート。入場者数112人。	自由	どなたでも	180	補助	応募者・参加者の人数	チケット販売数8割を目指す	C	気軽に質の高い音楽を楽しめる企画により芸術の普及を図ったが目標集客数に到達できなかった。	本庁	300	継続		600	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
210		2-③	化を八芸活かしのしの特興文色	東京交響楽団PJ事業メサイア公演	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	東京交響楽団と、八王子クリンゲンコア(合唱団)の共演による本格的コンサート。チケットは完売で入場者数1516人。	自由	どなたでも	1500	補助	応募者・参加者の人数	チケット販売数7割を目指す	B	多くの市民が参加し、かつ質の高い音楽を多くの観客が鑑賞できる機会と提供できた。	本庁	10,675	継続		35,000	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
211		2-③	八王子の特色を 活かした文化芸術の 振興	八王子車人形とアメリカ 人形師トムリーによる 「shank's_mare_膝栗毛」	市民に身近な場所で 優れた文化や芸術を 鑑賞する機会を提供 する。	八王子車人形と、ニュー ヨークの人形遣いがコラボ し、映像を駆使した公演。3 回公演入場者数延べ641 人。	自由	どなた でも	450	指定管 理者	協働事業 の推進	八王子の 伝統文化 を内外に 分かりやす く広くPR する	B	企画の国際性により 地元の文化資源 を市内外により広く 認知してもらうPRが できた。	本庁	292	休止			学園都市 文化課 (学園都 市文化ふ れあい財 団)
212		2-③	八王子 の特色 を 活 か し た 文 化 芸術 の 振 興	避難訓練コ ンサート	地域の小学校と協働し 防災意識を高めると ともに、芸術文化を 鑑賞する機会を提供 する	参加者 342名	市内	子ども	400	指定管 理者	協働事業 の推進	複合ビル の管理者 と共同で 実施 会館の職員、地域の 小学生・教員の防災 知識、防災意識を 高める	B	地元小学校を観客に 迎え、実際のホール で生の音楽を体感し、 避難訓練では防災意 識を高めた。また、 ビル管理者と協働し 連携を深めた。	由木	136	継続		260	学園都市 文化課 (学園都 市文化ふ れあい財 団)
213		2-③	八王子の特色を 活かした文化芸術の 振興	南大沢文化 会館開館20 周年記念事業	市民に身近な場所で 優れた文化や芸術を 鑑賞する機会を提供 する。	著名なアーティストの 公演として、大谷康子 ヴァイオリンコンサート (入場者数340人)と幸 田浩子ソプラノコンサ ート(入場者数405人) を実施	不特定	どなた でも	450	指定管 理者	応募者・ 参加者の 人数	集客80% 以上を目 指す	C	人気・実力共に日本 を代表するアーティスト の公演が出来たが、 集客が75%にとどま った。	由木	大谷1060 幸田1427	廃止・終 了	周年記念 のため		学園都市 文化課 (学園都 市文化ふ れあい財 団)
214		2-③	八王子の特色を 活かした文化芸術の 振興	モーニング コンサート	市民に身近な場所で 優れた文化や芸術を 鑑賞する機会を提供 する。	声楽、弦楽等 4回実施 入場者 延べ564名	不特定	どなた でも	各140	指定管 理者	参加者の 満足度	入場率 90% アンケート 満足度 90%以上	B	アンケートでは各回 満足度が90%以上 になり、入場者も4 回合計の予定人数 を上回り、目標を達 成できた。	由木	428	継続		436	学園都市 文化課 (学園都 市文化ふ れあい財 団)
215		2-③	八王子の特色を 活かした文化芸術の 振興	ユースオー ケストラワー クショップと コンサート(発表会)	プロのオーケストラ の指導者の講師によ り若手演奏家(中学生 ・高校生・大学生) の育成を図る。	八王子ユース弦楽アン サンブルの育成と発表 。メンバー32人、参 加者数延べ705人。	自由	どなた でも	未定	補助	応募者・ 参加者の 人数	オーケス トラ結成に 充分な子 供達の応募 を目指す	B	5月(わくわく音楽 会)、8月(オーケス トラワンダーランド) と2回の演奏会が実 施でき、演奏力・メ ンバー数ともに充実 を図ることができ た。	本庁	3,415	継続		6,727	学園都市 文化課 (学園都 市文化ふ れあい財 団)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
216		2-③	八王子の特色を 活かした文化芸術 の振興	常設展(収蔵 品展示)	市民に身近な場所で 優れた美術作品を鑑 賞する機会を提供す る。	収蔵品からテーマや作家を 選定し、市民に優れた絵画 等を鑑賞する機会を提供。 平成28年度の入場者数は 62日間で11,103人となっ た。	不特定	どなた でも	未定	指定管 理者	応募者・ 参加者の 人数	目標参加 予定数の 達成	A	本表での参加者数 は未定となっている が、平成28年度の 目標値は6,950人で 実績値が目標値の 160%の達成率のため、 目標を大きく上 回り達成している。 入場者増の要因は 特別展の一つ「イギ リスからくり玩具展」 で予想の2倍近くの入 館者となったこと ことから併設の収蔵 品展入館者が増加 した。	本庁	227	継続		227	学園都市 文化課 (学園都 市文化ふ れあい財 団)
217		2-③	八王子の特色を 活かした文化芸術 の振興	伝承のたま ばこ～多 摩伝統文化 フェスティ バル2016～	街中を中心に市民に 身近な場所で八王子 に伝わる文化や芸術 に親しむ機会を提供 する。	八王子の伝統芸能と、多摩 地域の伝統芸能を、ユー ロードを中心にフェスティ バル形式で発表。2日間の入 場者数数は29607人。	不特定	どなた でも	1000	補助	その他	事業の認 知	A	初めての企画で あったが、コンテン ツの内容、集客ともに 目標を大きく上 回った。	本庁	2,000	継続		2,000	学園都市 文化課 (学園都 市文化ふ れあい財 団)
218		2-③	八王子の特色を 活かした文化芸術 の振興	東京交響楽 団PJ事業 アフタヌン コンサート Vol.9	市民に身近な場所で 優れた文化や芸術を 鑑賞する機会を提供 する。	平日の昼間に、東京交響 楽団のメンバーによる約1 時間のトーク付きコンサ ート。内容は管楽器で入 場者数は268人。	自由	16歳以 上で初 級修了 者また は同程 度の技 量をお 持ちの 方	500	指定管 理者	応募者・ 参加者の 人数	チケット販 売数8割を 目指す	C	気軽に質の高い音 楽を楽しめる企画に より芸術の普及を 図ったが目標集客 数に到達できなかった。	本庁	800	継続		520	学園都市 文化課 (学園都 市文化ふ れあい財 団)
219		2-③	八王子の特色を 活かした文化芸術 の振興	東京交響楽 団PJ事業 東響ファン タジー	市民に身近な場所で 優れた文化や芸術を 鑑賞する機会を提供 する。	東京交響楽団によるゲー ム音楽のコンサート。	自由	どなた でも	未定	補助	応募者・ 参加者の 人数	チケット販 売数8割を 目指す	C	当初の企画が許諾 の関係で大きく変更 となり、集客できな かった。	本庁	9,783	廃止・終 了	ゲーム音 楽の演奏 許諾が難 しいため		学園都市 文化課 (学園都 市文化ふ れあい財 団)
220		2-③	八王子の特色を 活かした文化芸術 の振興	特別展	市民に身近な場所で 優れた美術作品を鑑 賞する機会を提供す る。	地域の美術館として本市 ゆかりの著名な画家を 紹介する企画、国内で 高い評価を得ている美術 作品等の紹介する企画、 学生・子どもたちも楽し める企画など幅広いジャン ルで特別展を年間4本開 催。平成28年度の入場 者数は168日間で17,79 9人となった。	不特定	どなた でも	16250	指定管 理者	応募者・ 参加者の 人数	目標参加 予定数の 達成	A	実績値が目標値の 110%の達成率のため、 目標を上回り達成 している。入場者 増の要因は特別展 の一つ「イギリスか らくり玩具展」で予 想の2倍近くの入館 者となったことが挙 げられる。	本庁	18,710	継続		41,775	学園都市 文化課 (学園都 市文化ふ れあい財 団)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
221		2-③	活かした文化芸を 術の振興	伝統文化ふれあい事業	八王子に伝わる伝統文化などの魅力に触れる機会を提供する	実行委員会による事業で、車人形・説経節・篠笛・木遣・獅子舞の講座を実施。	自由	どなたでも	1000人	実行委員会	応募者・参加者の人数	講座受講生の定員に対し100%の参加者数を目指す	B	講座によっては、受講者が定員を下回った。	本庁	100	継続		100	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
222		2-③	活かした文化芸を 術の振興	市史編さん室・生涯学習センター共催市民講座	市民が八王子の歴史に理解を深める機会を創出し、市史編さん事業の普及と市民協働への足掛かりとする。	市史編さん室・生涯学習センター共催市民講座「新八王子市史を読み解く 自然編」全6回を実施。市民参加総数569名。	不特定	どなたでも	230	共催	参加者の満足度	「満足」の声が参加者の7割を占めること。	A	アンケートを実施した結果、84.5%の割合で「満足した」との回答を得たため。	本庁	0 (謝礼は学習支援課で対応)	継続		54	市史編さん室
223		2-③	八王子文化の芸術特色を活かし	体験学習・講座	郷土の歴史・文化への関心を深めてもらうための契機となる場を提供する。	体験学習は「まゆ人形を作ろう」、「火おこし体験と土器づくり」、「八王子かるたとお正月遊び」、「縄文時代の衣装を着てみよう」、「火おこし」、講座は「八王子隕石の古文書を読んでみよう」、「八王子空襲と戦時下の生活」を実施。	不特定	どなたでも	20	市単独	参加者の人数	参加人数300人	B	目標としていた参加人数を上回ることができ、参加された方々に歴史・文化に触れる機会をさまざまな形で提供することができた。	本庁	7	継続		6	文化財課 郷土資料館
224		2-③	八王子文化の芸術特色を活かし	特別展・企画展	さまざまな展示を実施することで地域の歴史を紹介し、市民に郷土詩学習の機会を提供できるよう努める。	特別展「郷土へのまなざし」、「掘りおこされた八王子」、企画展「八王子隕石と江戸時代の天文」、「親子で学ぶ 戦争と八王子空襲」、「七福神～八王子の恵比寿・大黒・おめでたいもの大集合～」	不特定	どなたでも	-	市単独	特別展・企画展実施回数	特別展を2回、企画展を3回開催する。	B	目標の特別展、企画展を開催することができたことと、前年より多くの来館者を迎えることができた。	本庁	73	継続		82	文化財課 郷土資料館
225		2-③	八王子文化の芸術特色を活かし	特別展示図録の刊行	特別展の一環として展示図録を刊行する。	「郷土へのまなざし」、「掘りおこされた八王子」の展示内容について解説した展示図録を刊行し、完売したブックレット「千人のさむらいたち～八王子千人同心～」を増刷した。	不特定	どなたでも	1,000	市単独	その他	特別展開催に合わせて刊行し、展示内容をわかりやすく解説した図録及び完売した図書をあわせて3冊刊行する。	B	目標だった図録3冊を刊行することができたとともに写真や図を随所に掲載して、展示内容について理解を深める役割を果たすことができた。	本庁	1,099	継続		1,210	文化財課 郷土資料館
226		2-④	ク生 リ涯 エー ポ シ ョ ン ・ の レ	ジョギング教室	長距離のトップアスリートからの指導により正しい走法技術の取得やジョギングを楽しみ、市民の健康と子供達の心身の育成を図ることを目的とする。	長距離走のストレッチや練習方法の指導を通じてコニカミノルタ陸上競技部員と市民の交流を図る。	不特定	どなたでも	100	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者100人以上	A	参加者128名と多くレベルに応じたクラス分けもでき、参加者とコニカミノルタの選手の交流を図ることができた	由木	130	継続		130	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
227		2-④	エッ生 ー・涯 シ・ス ョ・ポ ン・ー のレ 推進ク	ターゲット バードゴルフ スクール	ニュースポーツである ターゲットバードゴルフの入門編を初心者 を対象に行う。	1本のクラブからの様々な 打ち方を指導者から学び ターゲットバードゴルフの楽しさを体験する。	不特定	成人	30	指定管理者	応募者・ 参加者の 人数	参加者30 名	B	参加者が4回で延べ 40人おt少なく関心 度が下がっている が参加された方は 満足された。	由木	36	継続		36	(八王子 市学園都 市文化ふ れあい財 団)
228		2-④	リ生 エ・涯 ー・ス シ・ポ ョ・ー ン・ツ の・レ 推進ク	ティーボール 教室	「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」プレーでき、「打つ」、「投げる」、「捕る」、「走る」動作を比較的短時間に楽しめる野球型ニュースポーツを普及する。	バットで打ち走り投げる 「ベースボール型スポーツ」の楽しさを体験する。	不特定	どなた でも	20	指定管理者	応募者・ 参加者の 人数	参加者40 人	C	参加者が11人と目標には満たなかったが子ども達は楽しくプレイした 今後は幼児・障害者向けを検討する。	由木	24	継続		24	(八王子 市学園都 市文化ふ れあい財 団)
229		2-④	生 涯 ス ポ ー ツ の 推 進 ク	テニスクリ ニック(①大人・②子ども)	①テニス経験者の更なる技術向上のためテーマを絞った講座を行う。 ②これからテニスを始めたい、又は始めたばかりの子どもを対象に体験講座を行い、ジュニアテニス人口の更なる拡大を図る。	元日本ランキング上位のプロテニスプレーヤーらによる技術指導を行い日頃の練習方法を学ぶ	不特定	成人	①各回 80人 ②各回 40人	指定管理者	応募者・ 参加者の 人数	①参加者 各回80名 ②参加者 各回40名	A	参加者120名を超え盛況であった 今後さらにカリキュラムの充実を図る	由木	195	継続		195	(八王子 市学園都 市文化ふ れあい財 団)
230		2-④	エッ生 ー・涯 シ・ス ョ・ポ ン・ー のレ 推進ク	ビギナーズ テニススクール(①大人・②子ども)	初心者を対象に連続講座を行い、技術の向上によりテニスの楽しさを知る。	プロのテニスコーチを専門に目指す(日本工学院の)学生達が10回コースで初心者を指導する。	不特定	どなた でも	①8 ②16	指定管理者	参加者の 満足度	各参加者が最後まで続けて参加すること	B	テニスコーチの実地として指導教員も学生も熱心に取り組み10回の連続講座に欠席があまりなく満足度も高い。	由木	130	継続			(八王子 市学園都 市文化ふ れあい財 団)
231		2-④	レ生 クリ ス エ ー の 推 進 ク	リンパウォー キング教室	姿勢を改善して、リンパの流れをよくする歩き方を学ぶ。市民の健康促進と運動の機会を提供することを目的とする。	姿勢を改善して、リンパの流れをよくする歩き方を学ぶ。	不特定	成人	30	指定管理者	応募者・ 参加者の 人数	参加者40 人	B	20名と少なかったが参加された方は満足していた 講師の連絡が取れず苦心した。	由木	24	廃止・終了		130	(八王子 市学園都 市文化ふ れあい財 団)
232		2-④	ク生 リ涯 エ・ス ー・ポ シ・ー ョ・ン の・レ 推進ク	健康ウォー キング&ストレッチ	無理なく歩くためのストレッチ方法とウォーキングのスキルや楽しさを知り、市民の健康と運動促進を目的とする。	効果的なストレッチで可動域を広げより無理のないウォーキングを体験する。	不特定	どなた でも	40	指定管理者	応募者・ 参加者の 人数	参加者80 名	B	25名と少なかったが満足度は高い 特にストレッチの効果が高い。	由木	100	継続		24	(八王子 市学園都 市文化ふ れあい財 団)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
233		2-④	生涯スポーツの推進	太極拳教室	年齢関係なく手軽に参加しやすい「太極拳」について市民の健康増進に対する啓発の機会の一助とする。	青空のもと葉の擦れる音や、野鳥のさえずりなどを感じながら太極拳の基本動作を体験する。	不特定	成人	30	指定管理者	応募者・参加者の人数	延べ参加者数100人	B	5回で延べ100名と目標を達成した自然の風・光・鳥のさえずりを感じながらの本教室は貴重。	由木	80	継続		110	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
234		2-④	生涯スポーツの推進	プールウォーキング教室	プールウォーキングを通じて足腰の強化や体力の向上を目指す。	室内歩行用プールでの基本的な水中歩行の仕方などを指導する。実施回数28回 延参加人数314人	市内	どなたでも	336	市単独	参加者の満足度	参加率の増加	B	前年度より定員数を増やしたこともあり参加者が増えているため。	本庁	14256 (プール管理委託料に含む)	継続		16291 (プール管理委託料に含む)	大横保健福祉センター
235		2-④	生涯スポーツの推進	体験アクアビクス	簡単なアクアビクスを通じて足腰の強化や体力の向上を目指す。	室内歩行用プールでの基本的なアクアビクスの動きなどを指導する。実施回数30回 参加延人数336名	市内	どなたでも	450	市単独	参加者の満足度	参加者数の確保	B	常に定数を満たし、利用者から満足の声をもらっているため。	本庁	14256 (プール管理委託料に含む)	継続		16291 (プール管理委託料に含む)	大横保健福祉センター
236		2-④	生涯スポーツの推進	健康フェスタ 食育フェスタ	体験型ニュースポーツや体力測定・ゲームなどを通じ、健康づくりのきっかけづくりとする。	毎年5月の第3日曜日を「市民健康の日」と定め、健康フェスタを開催している。平成28年度は市制100周年イベントとして、毎年秋に開催している「食育フェスタ」と合同開催で実施した。	不特定	どなたでも	9,000人	実行委員会	参加者の満足度	参加者数の増 アンケート集計結果による「健康づくりのきっかけ」の回答15%増	A	平成28年度に13回目を迎えた健康フェスタにおいて、初めて来場者数が1万人を超えた。アンケート結果から、子ども、30歳代、40歳代の来場者も多く、健康、食育について幅広い年代の多くの方に向けて周知啓発を行うことができた。	本庁	1,803	継続		1,820	健康政策課
237		2-④	生涯スポーツの推進	アウトドア フィットネス	フィールド競技ではなく、健康増進、体力増進のために日常的に運動を実施するプログラム	公園施設を利用した体力増強、ニュースポーツ挑戦、生涯スポーツプログラム 67回開催 2回/日218名参加	不特定	成人	25名/日	指定管理者	参加者の満足度	予定定員を満たす申込数を得られること	C	参加申し込み者数が当初予定を下回った。	元八王子	▲915	継続		1,018	公園課(スポーツコミュニティ戸吹)
238		2-④	生涯スポーツの推進	各種テニス大会	市民の皆様に気軽にテニスの試合を楽しんでいただき、余暇の充実、健康増進を図っていただく。	57回開催 790ペア参加	不特定	成人	16ペア/回	指定管理者	応募者・参加者の人数	予定定員を満たす申込数を得られること	C	参加申し込み者数が当初予定を下回った。	元八王子	1,643	継続		2,312	公園課(スポーツコミュニティ戸吹)
239		2-④	生涯スポーツの推進	小中学生テニス大会	市内の小中学生に特に普段試合に出る機会の少ない選手に提供する大会	8回開催 223名参加	不特定	子ども	48名/回	指定管理者	応募者・参加者の人数	予定定員を満たす申込数を得られること	C	参加申し込み者数が当初予定を下回った。	元八王子	▲130	継続		784	公園課(スポーツコミュニティ戸吹)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
240		2-④	生涯スポーツ・レクリエー	TOKYO八峰マウンテントレイル2016	「東京都自然公園利用ルール」に基づき、山を利用する誰もが気持ちよく楽しむことができるよう、マナー啓発を目的として開催する。	タやけ小やけふれあいの里をスタートし、和田峠、小仏城山、三沢峠を経由し落合公園をゴールとする大会。 平成28年12月23日実施 申込者数:897名	不特定	成人	800	実行委員会	応募者・参加者の人数	800	B	開会式及びレース中にスタッフからマナー啓発の呼びかけをしたことで、選手のマナー向上に努めることができた。 またアンケートの結果、参加者の97%が次回大会の参加を希望する結果となった。	浅川恩方	0	継続		0	スポーツ振興課
241		2-④	生涯スポーツ・レクリ	ジュニア育成	トップアスリートから指導を受けることで競技継続に対するモチベーションをアップすること目的に開催する。	ジュニア向けにバスケットボール教室・バドミントン教室・体操教室を実施。 参加延べ人数:246人	市内	子ども	360	委託	応募者・参加者の人数	360	B	各事業において、子どもたちが各競技の習得やレベルアップに向け積極的に活動できた。初心者にはスポーツに親しみを持ち、経験者にはより高い目標意識を持つ良いきっかけづくりとなった。	散田	1,500	継続		1,500	スポーツ振興課
242		2-④	生涯スポーツ・レクリエー	ネオテニス教室	「八王子市の生涯スポーツ」ネオテニスの普及を目的に大会を開催する。	18歳以上の市民を対象に10月から11月までの間、毎週1回(計6回)の教室を開催する。 申込者数:36名 延べ参加者数:180名	市内	成人	30	委託	応募者・参加者の人数	30	B	昨年度よりも申込者数、延べ参加者数は減少したものの、参加者の何名かは体育館の一般開放に参加し、地区のネオテニスクラブや市主催のネオテニス大会に非常に関心を寄せており、ネオテニスの普及活動ができた。	散田	80	継続		80	スポーツ振興課
243		2-④	生涯スポーツ・レクリ	ネオテニス親子教室	親子参加型のスポーツの場を提供し、スポーツ推進委員による「八王子市の生涯スポーツ」ネオテニスの教室を開催する。	市内小学生とその親を対象に毎週1回(計6回)の教室を開催する。【スポーツ推進委員主管事業】 参加申込者数:45名 延べ参加者数:196名	市内	親子・保護者	30	共催	応募者・参加者の人数	30	B	指導内容を改善したこともあり、参加者の技術に応じた指導ができた。また、昨年度よりも多くの申込、参加があり、ネオテニスの普及だけでなく、親子でスポーツをする場の提供ができた。	散田	0	継続		0	スポーツ振興課
244		2-④	生涯スポーツ・レ	ヘルシーウォーキング開催	市民の体力向上・健康維持増進への意識を高めるためにウォーキングイベントを開催する。	スタンプを集めながら市内各所を巡り、ウォーキングを楽しむイベント。 平成28年5月15日実施 延べ参加者数:831名	不特定	どなたでも	900	実行委員会	応募者・参加者の人数	900	B	小さなお子様からお年寄りまでの幅広い世代の方に参加をいただいた。 また、事故なく効率的に運営ができた。	元八王子	728	継続		728	スポーツ振興課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
245		2-④	生涯スポーツの推進	健康体操教室	市民の健康維持・増進のため健康体操教室を実施する。	市民の健康維持・増進のため、個人向けの健康体操教室と団体向けの健康体操教室を開催。 個人向け参加人数:3681名 団体向け参加人数:2943名	市内	成人	6000	市単独	応募者・参加者の人数	6,000	B	毎回多くの参加者が参加し、リピータや数か所の会場に足を運ぶ参加者も増えた。 また、個人向け体操教室を午後にも開催する等より多くの参加者が参加できるよう事業の拡大を図った。	全市域	6,021	継続		6,143	スポーツ振興課
246		2-④	生涯スポーツの推進	市民ネオテニス大会	「八王子市の生涯スポーツ」ネオテニスの普及及び愛好家の交流を目的に大会を開催する。	順位づけはしない総当たり戦を行う大会。【スポーツ推進委員主管事業】 平成29年1月22日実施 参加チーム数:34チーム 参加者数:235名	市内	成人	200	共催	応募者・参加者の人数	200	B	参加者数は昨年度よりも増加し、事故なく開催できた。また、今年度も障害者スポーツ「ボッチャ」体験コーナーを設け、障害者スポーツの普及活動を行った。計80名の参加があり、多くの方に体験していただいた。	散田	0	継続		0	スポーツ振興課
247		2-④	生涯スポーツの推進	市民レクリエーション大会	市民のレクリエーション活動の日頃の練習の成果を発表する場として大会を実施する。	市内レクリエーション団体の演技発表の場として開催する。 平成29年3月5日実施 参加者数:743	市内	どなたでも	3,000	委託	応募者・参加者の人数	3,000	B	各団体は日頃の練習の成果を発揮する場として、また、市民はレクリエーションを鑑賞する場として、今年度も多くの方が参加し、レクリエーションの振興を図ることができた。	散田	602	継続		602	スポーツ振興課
248		2-④	生涯スポーツの推進	全関東八王子夢街道駅伝競走大会	八王子市の中心部で実施し、本市の魅力を広くアピールするとともにスポーツ振興や地域活性化の契機を目的に開催する。	甲州街道をメインとして開催する駅伝大会。 平成29年2月12日実施 申込チーム数:540チーム 申込選手数:2,160名	不特定	どなたでも	2,000	実行委員会	応募者・参加者の人数	2,000	B	参加者数は昨年度と同水準。数多くのボランティアが参加し、沿道地域の活性化やコミュニティ振興にも寄与した。また、オリンピックをスターターとして迎えるなど新たな試みも見られた。	甲州街道等	12,865	継続		13,704	スポーツ振興課
249		2-④	生涯スポーツの推進	地区運動会等開催	スポーツ大会を通じ地域のコミュニティ活性化につなげるため、地域スポーツクラブや旧地区体力づくり推進協議会に対し補助金を支給する。	市内を23地区に分け、それぞれの地域の実情に即した運動会を開催する。 開催地区:18地区 延参加人数:8253	市内	どなたでも	10,000	補助	応募者・参加者の人数	10,000	B	各地域においてイベントを実施することで地域住民の交流を深め、健康意識の向上に寄与した。	全市域	1,782	継続		2,079	スポーツ振興課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
250	◎	2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	地域緑花資源発見事業	全国都市緑化はちおうじフェア開催1年前イベントとして、自然と環境問題に対する市民の関心を一層高める機会とするとともに、フェア開催に向けた気運醸成を図る。(7.8.9月)	スタンプラリー「珍樹アニマル探偵団」パンフレット配布数2,450枚、景品配布数1,395個	不特定	どなたでも	10,000(枚)	市単独	応募者・参加者の人数	実参加者数3,000人	B	目標数値に達しなかったものの、市内広域において、子どもと保護者を中心に周知を行うことができ、新聞報道等でも同フェアを周知できた。	全市域	2,598	廃止・終了	同フェアの周知・機運醸成を目的とした一時的事業のため。	2,371	都市緑化フェア推進室
251		2-④	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	あったか健康教室	子どもから高齢者まで、それぞれのニーズに合った健康教室を実施し、市民の健康づくり、健康増進に寄与する。	年間計20教室参加者延べ人数14,683人	市内	どなたでも	15,000人(H27年4月～H28年1月実参加人数参考)	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数15,000人	B	複合施設として、環境以外に健康促進等のイベントも開催し市民ニーズに応えている。	全市域	0	継続		0	北野清掃工場
252		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	100歳まで元気アップ運動教室(予算上は体力アップ運動教室)	運動習慣を身に付け、身体機能の維持、向上を図るとともに、日常生活の中に体操を取り入れ、要介護に陥ることを防ぐ。	運動器の機能向上事業として実施 年10回 述べ参加者117人	市内	高齢者	75	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	計画通り実施できた。	本庁	120	継続		280	大横保健福祉センター
253		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	おりがみ教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	意匠をこらした折り紙の指導。実施回数20回 参加延人数377人。	市内	高齢者	480	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果にて「満足」が80%以上	C	後期の教室の内容が、参加者に対してやや難しかったらしく、「満足」の数値が低かったため。	本庁	100	休止		100	大横保健福祉センター
254		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	タブレット・PC教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	iPad・Windows10による端末操作の指導。実施回数16回 参加延人数177人	市内	高齢者	192	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果にて「満足」が80%以上	B	参加者からのアンケート結果は概ね「分かりやすかった」であったため。	本庁	1,061	継続		1,061	大横保健福祉センター
255		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	トリム健康体操教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	軽易な体操による運動講座。実施回数20回 参加延人数310人	市内	高齢者	400	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果にて「満足」が80%以上	B	参加者からのアンケート結果は全て「満足」であったため。	本庁	95	継続		100	大横保健福祉センター
256		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	ヘルスアップ運動教室	介護が必要となる状況を予防するために、運動器の機能低下予防や、健康維持増進の具体的運動方法を学び、運動習慣を身に付ける。	年22回 述べ参加者373人	市内	高齢者	220	市単独	事業の拡大	運動を継続し習慣化するために、参加者による自主サークル活動を立ち上げる。	B	計画通り実施できた。	本庁	440	継続		262	大横保健福祉センター

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
257		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	ボールペン 習字教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	テキストを使用した書筆教室。 実施回数20回 参加延人数378人	市内	高齢者	480	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果にて「満足」が80%以上	B	参加者からのアンケート結果は概ね「満足」であったため。	本庁	100	継続		100	大横保健福祉センター
258		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	やさしい運動 体験「気軽にヨガ」	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	1回終了型のヨガ講座。 実施回数9回 参加延人数147人	市内	高齢者	180	市単独	応募者・参加者の人数	初めて受講する方の増加	B	参加者が僅少の場合を除き初めての受講者のみで実施しており、一定の参加をみているため。	本庁	45	継続		60	大横保健福祉センター
259		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	やさしい運動 体験「はつらつトリム」	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	1回終了型の体操講座。 実施回数11回 参加延人数190人	市内	高齢者	220	市単独	応募者・参加者の人数	初めて受講する方の増加	B	参加者が僅少の場合を除き初めての受講者のみで実施しており、一定の参加をみているため。	本庁	60	継続		60	大横保健福祉センター
260		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	らくらくヨガ教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	軽易なヨガによる運動講座。 実施回数20回 参加延人数280人	市内	高齢者	360	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果にて「満足」が80%以上	B	参加者からのアンケート結果は全て「満足」であったため。	本庁	100	継続		100	大横保健福祉センター
261		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	介護予防講座	介護予防等広く健康づくりに関する知識の普及・啓発をする。	介護予防普及啓発事業として実施 年4回 述べ参加者132人	市内	高齢者	130	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度80%	B	計画通り実施できた。	本庁	60	継続		60	大横保健福祉センター
262		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	若いうちからロコモ予防教室(予算上はバランス運動教室)	身体機能の維持、向上を図るとともに、日常生活の中に体操を取り入れ、要介護に陥ることを防ぐ。教室終了後は自主化を図り、運動習慣を継続していく。	65歳以上で体力の衰えを感じている方を対象に実施 年20回 述べ参加者252人	市内	高齢者	150	市単独	事業の拡大	運動を継続し習慣化するために、参加者による自主サークル活動を立ち上げる。	B	計画通り実施できた。	本庁	240	廃止・終了	教室修了者が地域でロコモ予防活動することに移行	0	大横保健福祉センター
263		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	太極拳教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	軽易な太極拳による運動講座。 実施回数20回 参加延人数282人	市内	高齢者	400	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果にて「満足」が80%以上	C	「満足」の度合いがやや低く、若干ではあるものの目標値に不足したため	本庁	130	継続		130	大横保健福祉センター
264		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	男の料理教室	高齢者の教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	男性高齢者を対象とした料理教室。 実施回数12回 参加延人数206人	市内	高齢者	240	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果にて「満足」が80%以上	B	参加者からのアンケート結果は概ね「満足」であり、今後の自主的活動に前向きな回答も得られたため。	本庁	212	継続		222	大横保健福祉センター
265		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	ゆうゆうシニア講座	健康維持や生きがいを持ち続け、生涯にわたる学習意欲促進を目指す。	52講座実施。延べ1,812名の参加 【参考】27年度44講座を実施。延べ1,610名が参加した。	不特定	高齢者	600	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	B	概ね前年度水準の参加者数であったため。	全市域	1,256	継続		1,168	学習支援課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
266		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	口腔の健康づくり	口腔ケアの正しい知識の普及を図り、高齢者が地域で健やかに生活できることを目指す。	歯科衛生士を派遣し、口腔ケアに関する講座を行う。 実施回数 35回 参加人数 782人	市内	高齢者	700人	委託	実施件数・参加者の人数	実施回数35回	B	実施回数・参加者数ともに、目標を達成しているため。	全市域	797	継続		1,171	高齢者いきいき課 (東京都歯科衛生士会)
267		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	いきいき体操教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	恩方老人憩の家において、高齢者の教養及び生きがいを高めるため、体操教室を複数回にわたって開催した。	市内	高齢者	20	指定管理者	参加者の満足度	施設利用者満足度70%(無回答除く)	B	参加者数は定員に達しており、利用者満足度調査における満足度についても74.7%に達したため。	元八王子	11363(他事業あり)	継続		10500 (他事業あり)	高齢者いきいき課 (八王子市社会福祉協議会)
268		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	健康体操教室	高齢者の健康の増進、生きがいの高揚	恩方老人憩の家において、高齢者の教養及び生きがいを高めるため、健康体操教室を複数回にわたって開催した。	市内	高齢者	20	指定管理者	参加者の満足度	施設利用者満足度70%(無回答除く)	B	参加者数は定員に達しており、利用者満足度調査における満足度についても74.7%に達したため。	元八王子	11363(他事業あり)	継続		10500 (他事業あり)	高齢者いきいき課 (八王子市社会福祉協議会)
269		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	初級ウクレレ教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	恩方老人憩の家において、高齢者の教養及び生きがいを高めるため、ウクレレ教室を複数回にわたって開催した。	市内	高齢者	20	指定管理者	参加者の満足度	施設利用者満足度70%(無回答除く)	B	参加者数は定員に達しており、利用者満足度調査における満足度についても74.7%に達したため。	元八王子	11363(他事業あり)	継続		10500 (他事業あり)	高齢者いきいき課 (八王子市社会福祉協議会)
270		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	将棋入門	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	恩方老人憩の家において、高齢者の教養及び生きがいを高めるため、将棋教室を複数回にわたって開催した。	市内	高齢者	20	指定管理者	参加者の満足度	施設利用者満足度70%(無回答除く)	B	参加者数は定員に達しており、利用者満足度調査における満足度についても74.7%に達したため。	元八王子	11363(他事業あり)	継続		10500 (他事業あり)	高齢者いきいき課 (八王子市社会福祉協議会)
271		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	書道教室	高齢者の教養の向上、生きがいの高揚	恩方老人憩の家において、高齢者の教養及び生きがいを高めるため、書道教室を複数回にわたって開催した。	市内	高齢者	24	指定管理者	参加者の満足度	施設利用者満足度70%(無回答除く)	B	参加者数は定員に達しており、利用者満足度調査における満足度についても74.7%に達したため。	元八王子	11363(他事業あり)	継続		10500 (他事業あり)	高齢者いきいき課 (八王子市社会福祉協議会)
272		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニア元気塾 コーディネーター養成講座	高齢者活動コーディネーターを養成し、高齢者の社会参加促進を図る。	高齢者活動コーディネーターを養成する講座	市内	高齢者	60	委託	応募者・参加者の人数	修了者60人	B	目標人数に達することができなかったが、修了率が90%を超えたため	全市域	3,246(他事業あり)	継続		3,246 (他事業あり)	高齢者いきいき課 (八王子センター元気)
273		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニア元気塾 ボランティア入門講座	ボランティア活動のきっかけをつくり、高齢者の社会参加促進を図る。	高齢者のボランティアや社会参加を促す講座	市内	高齢者	60	委託	応募者・参加者の人数	修了者60人	B	目標人数に達することができなかったが、修了率が80%を超えたため。	全市域	3,246(他事業あり)	継続		3,246 (他事業あり)	高齢者いきいき課 (八王子センター元気)
274		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	さわやか運動教室	高齢者・障害者を対象として、ウォーキングやボールを用いた運動を行う。	20回1,626名	市内	高齢者・障害者	200	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度が100%に近かった。	B	アンケート集計結果による満足度が100%に近かった。	浅川	146	継続		135	東浅川保健福祉センター

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
275		2-⑤	高齢者の生きがいのづくり	ヨガ教室	高齢者がいつまでも元気に自分の足で歩くことができるように健康づくりをする。	20回367名	市内	高齢者	50	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	アンケート集計結果による満足度が100%に近かった。	浅川	100	継続		100	東浅川保健福祉センター
276		2-⑤	高齢者の生きがいのづくり	ロコモ予防講座	高齢者の身体機能を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	4回68名	市内	高齢者	40	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	アンケート集計結果による満足度が100%に近かった。	浅川	24	継続		24	東浅川保健福祉センター
277		2-⑤	高齢者の生きがいのづくり	介護予防講座・講演会	介護予防等広く健康づくりに関する知識の普及・啓発をする。	5回108名	市内	高齢者	250	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	アンケート集計結果による満足度が100%に近かった。	浅川	26	継続		52	東浅川保健福祉センター
278		2-⑤	高齢者の生きがいのづくり	健康体操	高齢者・障害者を対象としてストレッチ体操・リズム体操を中心にを行い、一層の健康づくりを目指す。	20回1,842名	市内	高齢者・障害者	240	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	アンケートの結果、8割程度の満足の回答を得た。	浅川	116	継続		117	東浅川保健福祉センター
279		2-⑤	高齢者の生きがいのづくり	初めてのパソコン教室 (午前・午後)	高齢者・障害者の生きがいと自立の促進	40回351名	市内	高齢者・障害者	40	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	アンケートの結果、8割程度の満足の回答を得た。	浅川	200	継続		200	東浅川保健福祉センター
280		2-⑤	高齢者の生きがいのづくり	水中ウォーキング	高齢者に対して、腰や膝への負担が軽い水中運動によって肩こりや腰痛予防につなげる。	24回451名	市内	高齢者	75	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	C	全3期の応募倍率の平均は2.8倍以上であった。 アンケートの結果、講座内容は7割の満足という回答を得た。	浅川	156	継続		156	東浅川保健福祉センター
281		2-⑤	高齢者の生きがいのづくり	シニアボランティア レクリエーション	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	音楽を媒介としてコミュニケーションを図る。 開催回数 12回 延参加人数 136人	市内	高齢者・障害者	25	共催	参加者の満足度	高齢者の生きがいのづくり	A	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	0	継続		0	南大沢保健福祉センター
282		2-⑤	高齢者の生きがいのづくり	トリム体操教室	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者・身障者の初心者を対象とした教室でトリム体操の初歩を学ぶ。 開催回数 4回 延参加人数 80人	市内	高齢者・障害者	20	市単独	参加者の満足度	高齢者の生きがいのづくり	A	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	20	継続		20	南大沢保健福祉センター

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
283		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	らくらくヨガ	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	高齢者・身障者の初心者を対象とした教室でヨガの初歩を学ぶ。 開催回数 4回 延参加人数 72人	市内	高齢者・障害者	20	市単独	参加者の満足度	高齢者の生きがいづくり	A	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	20	継続		20	南大沢保健福祉センター
284		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	歌って楽しく健康づくり (前期・後記)	音楽療法を通して、一般高齢者の心身の健康を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	開催回数 24回 述べ参加人数 582人	市内	高齢者	50	市単独	参加者の満足度	一般高齢者の心身の健康を高め、介護予防への意識を高める。	A	非常に満足度の高い講座であり、介護予防への意識を高めることができたため。	由木	288	継続		288	南大沢保健福祉センター
285		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	介護予防講座	介護予防に関する知識の普及・啓発を図る。	開催回数 20回 述べ参加人数 509人	市内	高齢者	220	市単独	参加者の満足度	一般高齢者の心身の健康の維持向上と介護予防への意識を高める。	B	実施回数も参加延べ人数も増え、一般高齢者の心身の健康の維持向上に寄与できたため。	由木	59	継続		130	南大沢保健福祉センター
286		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	若さアップ運動教室(前期・中期・後期)	一般高齢者の身体機能を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	開催回数 36回 述べ参加人数 713人	市内	高齢者	75	市単独	参加者の満足度	一般高齢者の心身の健康を高め、介護予防への意識を高める。	B	参加者の満足度が高く、運動をすることの楽しさと介護予防についての意識の向上が図れたため。	由木	231	継続		231	南大沢保健福祉センター
287		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	体力アップ運動教室(前期・中期・後期)	一般高齢者の身体機能を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	開催回数 36回 述べ参加人数 659人	市内	高齢者	75	市単独	参加者の満足度	一般高齢者の心身の健康を高め、介護予防への意識を高める。	B	参加者の満足度が高く、運動をすることの楽しさと介護予防についての意識の向上が図れたため。	由木	391	継続		396	南大沢保健福祉センター
288		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニアボランティア囲碁入門(前期・後期)	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	囲碁の初歩を学び、高齢者・障害者の健康の増進、教養の向上、生きがいの高揚を図る。開催回数24回参加延人数498人	市内	高齢者・障害者	30	共催	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	A	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木		継続		0	南大沢保健福祉センター

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
289		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニアボランティア絵手紙教室(前期・後期)	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	絵手紙の初歩を学び、高齢者・障害者の健康の増進、教養の向上、生きがいの高揚を図る。開催回数20回延参加人数385人	市内	高齢者・障害者	24	共催	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	A	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。新規の受講者でも無理なく上達できることで満足度が高い。	由木		継続		0	南大沢保健福祉センター
290		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	シニアボランティアパソコン初級教室	市民と協働で技能を持つ高齢者をシニアボランティア講師として活用し、高齢者・障害者の教養の向上、生きがいの高揚、交流を促進することにより地域の活性化を図る	ネットショッピングからパソコンを学ぶことで高齢者・障害者の教養の向上を図る。実施回数20回。延参加人数79人	市内	高齢者・障害者	5	共催	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	B	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木		継続		0	南大沢保健福祉センター
291		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	楽しい歌声教室	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	オルガンの伴奏で合唱し、健康の増進、教養の向上、生きがいの高揚を図る。参加者の自主的な運営で実施。開催回数12回延参加人数567人	市内	高齢者・障害者	60	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	A	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	60	継続		60	南大沢保健福祉センター
292		2-⑤	高齢者の生きがいづくり	初めてのパソコン教室	高齢者・障害者の生きがい事業教室として、教養の向上・生きがいの高揚・交流の場の提供	初心者を対象とした教室でパソコンの基本操作を学び、高齢者や障害者の生きがいと自立を促進する。開催回数70回延参加人数274人	市内	高齢者・障害者	5	市単独	参加者の満足度	高齢者・障害者の生きがいづくり	A	参加者の人気が高く、健康の増進と生きがいの高揚に効果があった。	由木	200	継続		400	南大沢保健福祉センター
293		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	国際交流講座	市内在住・在勤・在学の外国人に初級の日本語を学ぶ機会と交流の場を提供する。	生涯学習センター(クリエイトホール)午前コース、夜間コース、生涯学習センター南大沢分館コース合わせて年間76回実施し、延べ899名の参加があった。【参考】27年度年間76回実施。延べ852名が参加した。	市内	外国人	600	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	B	概ね前年度水準の参加者数があったため。	全市域	423	継続		369	学習支援課
294		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	国際理解講座	外国の文化についての理解と知識を深める。	4講座実施。延べ228名の参加。【参考】27年度8講座実施。延べ426名が参加した。	不特定	どなたでも	500	市単独	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	C	事業数、参加者数ともに減少したため。	全市域	63	継続		70	学習支援課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
295		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ことばの教室	基本的言語発声を軌道に載せる助けとなる機能訓練	回数:27回 利用者:381名 (前年度比135.6%)	市内	障害者	260	指定管理者	訓練の実施回数	前年度と同等の回数	B	実施回数27回(前年度26回) 対象児のみならず、家族の精神的なサポートも担っている事業である。	本庁	450	継続		450	障害者福祉課
296		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ハーモニーのタベ	市民と障害者の「ふれあいの場」として行い、障害者福祉に対する理解を深めると共に、正しい発声と唱歌の技術を身につけ、日本の四季を折り込んだ心に沁みる歌をうたうことで、生活の一部として豊かな音楽性を学ぶ。	回数:34回 延参加者:485名 (前年度比95.1%)	市内	障害者	500	指定管理者	応募者・参加者の人数	550	B	延参加者485名(前年度510名) 障害の有無に囚われず、歌を通して、コミュニケーションを図ることができた。	本庁	264	継続		264	障害者福祉課
297		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	パソコン学習会	障害者の情報収集手段としてITの有効活用が望まれており、これにより障害者の情報不足が改善されるものと考えられる。障害者の生活の質の向上、就労支援を目指す	回数:36回 延参加者:1,132名 (前年度比98.3%)	市内	障害者	1000	指定管理者	応募者・参加者の人数	1150	B	延参加者1,132名(前年度1,152名) タブレット端末の相談・支援が増加したことで、タブレット端末の台数を増やした。	本庁	630	継続		630	障害者福祉課
298		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	プール開放	プールを一日開放し、盛夏のひとときを楽しく過ごし、心身障害者(児)およびその介助者等の交流を深める。	回数:1回 参加者:145名 (前年度比82.9%)	市内	障害者	200	市単独	応募者・参加者の人数	240	B	盛夏のひとときを楽しむ場として、陵南プールを一日開放し、障害者と介助者との交流の機会を提供した。	浅川	7	継続		10	障害者福祉課
299		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	フラワーアレンジメント教室	フラワーアレンジメントを通じて、生活に潤いと明るさをもたせる。	回数:11回 延参加者:192回 (前年度比118.5%)	市内	障害者	180	指定管理者	応募者・参加者の人数	200	B	延参加者192名(前年度162名) 参加希望者が多く、講師との調整のもと、上限に近い受講生の受入に努めた。	本庁	165	継続		143	障害者福祉課
300		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ふれあいコンサート	「障害者週間」のイベントとして、障害者の音楽愛好家の発表の場として、また一般からの参加も促し、広く交流することで障害者福祉の啓発を図る	回数:1回 参加者:110名 (前年度比91.7%)	不特定	障害者	100	指定管理者	応募者・参加者の人数	120	B	参加者110名(前回120名) 音楽愛好家の障害者、福祉施設利用者、健常者等が出演し、音楽を通して交流を図った。	本庁	32	継続		35	障害者福祉課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
301		2-⑥	共生社会の実現・共生社会の参画の実現	リリアン編み教室	手製の道具を使ってリリアンを編み、小物を制作し、手先の細かい動作訓練を行う。	回数:11回 延参加者:66名 (前年度比97.1%)	市内	障害者	80	指定管理者	応募者・参加者の人数	120	B	延参加者66名(前年度68名) 障害の有無に関係なく、作品作りを通して、豊かなコミュニケーションを図ることができた。	本庁	0	継続		0	障害者福祉課
302		2-⑥	共生社会の実現・共生社会の参画の実現	囲碁教室	囲碁という知的ゲームを通し、知的操作力を維持、向上させる。加えて孤独になりがちな障害者に交流の場を提供し、社会性の向上に寄与する。	回数:20回 延参加者:203名 (前年度比89.4%)	市内	障害者	240	指定管理者	応募者・参加者の人数	260	B	延参加者203名(前回227名) 碁を通じた交流機会の提供により、豊かなコミュニケーションを図ることができた。	本庁	60	継続		72	障害者福祉課
303		2-⑥	共生社会の実現・共生社会の参画の実現	華道教室	華道を通じて、日本文化や四季の変化を楽しむとともに、色彩感覚や表現力を養う。	回数:0回 参加者:0名 募集定員に達しなかったため実施せず。	市内	障害者	60	指定管理者	応募者・参加者の人数	70	D	参加者0名(前年度8名) 受講生が定員に達せず、今年度は中止とした。応募者が少ないため、講師と相談し、事業を見直すこととした。	本庁	0	廃止・終了	応募者少数のため。		障害者福祉課
304		2-⑥	共生社会の実現・共生社会の参画の実現	機能回復訓練	身体障害者の四肢体幹機能の回復・維持を専門的に指導訓練する。	回数:88回 延参加者:654名 (前年度比85.7%)	市内	障害者	864	指定管理者	訓練の実施回数	前年度と同等の回数	B	実施回数88回(前年度89回) 理学療法士を3名の交代勤務制としたことで、多様な訓練方法を取り入れ、利用者に提供できた。	本庁	2,482	継続		2,774	障害者福祉課
305		2-⑥	共生社会の実現・共生社会の参画の実現	見えにくくなった方の学習会	途中で視覚に障害を負った方を主な対象として、点字の学習、歩行訓練、ADL訓練を行い、日常生活の向上を図る	回数:28回 延参加者:400名 (前年度比91.5%)	市内	障害者	300	指定管理者	応募者・参加者の人数	400	B	延参加者400名(前年度437名) 講師の手配に苦慮しつつも、継続的に点字の学習を希望する受講生の声に応えた。	本庁	276	継続		365	障害者福祉課
306		2-⑥	共生社会の実現・共生社会の参画の実現	子ども点字・手話教室	点字・手話だけではなく、福祉全般の啓発をし、子どものうちから偏見のない心を育てる	回数:10回 延参加者:335名 (前年度比105.7%)	市内	子ども	420	指定管理者	応募者・参加者の人数	480	B	延参加者335名(前年度317名) 福祉の啓発を目的に外部講師を招いての特別講演会を2回実施した。	本庁	172	継続		208	障害者福祉課
307		2-⑥	共生社会の実現・共生社会の参画の実現	七宝焼教室	豊かな色彩感覚と指先の細かい動作を通して、手先を訓練するとともに豊かな生活を築く	回数:23回 延参加者:153名 (前年度比112.5%)	市内	障害者	300	指定管理者	応募者・参加者の人数	400	B	延参加者153名(前年度136名) 機能回復を意識した指先の細かい作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	本庁	0	継続		72	障害者福祉課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
308		2-⑥	共同参画・共生 の実現	失語症言語 リハビリ教室	言語機能の障害を受けた人に対して機能回復と維持を指導訓練する。	回数:61回 延参加者:503名 (前年度比82.1%)	市内	障害者	680	指定管理者	訓練の実施回数	前年度と同等の回数	B	実施回数61回(前年度62回) グループリハビリを毎月実施。当事者のみならず、家族支援も行った。	本庁	1,839	継続		1,806	障害者福祉課
309		2-⑥	共同参画・共生社会 の実現	手話通訳者養成講座	手話通訳者統一試験合格を目指す方のための講座	回数:30回 延参加者:345名 登録者:10名 修了者:10名 (修了率100%)	市内	手話通訳者養成講座入門修了者であり、選考試験に合格した者	320	指定管理者	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	8	B	修了者10名(前年度11名) 修了者のうち2名が手話通訳者全国統一試験に合格した。	本庁	285	継続		285	障害者福祉課
310		2-⑥	共同参画・共生社会 の実現	書道教室	かな書道の基礎を着実に学習し、更に創造性と表現力を会得することで心豊かな生活を築けるよう書の心と技を学ぶ。	回数:11回 延参加者:150名 (前年度比102%)	市内	障害者	120	指定管理者	応募者・参加者の人数	160	B	延参加者150名(前年度147名) 参加者の障害は様々であるが、講師と調整し、本人の障害特性、レベルに合わせた事業実施に努めた。	本庁	71	継続		78	障害者福祉課
311		2-⑥	共同参画・共生社会 の実現	障害者作業所等作品展示即売会	市内作業所等の作品を展示・紹介をしながら福祉作業所等について理解を深めてもらう。また、購入希望者には頒布する	回数:1回 出展施設:26団体 (前年度比104%) 売上:361,825円 (前年度比111.5%)	不特定	どなたでも	120	指定管理者	出展する施設数 (平成27年度25団体)	27	B	出展施設26団体(前年度25団体) 開催が毎年楽しみという、市民が多数いる。出店施設の作品も多様である。	本庁	1	継続		0	障害者福祉課
312		2-⑥	共同参画・共生社会 の実現	障害者文化展	障害当事者に対し作品発表の機会を提供すると共に、広く障害者福祉の啓発につなげる。また賞を贈り、今後の創作を奨励する	出展作品:172点 (前年度比91.0%) 来場者:589名 (前年度比90.2%)	市内	障害者	620	指定管理者	出展作品数 (平成27年度189点)	200	B	出展作品172点(前年度189点) 新たな試みとして、選考委員に八王子市夢美術館の館長を加えた。出展作品は学園都市センターにて5日間展示し、589名が来場した。	本庁	119	継続		125	障害者福祉課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
313		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	障害別パソコン講習会	障害者の情報収集手段としてITの有効活用が望まれており、これにより障害者の情報不足が改善されるものと考えられる。障害者の生活の質の向上、就労支援を目指す 視覚、上肢、知的、精神、聴覚、中途失聴・難聴の各障害に対応	回数:36回 延参加者:522名 (前年度比103.4%)	市内	障害者	540	指定管理者	応募者・参加者の人数	580	B	延参加者522名(前年度505名) 参加者からのニーズに応えるために、講師を務める情報ボランティアの会と協力し、タブレット端末を導入した。	本庁	974	継続		1,167	障害者福祉課
314		2-⑥	共同参画・実現・共生社会の	精神障害者の絵画教室	絵画制作を通じて、自然な形で話し合ったり、行動を共にすることで孤独がちであった人が再び元の生活へと自信を取り戻していくための支援をしていく	回数:21回 延参加者:123名 (前年度比93.9%)	市内	障害者	100	指定管理者	応募者・参加者の人数	120	B	延参加者123名(前年度131名)「障害者文化展」に作品を出展するなど、参加者は意欲的である。他者との関わりが少ない精神障害者にコミュニケーションの場を提供できた。	本庁	136	継続		156	障害者福祉課
315		2-⑥	共同参画の実現・共生	折り紙教室	指先の細かな動作を必要とするため、目と手の供応動作の訓練になると共に、つくりあげる楽しさを味わう。	回数:11回 延参加者:128名 (前年度比84.2%)	市内	障害者	140	指定管理者	応募者・参加者の人数	160	B	延参加者128名(前年度152名) 機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	本庁	0	継続		0	障害者福祉課
316		2-⑥	共同参画の実現・共生社	染め紙教室	指先の細かな動作を必要とするため、手先の良い訓練になると共に、偶然にできる模様の面白さ、色彩の組み合わせを楽しむ。	回数:12回 延参加者:66名 (前年度比80.5%)	市内	障害者	80	指定管理者	応募者・参加者の人数	150	B	延参加者66名(前年度82名) 機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	本庁	0	継続		0	障害者福祉課
317		2-⑥	共同参画の実現・共生社	茶道教室	日本の伝統文化にふれながら、礼儀作法や日常のマナーを身につけて、生活にゆとりと豊かさをもてるように茶の精神と技を学ぶ。	回数:19名 延参加者:199名 (前年度比113.1%)	市内	障害者	200	指定管理者	応募者・参加者の人数	220	B	延参加者199名(前回176名) 肢体の不自由な障害者も参加できるよう、座ってお茶を点てられる、「立礼棚」を購入した。	本庁	100	継続		120	障害者福祉課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
318		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	中途失聴・難聴者のための手話講習会(①入門・②中級・③上級)	途中で失聴した人や難聴者がコミュニケーションの一手段として手話を習得し生活の中で生かしていく	初級 回数:20回 延参加者:233名 (前年度比70.2%) 中級 回数:20回 延参加者375名 (前年度比79.4%) 上級 回数:20回 延参加者:319名 (前年度比98.8%)	市内	障害者	①②300 ③270	指定管理者	応募者・参加者の人数	各350	B	延参加者(初級～上級)927名(前年度1,127名) 講師と調整し、手話によるコミュニケーション方法の習得に加え、生活上の不安や悩みについても相談できる環境整備に努めた。	本庁	862	継続		868	障害者福祉課
319		2-⑥	共同参画の実・共生社会の実現	聴障者のつどい	聴覚障害者の交流と情報交換の場として開催し、併せて教養の向上を図る	回数:4回 延参加者:248名 (前年度比110.7%)	市内	障害者	240	指定管理者	応募者・参加者の人数	前年度と同等の回数	B	延参加者248名(前年度224名) 年4回講師を招き、時事的な話題をテーマとしたし講演と交流会を開催し、聴覚障害者の交流と教養の向上を図った。	本庁	152	継続		152	障害者福祉課
320		2-⑥	共同参画の実・共生社会の実現	陶芸教室	てびねりによる和陶芸を行うことで、手先の巧緻性を養うと共に土の感触を通して、情緒の安定を図る。また、色付けや絵付けを通して創造の喜びを味わう。	回数:24回 延参加者:310名 (前年度比88.8%)	市内	障害者	300	指定管理者	応募者・参加者の人数	330	B	延参加者310名(前年度349名) 機能回復を意識した指先の細かな作業と作品作りを通じたコミュニケーションを提供できた。	本庁	156	継続		175	障害者福祉課
321		2-⑥	共同参画の実・共生社会の実現	読話学習会	中途失聴・難聴者の社会参加促進に寄与する	回数:0回 参加者:0名 講師逝去に伴い、講座を終了とした。	市内	成人	100	指定管理者	応募者・参加者の人数	150	D	参加者0名(前年度122名) 講師逝去に伴い、代替となる講師を確保できなかったため実施せず。	本庁	0	廃止・終了	講師が確保できないため。	0	障害者福祉課
322		2-⑥	共同参画の実・共生社会の実現	福祉講演会	講演会や映画上映会などを通して、障害者の福祉に貢献をしている方々を講演者として招き、障害者福祉の向上に寄与する	回数:1回 参加者:54名 (前年度比96.4%)	市内	どなたでも	40	指定管理者	応募者・参加者の人数	75	B	参加者54名(前年度56名) 盲ろう者の日常を記録した韓国映画の上映を行い、障害者福祉の啓発に努めた。	本庁	66	継続		48	障害者福祉課
323		2-⑥	共同参画の実・共生社会の実現	面づくり教室	手先の巧緻性を養いながら、面をつくる楽しさにふれる。	回数:0回 参加者:0名 講師の病気等に伴い、実施せず。	市内	障害者	70	指定管理者	応募者・参加者の人数	115	D	参加者0名(前年度0名) 講師の病気等に伴い、指導者を確保できないため終了とした。	本庁	0	廃止・終了	講師が確保できないため。	0	障害者福祉課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
324		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	夕涼み会	すぎな愛育園と共催で実施、それぞれの施設の事業と障害者福祉に果たす役割を地域に伝え、障害児・者を交えて交流を図る	回数:1回 参加者:420名 (前年度比132.1%)	不特定	どなたでも	400	指定管理者	応募者・参加者の人数	460	B	参加者420名(前年度318名) 各種講座の作品展示や、茶道教室受講生による茶席の設置など、施設の紹介と市民交流を図った。	本庁	27	継続		40	障害者福祉課
325		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	籐手芸教室	バスケット等を籐や蔦を曲げ、編んで作ることによって手先の動作訓練を行うと共に自然を利用して生活に活かした先人の知恵と技術を受け継ぐことで障害者の豊かな生活の質の向上に資する	回数:0回 参加者:0名 講師の病気等に伴い、実施せず。	市内	障害者	30	指定管理者	応募者・参加者の人数	60	D	参加者0名(前年度32名) 講師の病気等に伴い、指導者を確保できないため終了とした。	本庁	0	廃止・終了	講師が確保できないため。	0	障害者福祉課
326		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ふれあい運動会	障害者と市民との交流を通して、障害に関する理解を促進する。	回数:1回 参加者:1,682名 (前年度比110.4%)	市内	障害者	1600	実行委員会	応募者・参加者の人数	1700	B	参加者1,682名(前回1,523名) 競技や応援を通じて、障害者と市民との交流、障害理解の促進を図った。障害者スポーツの普及のため、「ボッチャ」の体験コーナーを設置した。	本庁	1,885	継続		2,000	障害者福祉課 (ふれあい運動会実行委員会)
327		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	外国人のための防災訓練(立川防災館)	地震などの災害に不慣れな外国人に防災訓練を体験し、災害への対応を身につけていただく。	留学生を中心とした外国人市民が、立川防災館で地震体験、応急救護訓練などを行った。実施日:2/8 参加者:7名	市内	外国人	23人	市単独	応募者・参加者の人数	参加者数23人	B	参加者数が目標を大幅に下回ったため。	市外	1	継続		1	多文化共生推進課
328		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	外国人のための企業めぐり	本市での就労を希望する外国人留学生に、市内の企業や施設を見学いただき、理解を深めてもらう。	八王子市内及び日本国内での就労を希望する外国人留学生が日本での就労について理解を深めるため、セミナー及び市内企業の見学を実施した。実施日(参加人数):セミナー11/26(24人)、企業めぐり12/7(16人)	市内	外国人留学生	23	補助	応募者・参加者の人数	参加者数23名	B	参加者数が目標を下回ったため。		51	継続		59	多文化共生推進課 (八王子国際協会)
329		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	トリム体操	障害者の生きがいと自立を促進する。	24回2,024名	市内	障害者	70	市単独	参加者の満足度	継続して利用したい団体の割合80%	A	平均参加人数は80名以上であり、継続した利用も多かった。	浅川	180	継続		156	東浅川保健福祉センター
330		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	障害者教室	障害者の生きがいと社会参加を促進する。	24回153名	市内	障害者	15	市単独	応募者・参加者の人数	継続出席率50%維持	C	対象者の体調不良があり、継続出席率は45%であった。	浅川	163	継続		174	東浅川保健福祉センター

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
331		2-⑥	共同参画実・共生	「チャレンジ 企画」支援事業	男女共同参画社会 の実現に向けて、男女 がともに考え自立 を目指すための講座	<参加者数> ①【昔遊び】5組11名 (満足度100%) ②【おとなだって絵本】18名 (満足度100%) ⇒【満足度平均100%】	市内	成人	48	共催	協働事業 の推進	市民団体が主体となり、市民 に男女共同参画について啓 発する	A	参加者の満足度が 100%であるため。	本庁	22	継続		34	男女共同 参画課
332		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	DVの啓発	男女共同参画社会 の実現に向けて、男女 がともに考え自立 を目指すための講座	<参加者数・満足度> ・【デートDV防止講座(中央 大学)】128名 (満足度97%) ・【DV出前講座(看護学校)】 40名 (満足度81.60%) ・【教職員向けデートDV防 止講座】95名 (満足度85.30%) ・【デートDV出前講座(東 高)】40名 (満足度100%) ・【デートDV出前講座(桑志 高)】206名 (満足度98.54%) ⇒【満足度平均92.49%】	市内	学生 教職員	260	市単独	参加者の 満足度	市民に男女共同参 画及びDVについて 啓発する	A	参加者の満足度が 概ね90%以上である ため。	本庁	27	継続		65	男女共同 参画課
333		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	健康・メディア	男女共同参画社会 の実現に向けて、男女 がともに考え自立 を目指すための講座	<延べ参加者数・満足度> ・【フレッシュアップ】50名 (満足度92.3%) ・【月経のお話①】19組40名 (満足度94.7%) ・【月経のお話②】20組42名 (満足度94.7%) ・【思春期男子】28名 (満足度96.4%) ・【メディアリテラシー】31名 (満足度65.4%) ⇒【満足度平均88.7%】	市内	どなた でも	222	市単独	参加者の 満足度	市民に男女共同参 画について啓発する	B	参加者の満足度が 概ね80%以上である ため。	本庁	119	継続		120	男女共同 参画課
334		2-⑥	共同参画実・共生	市民団体による講座	男女共同参画社会 の実現に向けて、男女 がともに考え自立 を目指すための講座	男女共同参画センター登録 団体による公開講座	市内	どなた でも	120	共催	協働事業 の推進	市民団体が主体となり、市民 に男女共同参画について啓 発する	D	男女共同参画セン ター登録団体による 公開講座を募集した が、応募がなかったため。	本庁	0	継続		48	男女共同 参画課
335		2-⑥	共同参画実・共生社会	就労支援	男女共同参画社会 の実現に向けて、男女 がともに考え自立 を目指すための講座	<延べ参加者数・満足度> ・【ビジネス基礎講座】63名 (満足度100%) ・【ひとり起業】77名 (満足度100%) ・【Web活用講座】87名 (満足度100%) ⇒【満足度平均100%】	市内	成人	330	市単独	参加者の 満足度	市民に男女共同参 画について啓発する	A	参加者の満足度が 100%であるため。	本庁	235	継続		336	男女共同 参画課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
336		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	男女共同参画の啓発	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	<延べ参加者数・満足度> ・【私の気持ち】58名 (満足度100%) ・【防災講座】37名 (満足度88.60%) ・【LGBT】21名 (満足度100%) ・【男女共同参画入門出前講座(創価大)】106名 (満足度95.3%) ⇒【満足度平均95.98%】	市内	どなたでも	320	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する	A	参加者の満足度が概ね90%以上であるため。	本庁	138	継続		183	男女共同参画課
337		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	ワーク・ライフ・バランスの啓発	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講座	<延べ参加者数・満足度> ・【ベビーマッサージ】10組29名 (満足度100%) ・【ベビーダンス】9組28名 (満足度100%) ・【男の腕まくり】87名 (満足度93.8%) ・【父子料理】19組38名 (満足度100%) ・【男性の介護教室】20名 (満足度95%) ・【新米パパ】27人 (満足度100%) ⇒【満足度平均98.13%】	市内	成人	270	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画及びワーク・ライフ・バランスについて啓発する	A	参加者の満足度が概ね90%以上であるため。	本庁	92	継続		150	男女共同参画課
338		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	女性に対する暴力をなくす運動期間講演会	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講演会	【カウンセラーが見てきた家族の暴力の話】 <延べ参加者数・満足度> 75名(満足度95.6%)	市内	どなたでも	60	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画及びDVについて啓発する	A	参加者の満足度が概ね90%以上であるため。	本庁	58	継続		35	男女共同参画課
339		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	男女共同参画週間記念映画会	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための映画会	男女共同参画を啓発するための映画会を実施した。 (共催) <延べ参加者数・満足度> 【看護婦のオヤジがんばる】18名 (満足度100%)	市内	どなたでも	120	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する	A	参加者の満足度が100%であるため。	本庁	0	継続		0	男女共同参画課
340		2-⑥	共同参画・共生社会の実現	男女共同参画週間記念講演会	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すための講演会	「女性活躍推進法」の流れを受け、女性の活躍について講演。 <参加者数・満足度> 133名(満足度94.8%)	市内	どなたでも	200	市単独	参加者の満足度	市民に男女共同参画について啓発する	A	参加者の満足度が概ね90%以上であるため。	北野	58	継続		47	男女共同参画課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
341		2-⑥	共同参画の実・共生社会の現	第26回女と男のいきいきフォーラム八王子	男女共同参画社会の実現に向けて、男女がともに考え自立を目指すためのフォーラム	第26回「女と男のいきいきフォーラム八王子」を平成29年2月25日に開催。 講演会参加者 130名 分科会参加者 32名 団体企画参加者 94名 計 256名	市内	どなたでも	300	実行委員会	協働事業の推進	市民に男女共同参画について啓発する	B	市民とともにフォーラムを開催し、広く市民に男女共同参画について啓発することができたため。	本庁	247	継続		299	男女共同参画課 (女と男のいきいきフォーラム八王子実行委員会)
342		2-⑥	社会参画の実・共生社会の現	ぶるーむ(身体障害者運動教室)	運動を通して仲間づくりとコミュニケーションを図り、障害者の生きがいと自立支援を促進する。	開催回数 32回 述べ参加人数 238人	市内	障害者	15	市単独	参加者の満足度	障害を持つ方々の地域参加と自立支援を促す。	B	長年参加している方が、メニューに慣れが生じ、改善を望む声があったため。	由木	105	継続		175	南大沢保健福祉センター
343		2-⑥	社会参画の実・共生社会の現	ぶんぶん(知的障害児教室)	運動・工作・音楽療法などを通して仲間作りとコミュニケーションを図り、障害者の生きがいと自立を促進する。	開催回数 36回 述べ参加人数 387人	市内	親子・保護者	35	市単独	参加者の満足度	障害を持つ子と保護者の地域参加と自立支援を促す。	B	子どもとの遊び方を知り、子のせいじょうや伸びを見ることが出来る場となっており、満足度が高いため。	由木	186	継続		204	南大沢保健福祉センター
344		2-⑥	社会参画の実・共生社会の現	リズム(知的障害者教室)	音楽療法を通して仲間づくりとコミュニケーションを図り、知的障害者・児の生きがいと自立支援を促進する。	開催回数 11回 述べ参加人数 108人	市内	障害者	15	市単独	参加者の満足度	障害を持つ方々の地域参加と自立支援を促す。	B	新規のメンバーも加わり、一年をかけて、センターまつりでの舞台発表を行うなど意欲的であり、満足度が高いため。	由木	91	継続		94	南大沢保健福祉センター
345		2-⑥	社会参画の実・共生社会の現	図画工作(知的障害者・児教室)	絵画・工作を通して仲間づくりとコミュニケーションを図り、知的障害者・児の生きがいと自立支援を促進する。	開催回数 11回 述べ参加人数 183人	市内	障害者	20	市単独	参加者の満足度	障害を持つ方々の地域参加と自立支援を促す。	B	センターまつりと作品展において、作品を展示し、意欲的に活動され、満足度が高かったため。	由木	94	継続		94	南大沢保健福祉センター
346		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	健康づくりサポーター養成講座	健康づくり活動を支援する地域の人材を育成する。(スキルアップ)	運動指導や歌に合わせた体操等 年6回 延88人	市内	健康づくり及び介護予防運動ボランティア養成講座修了者	90	市単独	協働事業の推進	地域での活動の場の拡大	B	フォローのための受け入れ窓口を広げ、育成。そのことにより、回数も参加人数も増加。地域での活動の場も拡大したため。	本庁	73	継続		283	【大横】大横・東浅川・南大沢保健福祉センター
347		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	健康づくりサポーター養成講座	広く健康に関する知識を持つ健康づくりサポーターを養成する。	体操、理学療法士による講話、体力測定の実技等 年4回 延 53人	市内	どなたでも	15	共催	協働事業の推進	ボランティアの地域での活動の場の拡大	B	健康政策課、大横・東浅川・南大沢保健福祉センターと協働で養成講座を実施。地域での活動の場が拡大しているため。	本庁	0	継続		10	【大横】大横・東浅川・南大沢保健福祉センター

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
348		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	健康づくりサポーター養成講座	健康づくり活動を支援する地域の人材を育成する。(スキルアップ)	運動指導等 18回170名	市内	健康づくり及び介護予防運動ボランティア養成講座修了者	90	市単独	協働事業の推進	地域での活動の場の拡大	B	フォローのための受け入れ窓口を広げ、育成。そのことにより、回数も参加人数も増加。地域での活動の場も拡大したため。	本庁	28	継続		28	【東浅川】大横・東浅川・南大沢保健福祉センター
349		3-①	活躍材の場の提供	健康づくりサポーター養成講座	広く健康に関する知識を持つ健康づくりサポーターを養成する。	体操、レクリエーションの実技等 年4回 延40人	市内	どなたでも	15	共催	協働事業の推進	ボランティアの地域での活動の場の拡大	B	健康政策課、大横・東浅川・南大沢保健福祉センターと協働で養成講座を実施。地域での活動の場が拡大しているため。	本庁	126	継続		10	【東浅川】大横・東浅川・南大沢保健福祉センター
350		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	健康づくりサポーター養成講座	健康づくり活動を支援する地域の人材を育成する。(スキルアップ)	音楽療法、整体、体操の講話。 開催回数 3回 延べ人数 83人	市内	健康づくり及び介護予防運動ボランティア養成講座修了者	90	市単独	協働事業の推進	地域での活動の場の拡大	B	フォローのための受け入れ窓口を広げ、育成。そのことにより、回数も参加人数も増加。地域での活動の場も拡大したため。	本庁	26	継続		29	【南大沢】大横・東浅川・南大沢保健福祉センター
351		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	健康づくりサポーター養成講座	広く健康に関する知識を持つ健康づくりサポーターを養成する。	体操、理学療法士の講話、体力測定の実技等 開催回数4回 延べ人数44名	市内	どなたでも	15	共催	協働事業の推進	ボランティアの地域での活動の場の拡大	B	健康政策課、大横・東浅川・南大沢保健福祉センターと協働で養成講座を実施。地域での活動の場が拡大しているため。	本庁	29	継続		44	【南大沢】大横・東浅川・南大沢保健福祉センター
352		3-①	活躍材の場の提供	初級手話講習会(昼間)	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進。	初級の手話講習会の実施。 34回1496名	市内	どなたでも	1700	市単独	応募者・参加者の人数	定員を超える応募と修了証交付者の増加	B	定数を超える応募があり、かつ参加者の8割以上に修了証を交付できたため	本庁	537	継続		537	大横保健福祉センター
353		3-①	活躍材の場の提供	はちおうじ志民塾	これから定年される方や定年を迎えた方を対象に、退職後地域で活動するきっかけづくりとする。	平成28年度受講者数 18名	市内	成人	25	委託	応募者・参加者の人数	25人	C	目標数値を下回ったため。	本庁	4,004	継続		3,941	協働推進課
354		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民活動スキルアップ講座	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	実施日:6月25日 応募人数:49名 参加人数:45名 テーマ:プロに聞く工法のコツ「実践編」チラシを見る側に立って考えよう	不特定	どなたでも	50	委託	応募者・参加者の人数	50人	B	応募人数はほぼ目標どおりだった。また、市民活動団体のニーズに合った内容で実践的な講座で、アンケート結果も満足度が高かったため。	本庁	指定管理 用の中で 実施	継続		指定管理 料の中で 実施	協働推進 課 (市民活動支援センター)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択した場合はその理由を記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
355		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民活動支援講座	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	子どもの居場所づくりに取り組んでいる市民活動団体の交流会を実施。 実施日:9月18日 参加者:8団体21名	市内	どなたでも	未定	委託	その他	レベルアップを図る	B	市民活動団体間の交流を図り、連携につなげるための場となったため。	本庁	指定管理 用の中で 実施	継続		指定管理 料の中で 実施	協働推進課 (市民活動支援センター)
356		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民活動入門講座 (アクティブ市民塾)	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	市内の市民活動団体を市民に紹介する講座を実施。 年6回実施 応募人数:延べ247名 参加人数:延べ171名	市内	どなたでも	180	委託	応募者・参加者の人数	180人	B	応募人数は目標値を超え、ほぼ目標通りの参加があったため。また、各活動分野における市民活動を、活動の現場や体験を通じて理解してもらうことができたため。	本庁 浅川由木	指定管理 用の中で 実施	継続		指定管理 料の中で 実施	協働推進課 (市民活動支援センター)
357		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	お父さんお帰りのパーティー	主にシニア世代を対象に、市民活動に関する講演や団体の紹介を行うなど、地域での活動に参加するきっかけづくりとする。	お父さんお帰りのパーティーへの参加者数 27年度2回開催延468名 28年度2回開催延465名	市内	どなたでも	500	実行委員会	応募者・参加者の人数	500人	C	目標数値を下回ったため。	本庁及び東部	200	継続		200	協働推進課 (八王子市民活動協議会、市民活動団体等)
358		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	各地域住民協議会運営助成	センターまつり等を通じ、コミュニティ活動の育成・活性化を目指す。	市民センターまつりの実施 (参加者数) 27年度85,049人 28年度92,142人	市内	どなたでも	-	補助	応募者・参加者の人数	17協議会 90,000人	A	参加者数が前年度比で増加しており、地域住民の交流を図る場となってきたため。	全市域	14,833	継続		14,794	協働推進課 (各地域住民協議会)
359		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	コミュニティ講座	地域住民の交流の場づくり、地域コミュニティの育成を図る。	講座の実施 27年度12回延べ145名 28年度17回延べ295名	市内	成人	100	補助	応募者・参加者の人数	27年度より1講座当たりの参加人数を増やす。	B	前年度に比べ、1講座あたりの参加人数も少しずつ増えてきていることから。	全市域	215	継続		215	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団)
360		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	健康づくりサポーター養成講座	市民の健康増進や生活の質の向上に向け、支え合いの地域づくり体制の構築を図り、地域で健康づくり活動を推進する。	健康づくりサポーターが地域においてさまざまな活動を行うことにより、市民が生涯を心豊かにいきいきと生きがいをもって暮らせるよう健康づくりサポーターを養成する。	市内	成人	40人	共催	事業の拡大	現在32名を70名に増 活動地区を20%増	B	平成28年度は第2期生の健康づくりサポーターを養成した。募集した30名を超えた応募があり、結果的に33名の健康づくりサポーターを養成することができたため。	本庁	456	継続		785	健康政策課
361		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	たいけん里山しごと	幅広い世代を対象に里山の管理体験を経験してもらい、みどりの保全管理技術の習得を目指す。	・「低木の豊かな森づくり」 ・「ヤマユリの斜面を整える」 ・「水辺の名花復活」 ・「夏剪定」 ・「低木抜き取り」 ・「タマノカンアオイを守る」 ・「山野を掃く」 ・「埋土種子」 以上のテーマで年間講座として8回開催。参加者計37名	市内	成人	144	指定管理者	協働事業の推進	里山が抱える問題意識を共有する市民を一人でも多く育てること	C	参加者の方の満足度は高かったが、広報が足りなかったため参加者が少なかった。	由木	6	継続		24	公園課 (フュージョン長池公園)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
362		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	交通八王子 安全市民の集い	全国交通安全運動の一環として開催し、交通安全思想の高揚を図るとともに、交通事故防止を図る。	秋の全国交通安全運動前の9月10日に、いちようホールで市民の集いを開催。警察、交通安全協会と連携し交通安全教室等を実施し、交通安全意識の高揚を図った。	市内	どなたでも	1400	共催	協働事業の推進	前年度以上の参加者とする。	B	警察署や交通安全協会と連携し、交通安全市民の集いを開催し、歩行シミュレータを利用した参加体験型の交通安全教室等により、交通安全意識を高めることができた。	本庁	141	継続		142	交通事業課
363		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	訪問介護員 資質向上研修	訪問介護員2級の資格取得者のうち、市内事業所で働く訪問介護員及び未就労者を対象にした資質向上研修を行い、人材の育成と確保を図る。	介護職員向けにスキルアップ研修を全6回、未就労者向けに介護の仕事内容を紹介する講座を全1回開催した。	市内	成人	定員30名／回	委託	応募者・参加者の人数	延144名	B	参加者数が延161名に達し、目標値を達成したため。	本庁	381	継続		392	高齢者いきいき課 (八王子介護保険サービス事業者連絡協議会)
364		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	生涯学習 コーディネーター養成講座	市民の生涯学習活動を支援する人材を養成する。	全3回の講座を実施。24名の募集定員に対し、24名の応募、21名の受講があり、21名が修了証の交付を受けた。	不特定	どなたでも	24人	共催	参加者の満足度	受講者が満足する講座を提供し、また生涯学習活動支援への意欲を高める。	B	全3回土曜日開催としたこともあり、例年と比べ受講者が多く、全体的に満足度の高い講座となった。	本庁	82	継続		82	生涯学習政策課
365		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	音訳講習会 (初級・中級)	視覚障害者が利用する録音図書や対面朗読で対応できる朗読ボランティアの養成 (初級と中級を隔年で実施)	※平成28年度は初級を実施 回数:13回 延参加者:214名 登録者:14名 修了者:14名 (修了率100%)	市内	成人	240	指定管理者	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	27	B	修了者14名(初級)市内の音訳サークルの協力のもと、講習会を実施した。	本庁	97	継続		120	障害者福祉課
366		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	手話通訳者 養成講座入門(昼の部・夜の部)	手話通訳者を目指すボランティア養成	昼の部 回数:34回 延参加者:718名 登録者:21名 修了者:19名 (修了率90.5%) 夜の部 回数:34回 延参加者:630名 登録者:26名 修了者:15名 (修了率57.7%)	市内	成人	1100	指定管理者	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	45	B	修了者34名(前年度37名) 手話通訳者を目指す、多くの受講生が参加し、手話によるコミュニケーションを学んだ。	本庁	652	継続		666	障害者福祉課
367		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	中級手話講習会(夜の部)	ボランティア養成	回数:34回 延参加者:1,015名 登録者:36名 修了者:26名 (修了率72.2%)	市内	成人	920	指定管理者	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	36	B	修了者26名(前年度26名) 地域の手話ボランティアを増やすため実施した。	本庁	503	継続		503	障害者福祉課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
368		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	点字講習会 (①入門・②中級)	視覚障害者への理解を深め、視覚障害者のための点字本等の製作の要望に応えられるボランティアを養成する(昼の部と夜の部あり)	①入門(昼の部、夜の部合計) 回数:30回 延参加者:302名 登録者:14名 修了者:11名 (修了率78.6%) ②中級(昼の部、夜の部合計) 回数:30回 延参加者:255名 登録者:8名 修了者:6名	市内	成人	①500 ②420	指定管理者	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	各18	B	①入門修了者11名 (前年度19名) ②中級修了者6名 (前年度15名) 地域で活躍する点字ボランティア養成のために実施した。	本庁	994	継続		986	障害者福祉課
369		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	盲ろう通訳者・介助者養成講座	盲ろう通訳介助者の養成	回数:7回 延参加者:121名 登録者:15名 修了者:14名 (修了率93.3%)	市内	どなたでも	30	指定管理者	応募者・参加者の人数	35	B	平成28年度新規事業。盲ろう者の通訳介助者養成のため、指点字によるコミュニケーションを学んだ。	本庁	486	継続		680	障害者福祉課
370		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	要約筆記講習会	手話を使えない中途失聴・難聴者の通訳手段である要約筆記の啓発	回数:23回 延参加者:351名 登録者:14名 2ヶ年度の養成期間の1年目のため修了者0名	市内	成人	330	指定管理者	修了者の人数 (70%以上の出席で修了)	18	B	2か年に渡る講習の1年目のため、修了者は0名だが、新たな試みとして、要約筆記事業の啓発のため、市民を対象とした筆談及び要約筆記体験会を1回実施した。(33名参加)	本庁	1,066	継続		1,074	障害者福祉課
371		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	初級手話講習会 (夜間)	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進。	34回1,210名	市内	成人	50	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	アンケート集計結果による満足度が100%だった。	浅川	537	継続		537	東浅川保健福祉センター
372		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	中級手話講習会	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進。	34回905名	市内	16歳以上で初級修了者または同程度の技量をお持ちの方	40	市単独	参加者の満足度	アンケート集計結果による満足度80%	B	アンケート集計結果による満足度が100%だった。	浅川	537	継続		537	東浅川保健福祉センター
373		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	八王子城跡ガイドボランティア	郷土の歴史を学んだ市民に実践の場を提供し、郷土愛の醸成を図るとともに、市民との協働による史跡の活用を行う。	28年度は31人の体制でボランティア活動を行い、ガイドをした人数は延べ5,192人だった。 研修会の開催と自主活動の場を提供した。	自由	どなたでも	-	委託	協働事業の推進	ガイド人数1,200人	A	目標を大きく達成し、見学者からも好評を得ているため。	元八王子	10	継続		9	文化財課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
374		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	地域防犯リーダー養成講習会 (フォローアップ研修会)	地域の防犯活動の充実	防犯パトロールを行うための心構えや具体的事例による対処法などについて、講義を行った。	市内	成人	172 (本講習100 +フォロー72)	委託	応募者・参加者の人数	平成29年度までに累計1,000人受講	B	防犯に関する基礎的知識を学び、防犯リーダーとして地域で防犯活動を広めるためのノウハウを周知出来たため。	本庁	425	継続		427	防犯課
375		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	里山サポーター育成講座	戸吹第二最終処分場用地を、環境意識啓発の学習の場として活用し、環境保全活動に携わる人材育成を行う。	戸吹第二最終処分場用地を、実習地として初心者向け講座(全9回)とフォローアップ講座(全3回)を開催。	市内	どなたでも	15	委託	事業の拡大	講座修了者の活動実績	B	初心者向けとフォローアップの2講座を開催し、事業を拡大させた。また、初心者向け講座では16名に修了証を交付。そのうち10名が市民団体等で活動中。	元八王子	968	継続	-	968	環境政策課
376		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	災害ボランティアリーダー養成講座	災害ボランティアセンターの円滑な運営	災害ボランティアセンターの役割、備品使用訓練、運営訓練等の講座を実施した。 開催回数 4回 延べ受講者数 101名	市内	どなたでも	100人	補助	参加者の満足度	アンケート集計結果における「講座内容」について「よい」の回答 90%以上	B	野外等での開催もあり、アンケートを実施できなかったが、災害ボランティアリーダー数の増加につながったという点で災害発生時の体制を強化することができた。	本庁 浅川	68	継続		76	福祉政策課 (社会福祉協議会)
377		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	傾聴ボランティア講座	傾聴ボランティアの養成	市民を対象に、基礎編(3会場)・スキルアップ編(2会場)・ピア編を実施した。 基礎編 192名 スキルアップ 62名 満足度 90%以上 ピア編 23名	市内	どなたでも	150人	補助	参加者の満足度	アンケート集計結果における「講座内容」について「よい」の回答 90%以上	B	毎年大変多くの市民が基礎編を受講していただいていますし、スキルアップ編にも進んでくれています。その後の活動にも結び付いています。	本庁 浅川 元八王子	496	継続		507	福祉政策課 (社会福祉協議会)
378		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	市民センターまつり、いちょうまつり、福祉まつり、手作り作品展への参加	ボランティア活動をPRし、活動に対する市民の関心と参加を高める	市民センターまつり等に参加しボランティア活動をPRした。 参加回数 5回	不特定	どなたでも	-	補助	事業の拡大	5回参加→6回参加に増	C	目標値には至らなかったが、PRによりボランティア活動者の裾野の拡大につながった。	浅川 由木 元八王子	5	継続		5	福祉政策課 (社会福祉協議会)
379		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	精神保健福祉ボランティア講座	精神障害者を支援するボランティアの養成	八王子市民を対象に、2会場で開催した。 修了者 49名 満足度 90%以上	市内	成人	各会場50名	補助	参加者の満足度	アンケート集計結果における「講座内容」について「よい」の回答 90%以上	B	毎年定員いっぱいのお申し込みがあります。受講者は真剣に取り組んでおり、精神障害者支援の理解に繋がっています。	本庁 由木	131	継続		148	福祉政策課 (社会福祉協議会)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
380		3-①	人材の育成と活躍 の場の提供	音訳講習会	音訳ボランティアの養成及び視覚障害者に対する理解の促進を図る。	音訳ボランティアの養成及び視覚障害者に対する理解の促進を図る。	市内	成人	16	補助	参加者の満足度	音訳ボランティアの養成及び視覚障害者に対する理解の促進を図る。	A	16名募集中、9名の応募があった。9名のうち、出席率7割以上の8名に修了証を授与した。事業参加者人数は、延べ65名が参加した。	由木	50	継続		50	南大沢保健福祉センター
381		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	介護予防運動ボランティア・健康づくりサポータースキルアップ講座	健康づくりサポーター・介護予防運動ボランティアが不安なく地域活動を展開できるよう支援する。	開催回数 81回 述べ参加人数 308人	市内	健康づくりサポーター・介護予防運動ボランティアとして登録のある方	75	市単独	協働事業の推進	地域での活動の場の拡大	B	介護予防教室の見学など、フォローのための受け入れ窓口を広げ、育成。そのことにより、回数も参加人数も増加。地域での活動の場も拡大したため。	由木	26	継続		29	南大沢保健福祉センター
382		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	健康づくりサポーター養成講座	一般高齢者施策の地域介護予防活動支援事業として、広く健康に関する知識を持つ健康づくりサポーターを養成する。	開催回数 4回 述べ参加人数 44人	市内	成人	10	市単独	協働事業の推進	地域での活動の場の拡大	B	健康政策課、東浅川保健福祉センター、大横保健福祉センターと協働で養成講座を実施。地域での活動の場が拡大しているため。	由木	29	継続		44	南大沢保健福祉センター
383		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	初級手話講習会	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	八王子市聴覚障害者協会から講師、助手、補助が派遣され、毎年5月から2月まで通年で開講している。外部講師を招いて講演会を開催した。	市内	成人	48	補助	参加者の満足度	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	A	48名募集中、32名の応募があった。32名のうち、出席率7割以上の27名に修了証を授与した。事業参加者人数は、延べ874名が参加した。	由木	527	継続		527	南大沢保健福祉センター
384		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	中級手話講習会	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	八王子市聴覚障害者協会から講師、助手、補助が派遣され、毎年5月から2月まで通年で開講している。外部講師を招いて講演会を開催した。	市内	初級修了者または同程度の技術を持つ方	24	補助	参加者の満足度	手話通訳ボランティアの養成及び聴覚障害者に対する理解の促進を図る。	A	24名募集中、10名の応募があった。10名のうち、出席率7割以上の8名に修了証を授与した。事業参加者人数は、延べ286名が参加した。	由木	340	継続		340	南大沢保健福祉センター

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
385		3-①	人材の育成と活躍の場の提供	郷土資料館ガイドボランティア	郷土の歴史を学んだ市民に実践の場を提供し、郷土愛の醸成と館内展示・イベントの充実を図る。	研修会を開催し、スキルアップを支援するとともにボランティア保険費用を負担。また、新規紙芝居作成など自主活動に協力した。	不特定	成人	22	市単独	協働事業の推進	郷土資料館ガイドボランティアの活動を積極的に支援する。	B	ボランティア活動を支援し、ボランティアの育成と活動する場を提供することができた。	本庁	7	継続		12	文化財課 郷土資料館
386		3-②	学びの成果を活かす	八王子市民文化祭	市民が文化・芸術に触れたり、参加する機会を提供し、市民文化の向上・発展を目的とする。	33団体が市内6会場にて、公演部門・学芸部門・展示部門の催しを開催。	不特定	どなたでも	3500	実行委員会	応募者・参加者の人数	3500	B	市制100周年プレ記念事業として実施し、参加者は3,587人で目標を達成した。また、来場者も22,000人を超え、市民文化の向上・発展に寄与し、事業の目的を達成した。	本庁 (一部東浅川保健福祉センターで実施)	5,810	継続		8,194	学園都市文化課 (市民文化祭実行委員会)
387		3-②	か学びの成果を充実	八王子地域合同学園祭 学生天国	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生で構成する学生委員会が、学生同士や市民の方々との交流を目的とし開催する。	第11回にちなんで開催テーマを「一期一会」とし、JR八王子駅北口ユーロード他でパフォーマンスを繰り広げた。 観客数:30,000人	不特定	どなたでも	30,000人	補助	応募者・参加者の人数	30,000人	B	学生同士や市民の方々との交流が図られ、目標人数を達成した。	本庁	1,964	継続		1,964	学園都市文化課 (大学コンソーシアム八王子)
388		3-②	学びの成果を充実	いちょうホールロビーコンサート	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供する。	年間49回開催し、来場者は延べ2,794名。演奏形態はピアノ、声楽、器楽アンサンブルなどで、クラシック楽曲のほか日本唱歌、ポピュラー曲等、多様なジャンルを演奏。	不特定	どなたでも	2,000	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者 2,000人以上	A	ロビーコンサートを目的に、時間を合わせて来館される方も見受けられ、市民の方々に親しまれる催しに育っている。年間を通しての来場者も目標を大きく上回った。	本庁	74	継続		149	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
389		3-②	学びの成果を充実	ステップアップコンサート	ロビーコンサート出演者の活動の場を広げる一助とするとともに、市民に様々なジャンルの音楽に親しめる機会を提供する。	入場者数111名。小ホールを会場に、4組の出演者がマリンバアンサンブル、声楽、ピアノソロ、ピアノトリオ演奏を披露。入場料500円。来場者アンケートにおける満足度は97.9%。	不特定	どなたでも	180	指定管理者	参加者の満足度	参加者 (入場者の満足度)95%	B	入場者数は目標値に及ばなかったものの、来場者アンケート結果では、目標を上回る満足度を達成、自由記述でも「すばらしかった」「楽しかった」との声を多数いただいた。	本庁	132	継続		145	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
390		3-②	学びの成果を 活かす機会の充	第5回東京都 高等学校吹奏楽の響演 ～響き渡る～	都内の高校を代表する 吹奏楽団を有する街、八王子。その高校生達と協働して質の高い音楽公演の提供をする。	八王子市内の優秀な高等学校吹奏楽部を中心として、他地区の優秀な高等学校吹奏楽部を招待し、演奏会を行う。	不特定	どなたでも	1600	指定管理者	参加者の満足度	全国的に評価の高い八王子の高校生による吹奏楽を中心に良質な音楽を楽しむ機会を提供できるようにする。	A	5回連続して公演を実施。八王子のイベントとして広く市民だけでなく吹奏楽連盟等関係者にも認知されてきている。すべての公演でチケット完売。	本庁	1638千円	継続		1640千円	学園都市文化課 (共立・NTTファシリティーズ共同事業体)
391		3-②	学びの成果を 活かす機会の充	ギャラリー川口	主に生涯学習センター川口分館を利用している団体が日頃の学習成果を発表する。	20団体が延べ446日間利用した。(展示スペース2か所あり) 【参考】27年度は18団体が444日間利用した。	不特定	どなたでも	-	市単独	その他	希望者へ適時展示スペースを提供する。	B	概ね前年度水準の利用があったため。	全市域	0	継続		0	学習支援課
392		3-②	学びの成果を 活かす機会の充	フレスコギャラリー	生涯学習センター南大沢分館を利用している団体が日頃の学習成果を発表する。	8団体が延べ121日間利用。【参考】27年度は7団体が延べ107日間利用した。	不特定	どなたでも	-	市単独	その他	希望者へ適時展示スペースを提供する。	B	概ね前年度水準の利用があったため。	全市域	0	継続		0	学習支援課
393		3-②	学びの成果を 活かす機会の充	青年ライブステージ	生涯学習プランに基づく学習の成果の発表の場づくり事業の一環として実施。出演者は、観覧者の発表することにより今後のより一層の練習への励みとする。	25団体または個人の出演。延べ709名の参加。 【参考】27年度25団体または個人の出演。延べ871名の参加	市内	成人	800	市単独	応募者・参加者の人数	前年度より参加者を1割増。	C	参加者数が減少し、1割増の目標を達成できなかったため。	全市域	0	継続		0	学習支援課
394		3-②	学びの成果を 活かす機会の充	川口やまゆり館まつり	生涯学習センター川口分館を利用している団体が日ごろの成果を発表する。	2日間開催、延べ1,968名の参加 【参考】27年度延べ1,986名の参加	不特定	どなたでも	2000	共催	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	B	概ね前年度水準の参加者数があったため。	全市域	0	継続		0	学習支援課
395		3-②	学びの成果を 活かす機会の充	南大沢総合センターまつり	生涯学習センター南大沢分館を利用している団体が日頃の成果を発表する。	延べ1,490名の参加 【参考】27年度1,654名の参加	不特定	どなたでも	1600	共催	応募者・参加者の人数	前年度と同程度。	B	概ね前年度水準の参加者数があったため。	全市域	0	継続		0	学習支援課
396		3-②	学びの成果を 活かす機会の充	八王子市立小中学校合同作品展「おおり展」	児童・生徒の作品の発表を通して、豊かな心情を培い、創造的な能力の向上を図る。	市立小・中学校が合同で作品展を行い、広く市民に鑑賞の機会を設ける。 出品校 108校 出品数 4,934点 会場 エスフォルタアリーナ八王子	市内	どなたでも	来場者数 13,000人程度	共催	参加者の満足度	80%	A	参加者へのアンケートの結果、おおり展を鑑賞して「とてもよかった」63%、「よかった」32%となっており、95%が満足しているため	浅川	2,600	継続		2,624	指導課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
397		3-②	学びの成果を 活かす	こども将棋大会	日本の伝統文化である「将棋」に親しみ、大会を通じてコミュニケーションや礼儀作法の修得など子どもたちの健全育成を図る。	当日欠席者を除き、応募者全員が参加できた。 募集者数128名 応募者数137名 当日参加者数124名	市内	子ども	128人	委託	参加者の満足度	128人	A	各学校から集まった相手と対局することにより、勝つ喜び、負けるくやしさを、相手を思いやる気持ちを学ぶことができ、将棋の普及振興に役だった。	本庁	360	継続		366	生涯学習政策課
398		3-②	学びの成果を 活かす	第13回生涯学習フェスティバル	市民が自ら学習活動を行うきっかけづくりと、学びあう交流の場を提供する。	市民との共催で、生涯学習センターを会場とし、学習のきっかけづくり及び成果の場を提供した。来場者数:5,349人	不特定	どなたでも	5,500人	共催	応募者・参加者の人数	5,500人	B	人数集計方法を少し変更したこともあり、来場者数は目標には届かなかったが、本事業が成果発表の場として定着し、広く市民に周知されていることが窺える。	本庁	85	継続		97	生涯学習政策課
399		3-②	学びの成果を 活かす	八王子市内高等学校吹奏楽フェスティバル	市内高等学校吹奏楽部等の練習成果の発表会を市民を対象に実施し市民文化活動・文化交流の一助とする。	市内高等学校吹奏楽部等による市民を対象とした無料演奏会 参加学校 16校 来場者数2,500名 ※賛助出演 中学校合同バンド、清水小プラスバンド	不特定	どなたでも	2,300名	共催	参加者の満足度	27年度アンケート回収42件 28年度アンケート回収目標200件	B	評価指標のアンケート回収200件に届かず、131件だったが、来場者は27年度2,300名→28年度2,500名と増加したため。	本庁	303	継続		321	生涯学習政策課
400		3-②	学びの成果を 活かす	ロードレース大会	陸上競技の普及と競技力の向上を目指し、練習の成果を発揮する場として大会を開催する。	陵南公園対岸をスタート・ゴールとして浅川ゆったりロードを走る大会。 平成28年10月9日実施 延べ参加人数:448名	不特定	どなたでも	400	委託	応募者・参加者の人数	400	B	今年度も小学生から50歳以上の方まで、幅広い世代の参加が見られた。事故等なく大会を開催できた。参加者数も昨年より60名以上増加した。	浅川	385	継続		385	スポーツ振興課
401		3-②	学びの成果を 活かす	市民スキー競技大会	スキー競技に取り組む市民が日頃の成果を試す場として大会を開催する。	小学校低学年から60歳以上の部まで、大回転競技を行う。 平成29年3月12日(日)開催 参加者43名	市内	どなたでも	150	委託	応募者・参加者の人数	150	B	大きな事故等なく運営できた。	市外	330	継続		330	スポーツ振興課
402		3-②	学びの成果を 活かす	市民スポーツレクリエーション大会	市民のスポーツ・レクリエーション活動の日頃の練習の成果を発表する場として大会を実施する。	レクリエーション協会加盟団体のうち12団体が参加。 平成28年4月～平成29年3月 開催延べ日数:23日 参加延べ人数:2613人	市内	どなたでも	3,000	委託	応募者・参加者の人数	3,000	B	昨年より参加者数が若干減少したが、日頃の成果を発揮し、参加者同士が楽しみながら交流を深めることができた。また、事故なく安全に大会を開催することができた。	全市域	260	継続		260	スポーツ振興課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
403		3-②	学びの成果を活かす機会	市民体育大会(開会式及び34種目)	実技スポーツに取り組む市民が日頃の成果を試す場として大会を開催する。	八王子市体育協会加盟団体のうち32団体が参加。 平成28年4月～平成29年3月 開催延べ日数: 94日 参加延べ人数: 19,123人	市内	どなたでも	17,000	委託	応募者・参加者の人数	17,000	B	事故等なく安全な大会が開催できた。各競技団体がそれぞれ大会を行い、各競技の競技力向上とともに選手同士の親交を深めることができた。 参加者数についても前回と比較し2,000名増加した。	全市域	2,846	継続		2,846	スポーツ振興課
404		3-②	学びの成果を活かす機会	水泳大会	水泳競技に取り組む市民が日頃の成果を試す場として大会を開催する。	50mの各競技を市内在住、在勤、在学の小学3年生以上が競い合う。 平成28年9月25日実施 延べ参加人数: 427名	市内	どなたでも	350	委託	応募者・参加者の人数	350	B	参加者数は昨年よりもやや減少したが、市内の高校5校に協力をいただき、効率の良い大会運営が実現できた。また、ケガ等の報告もなく、安全に大会を終了することができた。	市外	340	継続		340	スポーツ振興課
405		3-②	学びの成果を活かす機会	陸上選手権大会	陸上競技に取り組む市民が日頃の成果を試す場として大会を開催する。	小学生から70歳以上まで、体育大会・選手権大会の部を合わせて全11種目を行う。 平成28年9月11日実施 延べ参加人数: 1,914名	市内	どなたでも	1,300	委託	応募者・参加者の人数	1,300	B	昨年度から公認大会としたこともあり、過去最多の参加人数となった。また、申し込み方法に改善を加えるなど、より参加しやすい大会となった。	上柚木	193	継続		193	スポーツ振興課
406		3-②	学びの成果を活かす機会	林業体験事業(クリスマスリース作り)	林業にふれあう場を提供し、八王子市林業研究会と市民との交流促進を図り、林業に対する理解を深める	①クリスマスリース作り②しいたけの植菌体験 27名参加	不特定	どなたでも	20	委託	応募者・参加者の人数	満足度の向上	B	計画通りに作品を完成に導くことができた。 特に、シイタケの植菌体験は目新しさもあり、林業に関心を持つきっかけを作れたと感じている。	元八王子	129	継続		129	農林課
407		3-②	学びの成果を活かす機会	あさかわ写真コンクール	浅川の魅力についての認知度向上及び水辺に近づく動機づけ	「未来へつなげる私たちのあさかわ」をテーマに、中学生以下の部と一般の部に分けて作品を募集。入選作品を本庁ロビーや南口事務所で作品展示を行った。	不特定	どなたでも	150人	共催	応募者・参加者の人数	200	A	23年度から6年続けての実施。単一の河川を対象としていながら多数の応募があり、関心の高さがうかがえる。写真の展示にも多くの市民が訪れており、浅川の魅力の認知度向上に寄与している。	全市域	544 261 (日野市負担金差引後)	継続		523	水環境整備課
408		3-②	学びの成果を活かす機会	彫刻写真コンクール	市民が彫刻を身近に感じ、親しめるよう、彫刻を活用した事業を行う。	第7回コンクールを実施し、入賞作品の展示会も実施。	不特定	どなたでも	50	委託	応募者・参加者の人数	50	B	参加者数が増え、事業の目的を果たすことができた。	本庁	185	継続		500	学園都市文化課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
409		3-②	か学びの会の成果を充実	オヤジバンドフェスティバル	市民が身近な場所で芸術文化活動に参加する機会を提供する。	公募によるバンドフェスティバル。5組が出演し、242人の入場者数。	自由	成人	出演者 25	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加団体、入場者ともに定員の100%を目指す	B	出演の応募数、公演の入場者数ともに多かった。	由木	223	継続		300	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
410		3-②	か学びの会の成果を充実	南大沢コミュニティオペラコンサートとワークショップ	市民に身近な場所でオペラを作り上げる機会を提供し、芸術への市民参加と芸術の普及を促進する。	合唱・稽古ピアノ・衣裳のワークショップを実施、参加者延べ930人。公演入場者数471人。	自由	どなたでも	参加者 140 入場者 900	指定管理者	参加者の満足度	参加者の体験の機会の増とチケットの完売を目指す	B	ワークショップの応募、公演の入場者数ともに多く、内容も満足度の高い結果であった。	由木	6,185	継続		10,000	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
411		3-②	学びの会の成果を活かす	BOXギャラリー	市民の芸術活動の発表の場を提供	八王子市在住・在勤・在学者を対象に個人の作品を期間中(最長1か月)1ケースのみの展示できる市民の芸術活動の発表の場として提供。	市内	どなたでも	未定	指定管理者	協働事業の推進	広報活動の充実	B	年間を通して八王子市在住・在勤・在学者の延べ39人の利用があったため。絵画、写真、詩、オブジェなど多岐にわたるジャンルの作品発表の場として活用された。	本庁	0	継続		0	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
412		3-②	か学びの会の成果を充実	シアターPJ演劇公演	財団のワークショップから誕生した市民劇団を支援する。	第9回公演を実施した。入場者数は1回目133人、2回目196人。	自由	どなたでも	-	補助	応募者・参加者の人数	チケット販売9割を目指す	C	市民劇団が演劇を制作し上演する力をつけたがわずかに集客の目標が及ばなかった。	本庁	220	継続		268	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
413		3-②	学びの会の成果を充実	南大沢文化会館ロビーコンサート	市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞・発表する機会を提供する	49回実施 出演者219名 入場者 延べ2747名	不特定	どなたでも	50	指定管理者	応募者・参加者の人数	来場者50名 モーニングコンサート出演への斡旋によって演奏者を支援する。	B	目標の来場者数を上回ることができ、出演者へモーニングコンサート出演の斡旋をすることができた。	由木	0	継続		0	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
414		3-②	学びの会の成果を活かす	青少年のための南大沢音楽祭	音楽祭の開催を通して地域の児童・学生に日頃の音楽活動の発表の場を提供し、地域の住民に芸術文化を鑑賞する機会を創出する。	出演団体 15団体 入場者 延べ1500名	市内	親子・保護者	2500	指定管理者	参加者の満足度	アンケート満足度90%	A	アンケート結果93%出演者の選定はもとより公演運営も地域青少対との協働により開催地元連携を深めた。	由木	342	継続		320	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)
415		3-②	学びの会の成果を充実	中学校絵画展	若年層の芸術文化活動の支援を図る。	出品者数244人、展覧会の入場者数519人。	市内	子ども	-	補助	応募者・参加者の人数	昨年以上の出展数を目指す	C	出品者数、入場者数ともに昨年を下回った。	本庁	410	継続		426	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
416		3-③	市民との協働による地域の活性化	上柚木公園の新緑を楽しもう	地域住民に自然とのふれあいの場を提供し、森林生態系についての知識・情報を森林インストラクターを通じて提供する。	季節に合わせ園内の多岐にわたる樹木を観察し生き延びるための特徴などを学んだ。	不特定	どなたでも	40	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者40人	B	参加者目標には達しなかったが参加者に樹木の魅力は十分伝えることができた。	由木	30	継続		30	(八王子市学園都市文化ふれあい財団)
417		3-③	市民との協働による地域の活性化	住民協議会主催講座等助成	講座の開催を助成し、コミュニティの活性化につなげる。	講座の実施 27年度6住民協議会8講座 394名 28年度6住民協6講座 304名	市内	どなたでも	-	補助	応募者・参加者の人数	27年度より参加人数を増やす。	C	各住民協議会で、地域に即した講座を企画していたが、参加人数が減少したため。	全市域	297	継続		389	協働推進課 (各地域住民協議会)
418		3-③	市民と地域の協働による地域の活性化	住民協議会連携事業	地域住民協議会の活動を周知し、地域の活性化を目指す。	つるし雛飾りの展示 27年度来場者 744名 28年度来場者 496名	不特定	どなたでも	1,200	共催	応募者・参加者の人数	27年度より参加人数を増やす。	C	目標数値を下回ったため。	本庁	132	継続		132	協働推進課 (各地域住民協議会・学園都市文化ふれあい財団)
419		3-③	市民との協働による地域の活性化	地区図書室運営事業	地域の住民参加により、読書活動と地域住民の交流促進を目指す。	地区図書室を中心に文庫活動を行った 27年度利用者 延べ58,108人 28年度利用者延べ52,288人	市内	どなたでも	-	補助	応募者・参加者の人数	27年度より参加人数を増やす。	C	目標数値を下回ったため。	全市域	15,368	継続		16,103	協働推進課 (各地域住民協議会等)
420		3-③	市民と地域の協働による地域の活性化	地区図書室運営研修講座	中央図書館と連携(共催)し、地区図書室の活性化を図る。	中央図書館職員を講師に研修を実施(参加者数) 27年度 22名 28年度 23名	市内	地区図書室担当者	32	補助	その他	レベルアップを図る	B	図書館の担当職員を講師に招き、本の並べ方をはじめ、図書部員に必要なスキルアップが図られたため。	全市域	2	継続		2	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団)
421		3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子いちよう祭り	地域の発展と社会的な広がりを目指した有志市民によるまつり	甲州街道や陵南公園を会場に実施。 27年度来場者数 522,000人 28年度来場者数 493,000人	不特定	どなたでも	522,000	補助	応募者・参加者の人数	550,000人	A	「市民手作りのまつり」として浸透してきており、清掃活動では高校生・大学生がボランティアで積極的に参加しているため。	浅川	6,000	継続		6,000	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団・いちよう祭り祭典委員会)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
422		3-③	市民との協働による地域の活性化	フラワーフェスティバル由木	由木地域の活性化とコミュニティづくり	南大沢駅周辺の春の催しとして実施。 27年度来場者数 119,000人 28年度来場者数 103,000人	市内	どなたでも	119,000	補助	応募者・参加者の人数	120,000人	A	由木地区の住民協議会及び町会・自治会が協働して祭典を創り上げ、着実に新旧住民の交流やコミュニティの場となってきたため。	由木	4,000	継続		4,000	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団・フラワーフェスティバル祭典委員会)
423		3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子まつり	地域文化の創造と継承、市民相互の連帯と融和、観光都市八王子のイメージの高揚 市制100周年に向けた環境整備	山車・神輿を中心とした中心市街地での祭典。 27年度来場者数 775,000人 28年度来場者数 800,000人	不特定	どなたでも	775,000	補助	応募者・参加者の人数	800,000人	A	八王子を代表する祭典として、山車や神輿を中心とした伝統祭りを実施・継承するとともに、住民の交流の場となっていたため。	本庁	49,966	継続		41,950	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団・八王子まつり実行委員会)
424		3-③	市民との協働による地域の活性化	踊れ西八夏まつり	商店会、町会が一体となり、地域コミュニティの育成・活性化を目指す	商店会と町会が地域コミュニティの育成と活性化を目指して実施。 27年度来場者数 48,000人 28年度来場者数 55,000人	不特定	どなたでも	48,000	補助	応募者・参加者の人数	50,000人	A	着実に来場者を増やしており、商店会、町会が一体となり、地域コミュニティの育成・活性化が行われていたため。	本庁	1,600	継続		1,500	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団・踊れ西八夏まつり実行委員会)
425		3-③	市民との協働による地域の活性化	ダンボールコンポスト講習会の開催	可燃ごみの約半分を占める生ごみの減量・資源化を図る。	家庭のベランダや軒下で手軽にできて臭いも少ないダンボールコンポストのやり方やコツを紹介する。 35回開催、述べ464名参加	市内	どなたでも	500人	市単独	事業の拡大	年間35回開催 参加者600人	B	講習会開催数において当初の目標をほぼ達成できた。	全市域	6,114	継続		5,809	ごみ減量対策課
426		3-③	市民との協働による地域の活性化	みんなの川の清掃デー	市民の憩いの場となっている主要各河川の堤防周辺の草刈り、ごみ、空き缶、ペットボトル等の回収を市民が協力して行い、清掃する活動	9月4日(日)を中心に実施 101団体5,544人参加 可燃ごみ11,000kg回収 不燃ごみ610kg回収	市内	どなたでも	10,000人	共催	応募者・参加者の人数	町会・自治会・任意団体の協力を得て、市内主要河川の堤防およびその周辺を清掃とともに、地域美化を推進する	B	9月4日(日)実施 参加者5,544人 平成28年度は悪天候のため中止する団体が多かった。	全市域	492,943 「みんなの町の清掃デー」を含む	継続		493,000 「みんなの町の清掃デー」を含む	ごみ減量対策課 (美しい八王子をつくる会)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
427		3-③	市民との協働による地域の活性化	みんなの町の清掃デー	町に捨てられている可燃ごみ、不燃ごみ、空き缶を回収するとともに、地域の美化を推進する活動	5月29日(日)を中心に実施 243団体16,542人が参加 可燃ごみ16,560kg回収 不燃ごみ1,290kg回収	市内	どなたでも	16,000人	共催	応募者・参加者の人数	町会・自治会・任意団体の協力を得て、町に捨てられたごみを回収するとともに、地域美化を推進する	B	5月29日(日)実施 参加者16,542人当初の目標をほぼ達成できた。	全市域	— 「みんなの川の清掃デー」に含まれる	継続		— 「みんなの川の清掃デー」に含まれる	ごみ減量対策課 (美しい八王子をつくる会)
428		3-③	市民との協働による地域の活性化	消費生活に関するパネル展	消費者相談のなかで被害の多い事例や消費生活に役立つ情報を提供することにより、消費生活に関する啓発を図る。	消費生活に関するパネル展示・リーフレットの配布を南口総合事務所で開催 5/14～5/30 17日間	不特定	どなたでも	多数	共催	協働事業の推進	関係団体と連携し、効果的な啓発を実施する。	B	啓発推進委員と連携し、南口総合事務所を会場として開催することにより、多くの市民に消費生活に関する情報提供することができた。	本庁	3	継続		13	消費生活センター
429		3-③	市民との協働による地域の活性化	消費生活フェスティバル	消費者が直面する諸問題について理解と認識を深める。	「かさねて半世紀 明日への知恵」をテーマに消費生活に関する情報交換の広場となるよう、市民団体や官公署がさまざまなブースを出展 参加21団体 468人	不特定	どなたでも	650人	共催	協働事業の推進	関係団体と連携し、効果的な啓発を実施する。	B	関係団体と連携し、充実した内容となった。来場者のアンケートも概ね好評であり、幅広い年代の市民に対して、消費生活に関する情報を提供することができた。	本庁	108	継続		126	消費生活センター
430		3-③	市民との協働による地域の活性化	タブレットとパソコン祭り	ボランティア団体と連携して初心者向けの講座を実施することにより、市民のICT利活用促進を図る。	平成28年11月13日(日) クリエイトホールで「タブレットとパソコン祭り」を共催。参加者：約160人	不特定	どなたでも	200人程度	共催	応募者・参加者の人数	参加者数 200人	C	情報ボランティアの会(八王子)と連携し、IT関連の各種講座の開催や実演コーナーを設置。昨年度に比べ全体の参加者数が減少した。一方で、市の講座・コーナーの参加者は増加した。	本庁	36	継続		36	情報管理課 (ボランティア団体)
431		3-③	市民との協働による地域の活性化	海外友好交流都市の写真展	海外友好交流都市(台湾・高雄市)を写真の展示を通じ市民に周知を図る。	台湾・高雄市の写真の展示をとおして、市民に海外友好交流都市の理解を深めることができた。 実施期間：6/3～6/16 来場者：4,736人	不特定	どなたでも	4,000人	市単独	応募者・参加者の人数	来場者数 4,000人	A	参加者数が目標を大幅に上回ったこと及び高雄市への理解が深まったという感想などもあったため。	本庁	70	継続		130	多文化共生推進課
432		3-③	市民との協働による地域の活性化	外国人留学生の高齢者施設訪問	外国人留学生が高齢者施設を訪問し、自国の文化を紹介しながら交流を深める。	外国人留学生が、高齢者施設を訪問し、自国の文化を紹介するなどの交流を行った。実施日12/15～17 参加者：14人	市内	外国人留学生	15人	市単独	応募者・参加者の人数	参加者数 15人	A	参加者数は、ほぼ目標どおりであったこと及び参加者の満足度が高かったため。	北野	3	継続		3	多文化共生推進課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
433		3-③	市民との協働による地域の活性化	国際交流フェスティバル	国際理解を深めることを目的に、気軽な国際交流の場として、多くの方に異文化に接する機会を提供する。	本市及びその周辺の外国人と市民の交流をとおして、文化の違いや相互理解を深めることができた。 実施日:10/2 来場者:約1,300人	不特定	どなたでも	1,200人	補助	応募者・参加者の人数	来場者数 1,200人	A	来場者が目標を上回ったほか、多くの国の出身者が来場、出展、ボランティア参加することで、多文化共生、国際理解につながったため。	本庁	350	継続		350	多文化共生推進課 (八王子国際協会)
434		3-③	市民との協働による地域の活性化	農業体験事業 (①親子農業ツアー、②じゃがいも掘り、③さつまいも掘り、④農業にふれあう稲作体験)	農業にふれあう場を提供し生産者と市民との交流促進を図り、都市農業に対する理解を深める。	①農業ツアー40名②ジャガイモ掘り100名③サツマイモ掘り83名稲作体験128名	市内	親子・保護者	①26名 ②60名 ③60名 ④50名	市単独	応募者・参加者の人数	満足度の向上	B	参加者は目標を達成し、喜ばれた。農業体験を通じて、生産者との交流が図れた。	本庁	174	継続		211	農林課
435		3-③	市民との協働による地域の活性化	地区まちづくりフォーラム	「地区まちづくり推進条例」の周知及び条例の活用促進を図る。	地域資源である「みどり」を活かしたまちづくりを考えるをテーマに、まちづくりアドバイザーからの提案とパネルディスカッションを行った。22名が参加。	不特定	どなたでも	30	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者のうち、半分程度、新規参加者の獲得増	B	質疑応答を通じて、参加者からの活発な発言が得られた。また、アンケートでも「満足」との意見が多く、一定の評価を得たと考えられるため。	本庁	84	継続		87	まちなみ景観課
436		3-③	市民との協働による地域の活性化	都市景観セミナー	市民と行政の協働による魅力ある景観づくりを推進する。	八王子景観100選候補地写真を利用した八王子のプロモーション動画をワークショップで作成。参加者25名で5つの作品が完成し、八王子の景観や活用について参加者で考えを共有した。	市内	どなたでも	30	市単独	応募者・参加者の人数	参加予定者のうち、半分程度、新規参加者の獲得増	A	応募段階では定員を超過する応募数があったため。また、アンケートでも全員が参加してよかったと回答し、楽しみながら八王子の景観への理解が深まったとの感想が多かったため。	本庁	46	継続		47	まちなみ景観課
437		3-③	市民と地域の活性化	南大沢地域音楽祭(仮称)	音楽祭の開催を通して地域の市民と共同で日頃の音楽活動の発表の場を提供し、芸術文化を鑑賞する機会を創出する。	出演団体 7組 入場者 延べ400名	市内	どなたでも	500	指定管理者	参加者の満足度	アンケート満足度 90%	B	出演者アンケートで満足度が100%になり、入場者アンケートでは満足度が89%だったが、ほぼ目標を達成できた。	由木	265	継続		280	学園都市文化課 (学園都市文化ふれあい財団)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
438		3-③	市民との協働による地域の活性化	大学共催事業	地域、大学と連携した芸術・文化を活用した地域の活性化	市内美術大学の多摩美術大学と2回、東京造形大学と連携した事業を1回開催する。平成28年度は多摩美術大学と「清原啓子作品共同研究」事業、「視覚障害者を含むすべての人に開かれた作品の実践研究」事業、東京造形大学と「東京造形大学フラッグギャラリープロジェクト」事業を実施した。	不特定	どなたでも	未定	指定管理者	協働事業の推進	2回開催(平成27年度)を3回開催に増	B	市内美術大学と連携した事業の実施が計3回あったため目標値を達成している。多摩美術大学とは収蔵品作家の共同研究や視覚障害者を含むすべての人に開かれた作品の新しい視点での展示、東京造形大学とは美術館に加え商店街とも連携して実施された点を評価する。	本庁	1,556	継続		1,059	学園都市文化課(学園都市文化ふれあい財団)
439		3-③	市民との協働による地域の活性化	八王子環境フェスティバル	市民への環境保全等への関心と理解を深め、その活動意欲を高める。	「はちおうじの環境をみる・きく・考える」をメインテーマに、産・学・公・民66のブースが出展。各体験型ブースで楽しみながら環境について関心を持ってもらい、充分な周知を図った。	不特定	どなたでも	55000	実行委員会	応募者・参加者の人数	55000	B	来場予定者数55,000人を超えることはできなかったが、新規大企業にも出展参加をしていただき、体験ブースの数も増えた。これにより、大人から子どもまで一日楽しめる充実の催しとなった。	本庁	3,749	継続	-	3,662	環境政策課
440		3-③	市民との協働による地域の活性化	子どもフォーラム	子どもたちの成長を喜び、家庭の子育てをあたたく見守る「子どもにやさしいまちづくり」を応援する市民活動団体や企業がつながり、輪が深まり、子ども支援の行動につながるきっかけづくりを目的とした、「子どもフォーラム」を開催する。	「共に歩む 未来につなげる 子育て・子育て」をテーマとした基調講演及び市内で子育て支援活動を行う市民・市民団体・企業担当者による活動紹介のリレートーク	市内	市民活動団体	60	市単独	協働事業の推進	参加団体20	B	講話内容については一定の評価を得、また、開催後の交流会では盛んに情報交換・名刺交換が行われており、支援者同士の交流が図れた。	本庁	118	休止			子どものしあわせ課
441		3-③	市民と地域の協働による地域の活性化	ふれあいこどもまつり	子どもたちが芸術への理解を深め、表現や創造の素晴らしさを実感し、文化を生み出す心と感性を育てる。	いちようホールの各施設を使用し、全館規模で様々なイベントを通じて芸術文化の体験・参加・鑑賞の場を提供する。	不特定	親子・保護者	2000	実行委員会	応募者・参加者の人数	2000	A	多くの子どもに芸術文化の体験・参加・鑑賞の機会を提供することができた。	本庁	0	継続		0	子どものしあわせ課(学園都市文化ふれあい財団)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
442		3-③	市民との協働による地域の活性化	市史編さん室、八王子・日野カワセミ会共催「浅川の野鳥観察会」	市民との連携・協働を図りながら浅川で色とりどりの野鳥を観察し、市民に対して自然への理解を深める機会とする。【八王子・日野カワセミ会共催事業】	市史編さん室、八王子・日野カワセミ会共催「浅川の野鳥観察会」を実施。市民参加総数39名。	不特定	どなたでも	30	共催	参加者の満足度	「満足」の声が参加者から聞けること。	A	参加者多数のため、2班に分けたので、多くの参加者がじっくり野鳥を観察できた。合計36種の野鳥を観察することができたうえ、非常に稀な鳥を見ることができ、参加者からも「満足」の声が聞かれたため。	本庁	0	継続		0	市史編さん室
443		3-③	市民と地域の協働による地域の活性化	あったかホールフリーマーケット	出品物を家庭の不用品のみとすることで、市内のごみ削減を目指し、市民の自主的なリユースを推進。	屋外フリーマーケット:6回開催 屋内ファミリーフリマ:12回開催 来場者数合計33,647人	自由	どなたでも	18,000人 (H27実績参考)	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数18,000人	B	指定管理者の自主事業として唯一の環境啓発事業である。モニタリング等の提案で充実を図っている。	全市域	0	継続		0	北野清掃工場
444		3-③	市民との協働による地域の活性化	あったかホールまつり	あったかホールまつりに参加し見学や工場の仕組み等(廃棄物の処理)について環境教育全般(社会・自然環境)について学習機会の提供を図る。	あったかホールまつり来場者(22,187人) H27年度20,036人 環境ブース(かんきょうパーク)入場者数(6,449人) H27年度(5,409人)	自由	どなたでも	参加予定者 (H27実績) 21,000人	指定管理者	応募者・参加者の人数	参加者数21,000人	B	年々参加者や入場者数が増加傾向にある。また、市民との協働・連携によるまつり運営の充実が図れている。	全市域	0	継続		0	北野清掃工場
445		4-①	生涯学習情報の収集と発信	学習情報プラザ	生涯学習関連情報の提供。	1,798件の受け入れを行った。 【参考】27年度1,902件の受け入れ	市内	どなたでも	-	市単独	その他	希望者へ適時掲示スペースを提供する。	B	概ね前年度水準の受け入れ・市民への情報提供を行うことができたため。	全市域	0	継続		0	学習支援課
446		4-①	生涯学習情報の収集と発信	八王子市生涯学習夢ネット	手軽に生涯学習情報を取得できるようにする。	平成28年4月～平成29年3月までで、 情報広場アクセス件数【講師】1,205件 【サークル】4,882件 【参考】27年度 情報広場アクセス件数【講師】1,053件 【サークル】4,471件	不特定	どなたでも	-	市単独	その他	適時情報の更新を行う。	B	概ね前年度水準のアクセス件数があったため。	全市域	0	継続		0	学習支援課
447		4-①	生涯学習情報の収集と発信	学校フォトニュースの更新	市の教育行政情報や学校、教育施設の情報を提供し、市民に教育施策を周知する。	学校のフォトニュース等の更新:40件、学校のホームページお知らせ欄の更新:9件、フェイスブックの他所管のシェア:24件を実施	不特定	どなたでも	ホームページ、学校ホームページ、教育委員会フェイスブックページでの提供	市単独	更新回数	月2回以上	B	紙面の制約がある広報紙では伝えきれない教育行政の情報などを、SNSを利用して市民に広く周知できた。	全市域	0	継続		0	学校教育政策課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
448		4-①	生涯学習 と 発信情報の 収集	広報「はちおうじの教育」 の発行	市の教育行政情報 や学校、教育施設の 情報を提供し、市民 に教育施策を周知する。	4/15,7/15,10/15,1/15に広報「はちおうじの教育」を発行	不特定	どなたでも	281,000部	委託	学校教育から生涯学習情報まで、教育情報を幅広く掲載し充実化を図る	具体的な目標値はなし	B	4・7・10・1月の年4回の発行のうち、4月号については4ページ増の8ページとし、年度初めに教育委員会全体の行政の情報を広く周知した。	全市域	3,445	継続		3,972	学校教育政策課
449		4-①	生涯学習 と 発信情報の 収集	「SUPPORT802」の発行	市民活動に関する情報発信を行う。	発行回数：6回 発行部数：30,000部 登録団体、市の施設、希望する町会・自治会などへ配布した。	自由	どなたでも	5000/1回あたり	委託	紙面の充実	市民活動支援センターの広報担当と協力して紙面の充実をはかる。	B	各分野の市民活動団体へ直接取材したり、助成金情報や市民活動イベント情報の掲載をしたりするなど読み手が興味を持つ紙面づくりができた。	全市域	指定管理 用の中で 実施	継続		指定管理 料の中で 実施	協働推進課 (市民活動支援センター)
450		4-①	生涯学習 と 発信情報の 収集	市民センター だより発行助成	各地域住民協議会の活動を周知し、地域の活性化を目指す。	発行部数 27年度230,560部 28年度231,760部	市内	どなたでも	3600/1回あたり	委託	紙面の充実	住民協議会の広報担当と協力して紙面の充実をはかる。	B	各住民協議会で特色ある紙面づくりを行い、住民協議会の活動を広く周知していたため。	全市域	1,334	継続		1,360	協働推進課 (各地域住民協議会・学園都市文化ふれあい財団)
451		4-①	生涯学習 と 発信情報の 収集	「広報はちおうじ」点字版の発行	点字版の広報により情報提供を行う。	点字版の広報により情報提供を行った。	市内	障害者	31	市単独	読者の満足度	視覚障害のある方に向けて、点字で情報を発信する。	A	視覚障害のある方に向けて、最新の情報を発信することができた。	全市域	1,773	継続		2,123	広報課
452		4-①	生涯学習 と 発信情報の 収集	「声の広報はちおうじ」の発行	音声版(CD・カセットテープ・デージー)の広報により情報提供を行う。	音声版(CD・カセットテープ・デージー)の広報により情報提供を行った。	市内	障害者	70	市単独	読者の満足度	視覚障害のある方に向けて、音声で情報を発信する。	A	視覚障害のある方に向けて、最新の情報を発信することができた。	全市域	1,210	継続		1,668	広報課
453		4-①	生涯学習 と 発信情報の 収集	くらしの便利帳の発行	冊子及びCD・カセットテープ・デージーにより情報提供を行う。	冊子及びCD・カセットテープ・デージーにより情報提供を行った。	市内	どなたでも	310,000	委託	読者の満足度	市の施設や業務、各種手続きなどの情報を提供する。	A	昨年度につづきタウンページにくらしの便利帳を掲載し、より新しい情報を提供した。	全市域	1,575	継続		1,600	広報課
454		4-①	生涯学習 と 発信情報の 収集	ツイッター、フェイスブックによる情報発信	ツイッター、フェイスブックにより情報を発信する。	ツイッター、フェイスブックにより情報を発信した。	市内	どなたでも	-	市単独	読者の満足度	SNSを活用して、よりタイムリーな情報を市民にお知らせする。	A	写真などを活用しながら、よりタイムリーな情報を発信することができた。	全市域	なし	継続		なし	広報課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
455		4-①	生涯学習 集と発信 情報の収	映像広報制作	映像により情報提供を行う。	映像により情報提供を行った。	市内	どなたでも	-	市単独	視聴者の満足度	地域と暮らしに密着した市政情報をわかりやすく市民に発信する。	A	暮らしに密着した内容を映像でわかりやすく紹介する映像を制作・発信することができた。	全市域	4,504	継続		4,000	広報課
456		4-①	生涯学習 集と発信 情報の収集と	広報はちおうじの発行	広報紙により情報提供を行う。	広報紙により情報提供を行った。	市内	どなたでも	280,000	市単独	読者の満足度	市民にわかりやすく情報を発信するとともに、より手に取ってもらえるような広報紙を発行する。	A	より見やすい紙面づくりを心掛け、わかりやすく、効果的に情報を発信することができた。	全市域	45,727	継続		52,658	広報課
457		4-①	生涯学習 集と情報 発信	八王子市の概要の発行	冊子により市の情報を提供する。	冊子により市の情報を提供した。	市内	どなたでも	1,300	市単独	読者の満足度	最新の市勢の概況などをまとめて発行する。	A	市の概要についてより新しい情報を提供した。	全市域	なし (議会事務局で計上)	継続		なし (議会事務局で計上)	広報課
458		4-①	生涯学習 集と発信 情報の	広報「ごみゼロ通信」の発行	ごみの減量・リサイクルについて、市民に周知・意識啓発を行う。	ごみ・資源物の出し方や減量・リサイクル等に関する広報紙を年1回発行し、市の広報に折り込み、戸別配布する。(281,730部発行)	市内	どなたでも	約281,000部	市単独	ごみ減量・リサイクルについての市民意識の高揚	ごみ減量・リサイクルについての市民意識の高揚	A	市内全域に周知する手段として非常に有効と評価する。	全市域	536	継続		830	ごみ減量対策課
459		4-①	生涯学習 集と発信 情報の	くらしのレポート・消費生活ニュースの発行	食品の安全性や消費者問題など消費生活に関わる情報提供を行う。	①消費生活ニュース 月1回・各330部 ②くらしのレポート 年3回・各310部	市内	どなたでも	300部	共催	協働事業の推進	関係団体と協働でタイムリーな情報を提供する。	B	定期的に消費生活に関する情報を提供することができた。	全市域	0	継続		0	消費生活センター
460		4-①	生涯学習 集と発信 情報の収	市ホームページの運営	市ホームページ(PC版・モバイル版)の安定した運営を行う。	いつでもイベントの情報にアクセスできるよう市ホームページの安定した運営を行った。平成28年度は計画停止を除いて稼働率100%を達成した。	不特定	どなたでも	-	市単独	[その他]安定した運用	稼働率100%	B	ホームページのリニューアルを行い、より分かりやすく、情報を探しやすいとともに、計画停止を除き、稼働率100%を達成した。	全市域、市外	30,382	継続		7,251	情報管理課
461		4-①	生涯学習 集と発信 情報の収集と	電子申請システム共同運営	生涯学習関連事業として挙げられている講座の参加申込み等を行うことができる電子申請システムを共同運営により提供する。	子ども家庭支援センター、広聴課、大横保健福祉センター等の講座申込みに電子申請を活用。	不特定	どなたでも	-	市単独	事業の拡大	行政手続きにおいてICTが利用されている割合平成29年度35%、平成34年度60%	B	子ども家庭支援センターに電子申請を活用。申請件数は、昨年度と比べ増加した。	全市域、市外	2,577	継続		3,048	情報管理課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・ 施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予 定者数 (人) (発行予 定数 /1回あ たり)	事業の 実施形 態	評価指標 項目	目標								
462		4-①	生涯学 習情報 の 集 信 の	「市税白書」 の発行	市税の状況について、市民の理解を深める。	「市税白書」 発行部数:600 市民配布部数:200	不特定	どなた でも	530部	市単独	本事業 は、税に 関する市 民の理解 を深める	市税の状 況について、市民 の理解を 深める。	B	ほぼ前年度と同じ 内容で計画通り作 成し、配布することが できた。	全市域	46	継続		71	税制課
463		4-①	生涯学 習情報 の 集 信 の	「税金の手び き」の発行	税金のしくみなどについて、市民の理解を深める。	「税金の手びき」 発行部数:900 市民配布部数:410	不特定	どなた でも	900部	市単独	本事業 は、税に 関する市 民の理解 を深める	税金のしく みなどについて、市 民の理解を 深める。	B	より見やすいものと するためにアンケート 募集を行うとともに、 予定の部数を作 成し、配布することが できた。	全市域	0	継続		0	税制課
464		4-①	生涯学 習情報 の 集 信 の 収 集 と 発	外国人向け 情報紙 「Ginkgo」	外国人のニーズに合 わせた行政情報の 提供の充実をめざ す。	外国人市民に必要な情報 等を掲載し、市内の公共施 設などで配布した。 対応言語:英語、中国語、 韓国・朝鮮語、スペイン語 発行回数:6回(奇数月) 発行部数:約2,200部(3月 号実績)	-	どなた でも	2,200部	市単独	掲載内容 の充実	掲載内容 の充実を 図るため、 各所管から の掲載希 望記事の 収集に努 める。	A	ごみの出し方の変 更、子育て施設の 案内など、外国人 市民に必要な情報 を提供することが できた。 また、有志市民から インドネシア語の翻 訳の申し出がある など、認知が拡大し たため。		282	継続		240	多文化共 生推進課
465		4-①	の生涯 集と学 習情報	小冊子「国民 健康保険の しおり」	国民健康保険制度 の趣旨を普及・啓発 すること。	小冊子「国民健康保険のし おり」を作成、窓口配付。 21000部作成	市内	どなた でも	21,000部	市単独	制度の趣 旨の普及 ・啓発	設定なし (情報提 供)	B	事業目的である「国 民健康保険の仕組 みや保険給付内容 の説明及び趣旨普及 」を行うことが できた。	全市域	871	継続		1,154	保険年金 課
466		4-①	生涯 集と学 習情報 の 収	「男女共同参 画センターだ より」の発行	男女共同参画に関 する認識や理解を 深めるための情報を 提供	「はちおうじし男女共同参 画センターだより」を年3回 発行した。	自由	どなた でも	300	市単独	男女共同 参画につ いての啓 発	「センター だより」を 通して、市 民に男女 共同参画 について 啓発する	B	広く市民に男女共 同参画の情報を提 供することができ た。	全市域	0	継続		0	男女共同 参画課
467		4-①	生涯 集と学 習情報 の	男女共同参 画情報紙「ぱ れっと」の発 行	男女共同参画に関 する認識や理解を 深めるための情報を 提供	男女共同参画情報紙「ぱ れっと」の発行。 第37号 281,680部配布	市内	どなた でも	281,000 部	市単独	男女共同 参画につ いての啓 発	「ぱれっ と」を通し て、市民 に男女共 同参画に ついて啓 発する	B	男女共同参画情報 紙を全戸配布し、多 くの市民に男女共 同参画について情 報提供できた。	全市域	607	継続		1,262	男女共同 参画課

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
468		4-①	生涯学習情報の収集と	「らいぶらり」の発行	図書館のイベントやお知らせなどの最新情報を、図書館の窓口で、利用者に提供する。	年に4回合わせて8700部を発行し、4図書館2分室、地区図書室の窓口で配布したほか、関係団体にも配布、図書館ホームページにも掲載した。	自由	どなたでも	2200	市単独	応募者・参加者の人数	図書館のイベントやお知らせなどの最新情報をr提供するこで、利用者の促進を目指す。	B	年4回、図書館に関する最新情報を記事にし、発行することができた。またホームページにもアップし、より多くの利用者に情報を提供することができた。	全市域		継続		0	中央図書館
469		4-①	生涯学習と発信情報の	「八王子市図書館」(利用案内)の発行	図書館を利用するための案内	4図書館2分室の窓口で、15,000部作成・配布した。ホームページでも同じ内容を情報提供。	自由	どなたでも	20000	市単独	応募者・参加者の人数	配布を通じて、利用者の、より有効な図書館利用を促進する。	C	図書館の利用案内の発行、ホームページでの情報提供を通じて、図書館利用法を紹介し、より有効な利用促進を促すことが出来た。	全市域	0	継続		0	中央図書館
470		4-①	生涯学習と発信情報の収	新着図書案内の発行	利用者に図書館の新着図書情報を提供する。	利用者に、紙媒体での図書館新着情報を定期的(毎月発行)に提供する。 年間 3840部発行	自由	どなたでも	300	市単独	配布数	新着図書の最新情報を提供することで、利用の促進を図る。	A	利用者に、定期的に図書館の新着図書情報を提供する事によって、利用促進を図ることが出来た。	全市域	0	継続		0	中央図書館
471		4-①	生涯学習と発信情報の	パンフレット「成年後見制度を活用しよう」	成年後見制度の知識・普及啓発を行う	パンフレット増刷2000部	市内	どなたでも	パンフレット増刷2000部	委託	事業の拡大	成年後見制度の普及・利用促進	B	相談、講演会、学習会、出前講座等で「成年後見制度の活用を応援します」のパンフレットを積極的に活用し啓発普及を行った。	本庁	168	継続		120	福祉政策課 (社会福祉協議会)
472		4-①	の生涯学習と発信情報	ボランティアセンターだよりの発行	登録ボランティアや市民に対し、ボランティア活動の情報提供や啓発を目的に発行する	登録ボランティアや市民に対し、ボランティア活動の情報提供や啓発を行った。 発行回数 6回 発行部数 4,000部/回	不特定	どなたでも	3000部	補助	参加者の満足度	タイムリーな情報の提供に努める	B	広報誌の発行により、広く市民へ向けてボランティア活動の情報提供や啓発ができた。	全市域	1,395	継続		1,644	福祉政策課 (社会福祉協議会)
473		4-①	生涯学習と発信情報の収	環境報告書	事業概要、環境への取り組み及び環境コミュニケーションの社会的な公表、説明責任を果たし、住民との信頼関係を築く。	環境報告書を9月1日発行。市HP上に掲載	自由	どなたでも	予定発行数100部	市単独	情報公開	配布数100部	B	継続的に報告書を公表・公開することにより社会的説明責任を果たし、市民への信頼関係の構築、理解を得た。	全市域	0	継続		0	北野清掃工場

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担 当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
474		4-①	生涯学習情報の収集と発信	刊行物の発行	郷土資料館の調査。研究の成果を発表する。	郷土資料館の調査・研究の成果を冊子としてまとめた研究紀要・資料シリーズと郷土資料館だよりを刊行。	不特定	どなたでも	-	市単独	刊行物発行の有無	地域の歴史資料や古文書調査・研究の成果として研究紀要・資料シリーズと郷土資料館だよりを(年2回)発行する。	B	地域の歴史資料や古文書調査・研究の成果として研究紀要・資料シリーズと郷土資料館だよりを発行することで郷土史普及の一端を担うことができた。	本庁	408	継続		454	文化財課 郷土資料館
475		4-②	相談体制の拡充	保健福祉・栄養・歯科相談	健康でいきいきした生活が送れるよう、個別相談に応じ、健康づくりを支援する。	電話＋面接相談数 ・成人保健286人、歯科23人、栄養106人 ・母子保健266人、歯科22人、栄養114人	市内	どなたでも	486	市単独	応募者・参加者の人数	相談者数の現状維持	B	計画通り実施できた。	本庁	0	継続		0	大横保健福祉センター
476		4-②	相談体制の拡充	理学療法士による健康相談	高齢者の介護予防及びQOL向上の一助とする。	年12回 述べ参加者42人	市内	高齢者	60	市単独	応募者・参加者の人数	利用者人数の現状維持	B	計画通り実施できた。	本庁	240	継続		240	大横保健福祉センター
477		4-②	相談体制の拡充	生涯学習相談	生涯学習情報を提供と助言。	窓口や電話で生涯学習情報の提供と助言を行った。	不特定	どなたでも	-	市単独	その他	夢ネット等の情報を活用し、適切な情報提供を行う。	B	利用者のニーズに合わせ、適切な情報提供を行った。	全市域	0	継続		0	学習支援課
478		4-②	相談体制の拡充	地域参加等支援デスク	定年を迎えた方などに、生きがいを持ちながら地域活動をしていただくため、総合的な情報提供や相談により支援を行う。	平成28年度の相談件数6件	不特定	どなたでも	10	市単独	応募者・参加者の人数	10人	C	目標値を下回ったため。	本庁	0	継続		0	協働推進課
479		4-②	相談体制の拡充	分譲マンション管理セミナー	分譲マンションの維持管理等の支援	講習と相談会 ・4月16日開催 受講人数：23 名 ・10月16日開催 受講人数：29 名	市内	どなたでも	50	共催	応募者・参加者の人数	定員50名に達すること	A	セミナーを通じて、分譲マンション管理組合や居住者に対し、維持管理や建替え等の取り組みを支援することができた。	本庁	64	継続		64	住宅政策課
480		4-②	相談体制の拡充	外国人のための無料専門家相談会	外国人が抱える様々な問題を、多言語で専門家と相談することで、解決の糸口を見つけられるよう支援する。	弁護士、行政書士などの専門家や市の相談員などが、多言語で外国人が抱える様々な課題の解決に向けて相談を受けた。 実施日：2/26 相談者：15人(13組)	-	どなたでも	20人	委託	応募者・参加者の人数	相談者数20名	B	相談者数が目標を下回ったが、課題の解決が本質的な目標であり、その点では十分に意義があったため。	本庁	131	継続		136	多文化共生推進課 (八王子国際協会)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標 項目	目標								
481		4-②	相談体制の拡充	ロコモ測定会	高齢者に自らの健康状態を知ってもらい、身体機能維持に対する普及啓発を行う。	18回456名	市内	高齢者	180	市単独	応募者・参加者の人数	利用者数の増加	B	測定により自らの健康状態を知るきっかけとなった	浅川元八王子	0	継続		0	東浅川保健福祉センター
482		4-②	相談体制の拡充	保健福祉・栄養・歯科相談	健康でいきいきした生活が送れるよう、個別相談に応じ健康づくり支援をする。	347日4030名	自由	どなたでも	700	市単独	参加者の満足度	相談対応に対する満足度の向上	B	相談者の生活改善・健康への意識の向上の言葉が多く聞かれたため。	浅川	0	継続		0	東浅川保健福祉センター
483		4-②	相談体制の拡充	理学療法士による健康相談	高齢者の介護予防及びQOL向上の一助とする。 ※平成28年度より年6回出張相談を実施	18回93人	市内	高齢者	90	市単独	参加者の満足度	出張相談による利便性の満足度の向上	B	個別相談を通し、その方に合わせた具体的なアドバイスをを行い、意識を高めることができたため。	浅川元八王子	355	継続		360	東浅川保健福祉センター
484		4-②	相談体制の拡充	権利擁護相談・成年後見制度利用相談	認知症高齢者や知的障害者等で判断能力の不十分な方への権利擁護・成年後見の相談を行う	認知症高齢者や知的障害者等で判断能力の不十分な方への権利擁護・成年後見の相談を行う	市内	どなたでも	専門相談は1回2名まで	委託	参加者の満足度	成年後見制度の普及・利用促進	B	一般相談 313件 専門相談 36件	本庁	370	継続		488	福祉政策課 (社会福祉協議会)
485		4-②	相談体制の拡充	保健福祉・栄養・歯科相談	市民の健康の相談に応じ、課題の解決・軽減への支援を行う。	299日/年 5,780人	市内	どなたでも	600	市単独	生活改善・健康への意識の向上	相談者の生活改善・健康への意識の向上を目指す。	B	相談者の生活改善・健康への意識の向上の言葉が多く聞かれたため。	由木	0	継続		0	南大沢保健福祉センター
486		4-②	相談体制の拡充	理学療法士による健康相談	理学療法士による個別相談を通して、日常生活に必要な身体機能の訓練方法を学び、一般高齢者の身体機能を高め、要介護に陥ることを防ぐ。	年12回 述べ参加者 51人	市内	高齢者	60	市単独	参加者の満足度	一般高齢者の心身の健康の維持向上と介護予防への意識を高める。	B	個別相談を通し、その方に合わせた具体的なアドバイスをを行い、意識を高めることができたため。	由木	180	継続		180	南大沢保健福祉センター
487		4-③	施設開放の有効活用	フリースペース	空き学習室の活用と、学生への学習スペースの提供。	年間を通じて実施し、延べ9,694名が利用した。 【参考】27年度8,776名の参加。	不特定	学生	7500	市単独	応募者・参加者の人数	前年と同程度。	B	前年度水準以上の参加者数があったため。	全市域	0	継続		0	学習支援課
488		4-③	施設の有効活用と開放	平成狸合戦ぽんぽこ原画・背景画展	ジブリ作品を定期的に展示し、里山が残る長池公園を、作品とともにイメージしてもらい、集客力向上も期待する。	スタジオジブリから寄贈された「平成狸合戦ぽんぽこ」背景画展を、絵の中に描かれた植物解説とともに展示した。年3回開催。参加者計4742名	不特定	どなたでも	未定	指定管理者	集客力の安定と向上	長池公園の付加価値として、一定程度の新規の来園者が集うこと	A	多摩丘陵の自然を満喫関ル展示会ということで来場者の方から評価の高いコメントをいただくことができた。	由木	2	継続		2	公園課 (フュージョン長池公園)

	①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
番号	新規事業	基本施策・施策の展開		事業名	目的 (50文字以内)	事業の具体的な 内容事業実績(80字程度)	平成28年度予定						所管課 事業評価	評価理由 (80字程度)	実施地域	決算 (千円)	今後の 方向性	【今後の方向性】で 「廃止・終了」を選択 した場合はその理由を 記入	予算 (千円)	担当 課 (実施主体)
							募集範囲	対象者	参加予定者数 (人) (発行予定数 /1回あたり)	事業の実施形態	評価指標項目	目標								
489		4-③	施設との有効活用	八王子市立学校内開放教室の試行開放	生涯学習、地域コミュニティ活動等を行う団体に対して活動の場を提供する	市内3校(由井一小・浅川小・式分方小)の余裕教室を開放し、生涯学習活動団体等に学習の場を提供した。	市内	どなたでも	1,600人	市単独	参加者の満足度	生涯学習団体が利用できる場の提供を継続する。	B	平成28年度も引き続き3校の協力のもと事業を継続し、市民に生涯学習活動の場を提供することができた。	浅川元八王子北野	0	継続		0	生涯学習政策課
490		4-③	施設の有効活用と	姫木平自然の家運営	恵まれた自然環境の中で、自然探究や様々な野外活動と集団生活を通じて、青少年の心身の健全な育成を図る	団体生活を通じて青少年の心身の健全な育成を図るため、指定管理者制度を導入し、管理運営している。	不特定	どなたでも	16,000人	指定管理者	応募者・参加者の人数	延べ利用人数 16,000人	B	年間利用者が27年度14,279人28年度13,081人と減少したが、主たる利用者の市内小中学校対象のアンケートからは対応等について高評価を得た。	市外	46,623	継続		46,632	生涯学習政策課
491		4-③	施設との有効活用	学習支援のための託児	育児中の市民等の学習支援として、満1歳～未就学児の託児サービスを提供し、特に女性の社会参画の促進を図る。	実施回数:302回 利用人数:1066名	市内	親子・保護者	1598	市単独	乳幼児を育児中の保護者の学習機会を拡充	乳幼児を育児中の保護者の学習機会を拡充	B	「ほっとタイムサービス」を実施し、保護者の学習・就労支援のための託児サービスを行うことができた。	本庁	6,726	継続		6,668	男女共同参画課